

令和 7 年度版



目黒区教育

令和 6 年度事業報告書

目黒区教育委員会

は じ め に

本書『目黒区の教育』は、令和6年度に目黒区教育委員会が取り組んだ事業内容をまとめたものです。

令和6年度は、学校統合による目黒南中学校と目黒西中学校の開校に向けて、統合対象校である第七中学校、第八中学校、第九中学校及び第十一中学校が長い歴史に幕を下ろすなど、本区の教育にとって大きな節目を迎えた一年となりました。

その中で時代を見据えた先進的な学校づくりとしては、文部科学省の指定を受けて研究開発を進めてきた「小学校40分授業午前5時間制」及び「中学校45分授業」について継続的に取り組むとともに、「一人ひとりの豊かな学びと切れ目のない支援をめざして」を副題とする「目黒区特別支援教育推進計画（第五次）」を策定いたしました。

併せて児童・生徒の安全・安心を確保するため、1人1台の学習用情報端末を活用した「めぐろそうだんポスト」の開設による子どもたちに対する直接的な相談体制の充実や、運動会等への警備員配置に加え小学校・園の昼間警備委託の試行実施なども進めました。

また、学校・園における働き方改革の更なる推進、校務システム更新によるテレワーク環境の整備、スクールロイヤーによる区立学校等法律相談の開始など、教職員の支援体制の強化を図りました。

さらに生涯学習の分野においても、めぐろ歴史資料館における「めぐろデジタルミュージアム」の公開、区立図書館でのWebリクエストサービスの導入、図書館と医療機関との連携による共同企画展示など、多面的な取組を展開しました。

令和7年度は、これらの広範な取組の成果を踏まえて目黒区の教育行政の一層の推進に向けて力を尽くしてまいりますので、皆様のご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和7年8月

目黒区教育委員会
教育長 関 根 義 孝

目 次

教育行財政

I 目黒区教育委員会教育目標	1
II 教育委員会	
1 教育委員会の組織	2
2 教育委員会の会議	6
3 教育委員会の主な動き	14
4 広報・広聴活動	17
5 放射性物質への対応	20
III 教育費のあらまし	
1 教育費決算額	21
2 保護者が負担する学校教育費	22
IV めぐる学校教育プラン	23
V 目黒区特別支援教育推進計画 (第五次)	26

学校教育

I 学校運営	
1 児童・生徒の就学状況	28
2 障害のある児童・生徒の就学	31
3 幼稚園・こども園	32
4 就学援助費・奨励費等給付状況	32
5 学校運営費の執行	34
6 学校評価	34
7 学校運営協議会	34
8 学校評議員	35
9 不審者情報などの発信	35
10 A E D の設置	35
II 保健・給食	
1 学校保健	36
2 学校給食	40
3 健康教育の推進	43
III 校舎等の環境整備	
1 実施事業の内容	45
2 各事業の決算額	46
IV 教育指導の充実	
1 人権教育	47
2 道徳教育	47
3 国際理解教育	47
4 情報教育	49
5 特別支援教育	49
6 生活指導	50
7 安全指導	50
8 進路指導	50
9 学習指導員等の配置	51
10 主任会等における研修	51
11 教育開発校	53
12 教科用図書	53
13 自然宿泊体験教室等	54
14 連合行事	57
15 いじめ問題対策	58

V めぐる学校サポートセンターの事業

1 教職員サポート	59
2 学習・相談サポート	61
3 その他のサポート機能	64

VI 地域との連携の推進

1 地域教育懇談会の活動支援	66
2 放課後フリークラブ	67
3 青少年の健全育成	67
4 学校施設使用(教室)	70

生涯学習

I 生涯学習の推進

1 生涯学習実施推進計画	71
2 生涯学習推進協議会の運営	71
3 大学等教育機関との連携講座	73

II 社会教育

1 社会教育委員	74
2 学習の場の提供	74
3 学習機会の提供—学級・講座—	75
4 団体育成・援助	83
5 学習相談等	85

III 図書館

1 図書館の概要	86
2 図書館資料	87
3 個人利用	88
4 団体貸出	91
5 めぐる電子図書館	91
6 図書館利用に障害のある方々 へのサービス	91
7 行事・催物	93
8 その他の事業	94

IV めぐるシティカレッジ

1 概要	96
2 運営	96
3 講座内容	96

歴史・文化

I 文化財の保護・保存

1 文化財保護審議会	97
2 文化財保護事業	97
3 区指定文化財	97
4 埋蔵文化財発掘調査	97

II めぐる歴史資料館

1 事業概要	99
2 古民家	100

資 料

1 区立学校、園一覧	102
2 教育関係施設一覧	104

I 目黒区教育委員会教育目標（令和3年6月8日目黒区教育委員会決定）

目黒区教育委員会は、区民の一人ひとりが生涯にわたって学習ができ、伝統と文化への理解を深め、健康で充実した人生を送ることができるように、「学び合い成長し合えるまち」の実現を図る。

特に、子どもたちの健やかな成長を願い

- 他人を思いやり、道徳心のある人間
- 自ら学び、考え、行動する、個性と創造力豊かな人間
- 自然を愛し、美しいものに感動する心をもつ人間

の育成に向けた教育を推進する。

目黒区教育委員会基本方針（令和3年6月8日目黒区教育委員会決定）

目黒区教育委員会は、『教育目標』を達成するため、以下の基本方針及び施策の方向に基づき、総合的に教育施策を推進する。

【基本方針1 人権を尊重する教育の推進】

日本国憲法及び教育基本法に基づき、基本的人権及び個人の尊厳を基調に、あらゆる教育の機会を通して、相互理解や連帯感を培い、偏見や差別をなくすため、人権教育を推進する。

【基本方針2 豊かな生涯学習社会の実現を目指した学習活動の支援】

区民一人ひとりが、新たな知識や技能などを身に付けそれぞれ自己実現を図ることは、より生きがいのある人生を送ることに資するものであり、生涯にわたり自由に学習の機会を選択し学ぶとともに、地域社会の形成に寄与できるよう、必要な学習活動を支援する。

【基本方針3 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進】

グローバル化や情報化の急速な進展とともに、価値観が多様化する社会に主体的に対応していくためには、一人ひとりが個人として自立し、また社会の一員としてその発展に寄与する態度を養うことが求められる。

そのため、「生きる力」すなわち、確かな学力の向上を図るとともに、一人ひとりの個性と創造力を伸ばし、問題解決する力、豊かな心、健やかな体をはぐくむ教育を推進する。

【基本方針4 教育への区民参加と地域ぐるみの教育の振興】

子どもたちが、生命を大切にし、一人ひとりが心豊かに健全に育つことを目指して、学校の自主性・自立性を確立したうえで、家庭・地域の願いや意向を反映した学校運営に努める。

家庭・地域が、教育におけるそれぞれの役割と責任を果たすことができるよう支援するとともに、学校・家庭・地域が一体となり、地域全体の教育力を高める。

Ⅱ 教育委員会

1 教育委員会の組織

(1) 教育委員会の職務

教育委員会は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地教行法）」に定めるところにより、学校その他の教育機関の設置、管理及び社会教育その他の教育事務を執行する地方教育行政機関で、地方公共団体の長から独立した執行機関です。

地教行法には、教育委員会の職務として次のものが定められています。

- ア 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。
- イ 学校その他の教育機関の用に供する財産の管理に関すること。
- ウ 教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
- エ 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。
- オ 学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。
- カ 教科書その他の教材の取扱いに関すること。
- キ 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。
- ク 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関すること。
- ケ 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。
- コ 学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。
- サ 学校給食に関すること。
- シ 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。
- ス 文化財の保護に関すること。
- セ ユネスコ活動に関すること。
- ソ 教育に関する法人に関すること。
- タ 教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。
- チ 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。
- ツ ア～チのほか当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。

(2) 教育委員会の構成

目黒区教育委員会は、区長が区議会の同意を得て任命する教育長及び4人の委員で構成されています。

教育長は、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有することが要求され、任期は3年です。委員は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有することが要求され、任期は4年です。

教育長は、教育委員会の会議を主宰し、教育委員会を代表します。また、教育委員会の権限に属する全ての事務をつかさどり、事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督します。

教育長職務代行者は、教育長に事故があるとき等のために指定されます。

また、委員の任命に当たっては、地域住民や保護者等の意向等を的確に把握し、地域の状況に応じた主体的で積極的な教育行政を展開し、委員の構成を多様なものとするため、委員の年齢、性別、職業等に著しい偏りが生じないよう配慮し、委員のうちに保護者である者が含まれるようにしなければならぬとされています。

令和 7 年 3 月 31 日現在の目黒区教育委員会の構成は下表のとおりです。

職 名	氏 名	任 期
教育長	関根 義孝(せきね よしたか)	令和 4 年 10 月 1 日から令和 7 年 9 月 30 日まで
教育長職務代行者	片山 覚(かたやま さとる)	令和 3 年 10 月 1 日から令和 7 年 9 月 30 日まで
委員	若井田 正文(わかいだ まさぶみ)	令和 4 年 12 月 1 日から令和 8 年 11 月 30 日まで
委員	松村 眞理子(まつむら まりこ)	令和 5 年 12 月 9 日から令和 9 年 12 月 8 日まで
委員	高橋 智佳子(たかはし ちかこ)	令和 6 年 10 月 1 日から令和 10 年 9 月 30 日まで



関根教育長



片山教育長
職務代行者



若井田委員



松村委員



高橋委員

(3) 付属機関等

目黒区教育委員会には付属機関及びこれに準ずる機関として、次の 5 つの機関が設置されています。

ア いじめ問題対策委員会 いじめ問題対策委員会は、いじめ防止対策推進法に基づき、いじめの防止等のための対策を実効的に行うために設置するものです。また、いじめによる重大事態が発生した場合の調査を行います。委員の人数は 6 人（令和 7 年 3 月 31 日現在）で、任期は 2 年です。

イ 社会教育委員 社会教育委員は、社会教育法に基づき設置するもので、社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問に対する答申、これらに必要な研究調査等を職務としています。委員の定数は 10 人以内で、任期は 2 年です。

ウ 文化財保護審議会 文化財保護審議会は、文化財保護法に基づき設置するもので、教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する事項を調査・審議し、これらの事項について教育委員会に建議する付属機関です。委員の人数は 6 人(令和 7 年 3 月 31 日現在)で、任期は 2 年です。

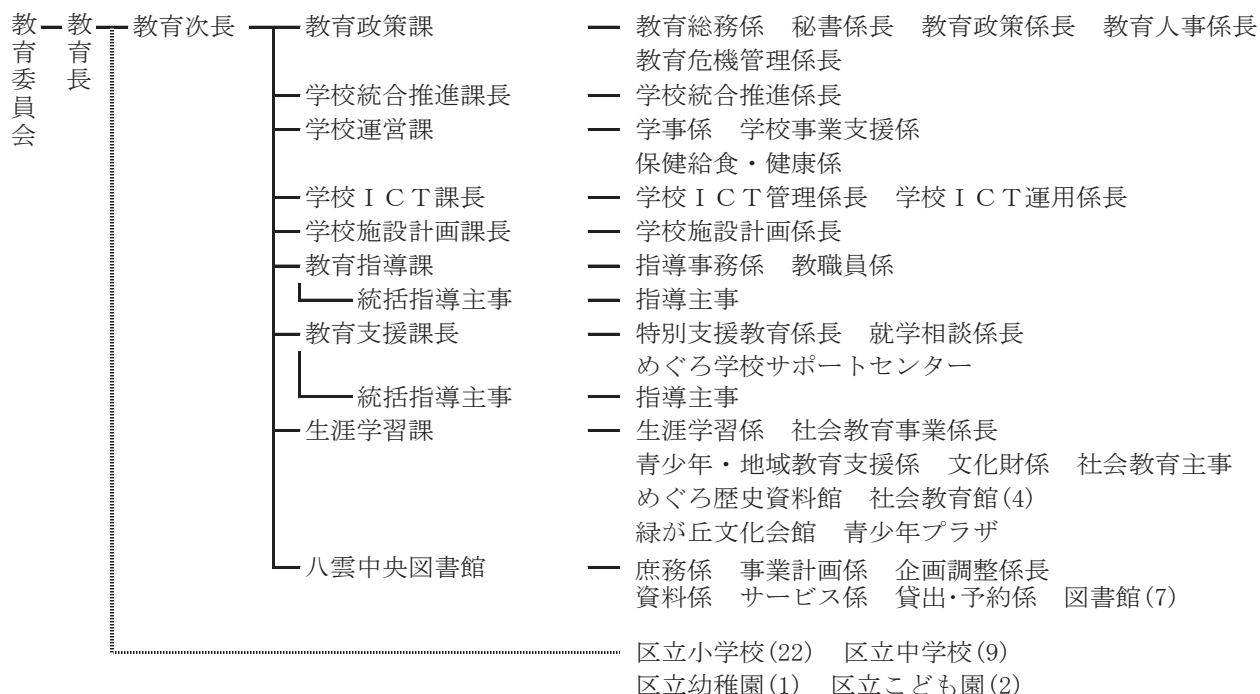
エ 青少年委員 青少年委員は、青少年教育の振興を図るために設置しているもので、青少年の余暇指導、青少年団体の育成、青少年指導者に対する援助等を行います。委員の人数は 26 人(令和 7 年 3 月 31 日現在)で、任期は 2 年です。

オ 教育支援委員会 教育支援委員会では、障害のある児童・生徒等の区立小・中学校への就学等についての調査・審議、小学校就学前ガイダンス等を行います。委員の人数は 81 人(令和 7 年 3 月 31 日現在)で、任期は 1 年です。

(4) 教育委員会事務局及び教育機関（施設）とその分掌事務(令和7年3月31日現在)

教育委員会の事務を処理するために、教育長の総括のもとに教育委員会事務局を設置しています。また、事務局のほかに区立学校、図書館等の教育機関（施設）を設置しています。

教育委員会の組織図



教育委員会の分掌事務

教育次長		
教育政策課	教育総務係	教育委員会の会議運営、法規、予算・決算・監査、情報公開・個人情報保護、教育行政相談、区長部局との芸術文化・スポーツ行政に係る連絡調整
	秘書係長	教育長秘書、褒賞・表彰、寄付、式典
	教育政策係長	教育行政の総合的な企画・調整・政策立案、組織・定数、広報
	教育人事係長	区費学校職員の人事、研修、労働安全・労働衛生
	教育危機管理係長	教育委員会における危機管理の統括・調整、学校事故
学校統合推進課長	学校統合推進係長	区立中学校の統合の推進
学校運営課	学事係	区立学校の学級編制、区立学校の就学（転入学）、区立学校の通学区域、隣接学校希望入学制度、区立幼稚園・こども園運営、就学援助、就学奨励
	学校事業支援係	自然宿泊体験教室、学校独自宿泊事業、部活動等支援、校外施設維持管理（ハヶ岳林間学園・興津自然学園）
	保健給食・健康係	学校給食・こども園給食、学校保健・環境衛生、健康教育・食育の推進
学校ICT課長	学校ICT管理係長	学校ICT環境の整備及び維持・管理
	学校ICT運用係長	学校ICT環境の整備計画等の企画・立案
学校施設計画課長	学校施設計画係長	学校教育施設の整備計画・管理保全
教育指導課	指導事務係	教科書採択、連合行事、外国語指導員の派遣、教育実習、補助的教員
	教職員係	都費教職員及び幼稚園教職員の人事、都費教職員の給与・福利厚生・健康管理、都費の補助的教員

	統括指導主事	指導主事	区立学校及び区立幼稚園の教育課程、学習指導その他学校教育に係る専門的事項の指導、教員研修の企画立案・運営
教育支援課長		特別支援教育係長	特別支援教育推進計画、特別支援教育の啓発、特別支援学級の運営予算管理、特別支援学級の増設
		就学相談係長	障害児の就学・転学相談、特別支援学級の編制・運営、特別支援教育支援員の配置
		めぐろ学校サポートセンター	施設管理、貸室管理、視聴覚ライブラリー、夏休み優秀作品展、教職員研修、学校教育サポート、学習支援教室(めぐろエミール)運営、教育相談(電話、来室)、スクールカウンセラー学校派遣、スクールソーシャルワーカー派遣
	統括指導主事	指導主事	特別支援教育に係る区立学校の教育課程、学習指導その他学校教育に係る専門的事項の指導、教員研修の企画立案・運営、各種サポート事業の企画立案、各種サポート事業への専門的な指導・助言
生涯学習課		生涯学習係	生涯学習の振興の総合的な計画・調整、生涯学習実施推進計画、社会教育の振興、社会教育委員、教育機関との連携講座事業、学校施設(教室)の使用、区職員派遣制度(区職員活用しま専科)、めぐろシティカレッジ
		社会教育事業係長	社会教育館及び緑が丘文化会館の管理運営、団体援助、連合団体支援、ユネスコ事業等
		青少年・地域教育支援係	青少年委員、青少年問題協議会、青少年健全育成、二十歳のつどい、こども110番の家、放課後フリークラブ(ランドセルひろば・子ども教室)、小・中PTA活動の支援、地域教育懇談会
		文化財係	文化財の保護・保存・活用・普及、文化財保護審議会
		社会教育主事	社会教育に係る専門的、技術的な助言指導
		めぐろ歴史資料館	目黒区の歴史・文化に関する資料の収集・整理・保管・調査研究、常設展示・企画展示、講演会・講座などの教育普及事業
		東山社会教育館	社会教育関係団体への助言・指導・援助、各種講座・研修会等の実施、施設の利用、コミュニティ活動の支援(緑が丘文化会館)
		目黒区民センター社会教育館	
		中央町社会教育館	
		目黒本町社会教育館	
		緑が丘文化会館	
		青少年プラザ	
八雲中央図書館		庶務係	庶務、予算・決算、契約、統計、めぐろ区民キャンパスの施設の維持管理
		事業計画係	図書館事業の総合計画、広報、図書館情報システム、配本車の運行、職務研修
		企画調整係長	図書館基本方針の具体化、調査・回答・統計
		資料係	図書館資料の計画、選定・収集・整理・保存に関する調整、インターネット閲覧サービス、レファレンスサービス
		サービス係	障害者サービス、乳幼児・児童・YAサービス、団体貸出
		貸出・予約係	窓口業務の管理運営に関する調整、業務委託の管理及び調整、図書館資料の利用に関する調整、相互貸借
		大橋図書館	図書館資料の整理・利用、相互貸借、レファレンス、施設の維持管理、その他館の運営
		中目黒駅前図書館	
		目黒区民センター図書館	
		守屋図書館	
		目黒本町図書館	
		洗足図書館	
		緑が丘図書館	

2 教育委員会の会議

教育委員会定例会・臨時会

教育行政の基本的な方針の決定や諸問題の解決等の重要案件を処理するために、原則毎週火曜日に教育委員会定例会を開催するとともに、特に緊急案件を処理するために、教育委員会臨時会を開催し、付議された事案を審議したほか、諸事項についての意見・情報の交換、業務報告を受け、教育行政の適正な運営に努めました。

(1) 定例会・臨時会の開催回数と議案付議件数

会議種別	開催回数	付議件数	議案付議内容別件数	
定例会	41	59	規則関係 24	区議会議案意見聴取関係 26
臨時会	2	8	人事関係 4	財産関係 0
計	43	67	諮問関係 0	その他 13

(2) 定例会・臨時会の審議・報告内容

会議名 開催日	議事	件 名
第 1 回 臨時会 4月1日	議案 20	幹部職員の任命について
第 11 回 定例会 4月2日	報告 報告 報告 報告	スクールロイヤーによる法律相談の実施について 区立学校等の合理的配慮等に関する法律相談の実施状況について 不登校児童・生徒の保護者のためのガイド（案）について 令和 6 ・ 7 年度青少年委員の委嘱について
第 12 回 定例会 4月9日	報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告	区立小学校・園昼間警備委託の試行実施について 目黒南中学校・目黒西中学校の開校に向けた取組状況について 新たな目黒区民センター等整備・運営事業における事業者公募・選定スケジュールの変更について（案） 五本木小学校屋内プール（中央地区プール）点検時に発生した事故への対応について 令和 6 年度学校評議員の委嘱について 令和 6 年度めぐろエミール指導員室外指導モデル事業について（案） 教育委員会名義の使用承認状況について
第 13 回 定例会 4月16日	協議 協議 報告 報告	目黒区立学校通学区域に関する規則の一部改正について 目黒区教育支援委員会委員の委嘱及び任命について 令和 6 年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和 5 年度分）の実施について 春季休業明けの幼児・児童・生徒の状況調査について
第 14 回 定例会 4月23日	議案 21 議案 22 報告	目黒区立学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則 目黒区教育支援委員会委員の委嘱及び任命について 令和 6 年度児童生徒数・学級数について

会議名 開催日	議事	件 名
	報告 報告 報告 報告	令和5年度情報セキュリティ施策に関する取組結果及び令和6年度情報セキュリティ施策について 令和6年度研究指定校等の状況について 令和7年度使用目黒区立中学校教科用図書採択について 特別支援教育支援員（介助的補助）事業の実施について（案）
第15回 定例会 5月7日	報告 報告 報告 報告 報告	碑小学校屋内プールにおけるレジオネラ属菌の検出に伴う対応について 事故処理結果について 下目黒小学校への知的障害特別支援学級の設置について 目黒区めぐろ歴史資料館の臨時休館について 令和5年度目黒区めぐろ歴史資料館等の利用状況について
第16回 定例会 5月14日	報告 報告 報告 報告	目黒区立学校教科用図書調査研究委員会委員の委嘱について 今後の学校ICT環境整備について（案） 令和6年度目黒区教職員等の配置状況について 教育委員会名義の使用承認状況について
第17回 定例会 5月21日	協議 報告 報告 報告 報告 報告 報告	幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例施行規則の一部改正について 目黒南中学校新校舎基本設計素案について（案） 目黒西中学校新校舎基本設計素案について（案） 令和5年度目黒区立学校卒業生の進路状況について 令和5年度目黒区立学校におけるいじめの状況について 令和5年度目黒区立学校における不登校の状況について 学校施設の使用見直し方針の策定について（案）
第18回 定例会 5月28日	議案 23 議案 24 報告	目黒区立向原小学校既存校舎ほか解体工事の請負契約（意見聴取） 幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例施行規則の一部を改正する規則 教育委員会事務局各課の主要課題について
第19回 定例会 6月4日	報告 報告 報告 報告 報告 報告	「目黒区スポーツ推進計画」改定の進め方について（案） MEGUROスマートスクール・アクションプランの進捗状況（令和5年度分）について 目黒南中学校及び目黒西中学校の教育目標について 令和5年度放課後フリースクールの実施結果について 令和5年度ランランひろばの実施結果について 施設備付特殊器具使用料の見直しについて
第20回 定例会 6月11日	報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告	令和6年第2回区議会定例会一般質問通告について 学校運営協議会の先行実施校選定について（案） 令和6年度児童生徒数・学級数について 新たな目黒区民センター等整備・運営事業に係る実施方針の修正について（案） 新たな目黒区民センター等整備・運営事業に係る特定事業の選定について（案） 令和7年「二十歳（はたち）のつどい」の開催について（案） めぐろ区民キャンパス設備改修計画の変更について（案） 教育委員会名義の使用承認状況について
第21回 定例会 6月18日	議案 25 報告	令和6年度目黒区一般会計補正予算（第1号）（意見聴取） 児童・生徒の学習用情報端末を活用した相談受付について（案）

会議名 開催日	議事	件 名
第 22 回 定例会 6月25日	報告	令和 6 年度目黒区立中学校における部活動の状況について
第 23 回 定例会 7月2日	協議 協議 協議 協議 協議 協議 報告 報告	目黒区立林間学園条例の一部改正について 目黒区立緑ヶ丘小学校等の屋内プールの使用に関する条例の一部改正について 目黒区立学校施設使用条例の一部改正について 目黒区めぐろ区民キャンパス付帯駐車場条例の一部改正について 目黒区立社会教育館条例及び目黒区緑が丘文化会館条例の一部改正について 目黒区青少年プラザ条例の廃止について 目黒区青少年プラザの臨時休館について 令和 6 年第 2 回区議会定例会一般質問の答弁（要旨）について
第 24 回 定例会 7月9日	協議 報告 報告 議案 26 議案 27 議案 28 議案 29 議案 30 議案 31 報告 報告 報告	令和 7 年度使用目黒区立中学校教科用図書の採択について 令和 6 年度目黒区一般会計補正予算（第 2 号）について 新たな目黒区民センター等整備・運営事業に係る事業者公募の実施について 目黒区立林間学園条例の一部を改正する条例の立案請求について 目黒区立緑ヶ丘小学校等の屋内プールの使用に関する条例の一部を改正する条例の立案請求について 目黒区立学校施設使用条例の一部を改正する条例の立案請求について 目黒区めぐろ区民キャンパス付帯駐車場条例の一部を改正する条例の立案請求について 目黒区立社会教育館条例及び目黒区緑が丘文化会館条例の一部を改正する条例の立案請求について 目黒区青少年プラザ条例を廃止する条例の立案請求について 令和 6 年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和 5 年度分）報告書（素案）について ランランひろばのサービス拡大について 教育委員会名義の使用承認状況について
第 25 回 定例会 7月16日	協議 報告	令和 7 年度使用目黒区立中学校教科用図書の採択について 令和 6 年度学級閉鎖等の状況（7 月 1 2 日現在）
第 26 回 定例会 7月23日	協議 報告 報告	令和 7 年度使用目黒区立中学校教科用図書の採択について 目黒区立目黒南中学校新校舎基本設計（案）について（案） 目黒区立目黒西中学校新校舎基本設計（案）について（案）
第 27 回 定例会 7月30日	協議 協議 報告 報告 報告 報告 報告 報告	令和 7 年度使用目黒区立中学校教科用図書の採択について 令和 6 年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和 5 年度分）報告書（案）について 令和 7 年度隣接中学校希望入学制度の実施について 学校施設における空調設備更新の考え方について（案） 1 人 1 台学習用情報端末（G I G A システム）の更新について（案） 区立小学校における個人情報の漏えいについて 目黒区特別支援教育推進計画（第五次）素案（案）について 緑が丘図書館の天井材の落下について

会議名 開催日	議事	件 名
第 28 回 定例会 8月20日	協議 協議 協議 報告 議案 32 議案 33 議案 34 議案 35 議案 36 議案 37 議案 38 議案 39 議案 40 報告 報告 報告 報告 報告	令和 7 年度使用目黒区立中学校教科用図書の採択について 令和 7 年度使用目黒区立小学校教科用図書の採択について 令和 7 年度使用目黒区立学校特別支援学級教科用図書の採択について 区立学校におけるいじめの発生について 目黒区立林間学園条例の一部を改正する条例（意見聴取） 目黒区立緑ヶ丘小学校等の屋内プールの使用に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 目黒区めぐろ区民キャンパス付帯駐車場条例の一部を改正する条例（意見聴取） 目黒区立住区会議室条例の一部を改正する条例（意見聴取） 目黒区立学校施設使用条例の一部を改正する条例（意見聴取） 目黒区青少年プラザ条例を廃止する条例（意見聴取） 令和 6 年度目黒区一般会計補正予算（第 2 号）（意見聴取） 令和 5 年度目黒区一般会計歳入歳出決算の認定について（意見聴取） 令和 6 年度目黒区教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（令和 5 年度分）について 学校業務（用務等）委託化の先行実施校選定等について（案） 区有施設見直し計画等の改定検討の方向性について（案） 現在の学校施設更新の課題と学校施設更新計画の改定について（案） 目黒区特別支援教育推進計画（第五次）素案（案）について（修正） 教育委員会名義の使用承認状況について
第 29 回 定例会 8月27日	議案 41 議案 42 議案 43 報告 報告 報告 報告	令和 7 年度使用目黒区立中学校教科用図書の採択について 令和 7 年度使用目黒区立小学校教科用図書の採択について 令和 7 年度使用目黒区立学校特別支援学級教科用図書の採択について 令和 6 年度目黒区学習状況調査実施結果の概要について 令和 6 年度全国学力・学習状況調査結果の概要について 夏季休業明けの幼児・児童・生徒の状況調査について 「目黒区子ども読書活動推進計画（仮称）」策定の進め方について（案）
第 30 回 定例会 9月3日	報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告	区立学校におけるいじめの発生について 令和 6 年第 3 回区議会定例会一般質問通告について 令和 6 年度教育施策説明会（前期・教育施策に関する説明動画の配信）の実施結果について 目黒西中学校の通学負担の緩和措置について 令和 7 年度区立幼稚園及びこども園の園児募集について 区立ひがしやま幼稚園における弁当給食の実施について 学校施設更新計画の改定期限について 八雲中央図書館の臨時休館及び目黒区めぐろ区民キャンパス付帯駐車場の臨時休業について
第 31 回 定例会 9月10日	協議 報告	審査請求に対する裁決について 教育委員会名義の使用承認状況について
第 32 回 定例会 9月24日	議案 44 報告 報告	審査請求に対する裁決について 令和 6 年第 3 回区議会定例会一般質問の答弁（要旨）について 青少年健全育成事務に係る個別事業の整理について

会議名 開催日	議事	件 名
第 33 回 定例会 10 月 1 日		議席の決定について 教育長職務代行者の指名について
第 34 回 定例会 10 月 8 日	報告 報告 報告 報告 報告	閉校記念式典の開催について 新たな目黒区民センター等整備・運営事業に係る競争的対話の実施等について 令和 6 年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果について 目黒区立図書館の臨時休館について 教育委員会名義の使用承認状況について
第 35 回 定例会 10 月 22 日	報告 報告 報告	令和 6 年第 3 回区議会定例会中の決算特別委員会での教育委員会に係る質問の答弁（要旨）について 令和 6 年度教育施策説明会（後期）の説明項目について（案） 目黒区立幼稚園・こども園・小学校・中学校の夏季休業期間の変更について（案）
第 36 回 定例会 10 月 29 日	報告 報告 報告	令和 7 年度入学 隣接中学校希望入学制度申込結果（中間集計）について 目黒区立向原小学校等複合施設実施設計（案）について（案） 中目黒スクエア改修工事に係る基本設計（案）について（案）
第 37 回 定例会 11 月 5 日	議案 45 議案 46 報告 報告 報告 報告	幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 部活動に関するアンケート調査結果について（速報値） 令和 6 年度前期目黒区立学校におけるいじめの状況について 令和 6 年度前期目黒区立学校における不登校の状況について 文化財保護事業のふるさと納税メニューへの追加について
第 38 回 定例会 11 月 19 日	報告 協議 協議 協議 報告 報告 報告	区立学校におけるいじめの発生について 目黒区個人情報の保護に関する法律施行条例施行規則の一部改正について 目黒区立幼稚園条例施行規則の一部改正について 目黒区立こども園条例施行規則の一部改正について 令和 6 年第 4 回区議会定例会一般質問通告について 目黒区実施計画改定素案について 教育委員会名義の使用承認状況について
第 2 回 臨時会 11 月 25 日	議案 47 議案 48 議案 49 議案 50 議案 51 議案 52 議案 53 報告 報告	目黒区長等の給料等に関する条例等の一部を改正する条例（意見聴取） 幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 目黒区個人情報の保護に関する法律施行条例施行規則の一部を改正する規則 目黒区立幼稚園条例施行規則の一部を改正する規則 目黒区立こども園条例施行規則の一部を改正する規則 令和 7 年度目黒区立小・中学校及び幼稚園・こども園教育課程の基本方針及び教育課程編成・実施の留意事項（基本的な考え方）について（案） 令和 6 年度学級閉鎖等の状況（11月22日現在）

会議名 開催日	議事	件 名
第 39 回 定例会 12月3日	報告 議案 54 議案 55 報告 報告	令和 7 年度当初予算に係る主な要求項目について 幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則 幼稚園教育職員の初任給、昇格及び昇給等に関する規則の一部を改正する規則 令和 6 年度公立小中学校教員公募について 令和 6 年度学級閉鎖等の状況（11月29日現在）
第 40 回 定例会 12月10日	報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告	令和 6 年度目黒区一般会計補正予算（第 4 号）について 新たな目黒区民センター等整備・運営事業に係る競争的対話を踏まえた今後の方向性について 区立学校におけるいじめの発生について 令和 6 年第 4 回区議会定例会一般質問の答弁（要旨）について 学校用務業務等委託事業者の公募について（案） 令和 7 年度隣接中学校希望入学制度の申込結果について 令和 7 年度めぐろエミール室外指導事業について（案） 教育委員会名義の使用承認状況について 令和 6 年度学級閉鎖等の状況（12月6日現在）
第 41 回 定例会 12月24日	報告 報告 報告 報告 報告 報告	令和 7 年度組織改正（第一次）及び職員数内示について 令和 6 年度小・中学校卒業式祝辞について（案） 個人情報記載された書類の紛失について 令和 6 年度目黒区手をつなぐ親の会と教育委員会の懇談会の実施結果について 目黒区生涯学習実施推進計画（令和 4 年度～令和 8 年度）の進捗状況について 令和 6 年度学級閉鎖等の状況（12月20日現在）
第 1 回 定例会 1月7日	報告 報告 報告 報告 報告	令和 7 年度目黒区一般会計当初予算原案について 令和 6 年度小・中学校卒業式祝辞について（案） 令和 6 年度いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議の実施結果について 令和 6 年度目黒区立学校授業スペシャリスト表彰について 令和 6 年度学級閉鎖等の状況（12月27日現在）
第 2 回 定例会 1月14日	協議 協議 報告 報告 報告 報告	目黒区学校運営協議会規則の全部改正について 目黒区立学校の管理運営に関する規則の一部改正について 令和 6 年度小・中学校卒業式祝辞について（案） 冬季休業明けの幼児・児童・生徒の欠席状況について 令和 7 年 1 月実施の「二十歳のつどい」実施結果について 教育委員会名義の使用承認状況について
第 3 回 定例会 1月21日	報告 議案 1 議案 2 報告 報告 報告 報告	新たな目黒区民センター等整備・運営事業の取扱及び今後の取組について（案） 目黒区学校運営協議会規則 目黒区立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則 令和 7 年度以降の児童生徒数・学級数の推計等について 令和 6 年度小・中学校卒業式祝辞について（案） 目黒区教育委員会と早稲田大学大学院日本語教育研究科との JSL 児童等への支援等に関する基本協定書の更新について 目黒区特別支援教育推進計画（第五次）案（案）について
第 4 回 定例会 1月28日	議案 3 議案 4	目黒区長等の給料等に関する条例等の一部を改正する条例（意見聴取） 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例（意見聴取）

会議名 開催日	議事	件 名
	議案 5 議案 6 議案 7 議案 8 議案 9 議案 10 議案 11 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告	幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 目黒区職員のハラスメントの防止等に関する条例（意見聴取） 令和 6 年度目黒区一般会計補正予算（第 4 号）（意見聴取） 令和 7 年度目黒区一般会計予算（意見聴取） 目黒区立第九中学校解体工事の請負契約（意見聴取） 目黒区立第十一中学校解体工事の請負契約（意見聴取） 令和 7 年度教育行政運営方針（素案）について（案） 令和 7 年度組織改正（第二次）及び職員数内示について 令和 6 年度目黒区教育委員会児童生徒表彰について 目黒区立鷹番小学校等複合施設基本構想素案について（案） 令和 6 年度小・中学校卒業式祝辞について（案） 令和 6 年度目黒区立学校・園における学校・園評価アンケートの実施結果等について めぐろ学校サポートセンター研修室の移転に係る検討について（案） 令和 6 年度学級閉鎖等の状況（1 月 2 4 日現在）
第 5 回 定例会 2 月 4 日	議案 12 協議 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告	教育管理職の任命に関する内申について 目黒区立林間学園条例施行規則の一部改正について 目黒区実施計画改定案について 目黒区財政計画（令和 7 年度～11 年度）（案）について 目黒南中学校及び目黒西中学校の開校記念式典の開催について 緑が丘三丁目から目黒西中学校に通学する生徒を対象とした登下校の対応について 1 人 1 台学習用情報端末（G I G A システム）の更新に係る計画「MEGURO 2 n d G I G A に向けて」の策定について（案） 中目黒スクエア改修工事に係る実施設計（案）について（案） 令和 7 年度めぐろシティカレッジについて 令和 6 年度学級閉鎖等の状況（1 月 3 1 日現在）
第 6 回 定例会 2 月 18 日	議案 13 議案 14 協議 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告	幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（意見聴取） 目黒区立林間学園条例施行規則の一部を改正する規則 目黒区立学校施設使用条例施行規則の一部改正について 令和 7 年度教育行政運営方針（案）について 令和 7 年第 1 回区議会定例会質問通告について 令和 7 年度学校標準給食費について（案） 令和 7 年度区立幼稚園及びこども園の入園申込状況等について 令和 6 年度教員等研修の実施状況及び令和 7 年度の方針について 令和 7 年度社会教育館・緑が丘文化会館の年間事業計画（案）について 教育委員会名義の使用承認状況について
第 7 回 定例会 2 月 25 日	議案 15 協議 報告 報告 報告 報告	目黒区立学校施設使用条例施行規則の一部を改正する規則 目黒区特別支援教育推進計画（第五次）の策定について めぐろデジタルミュージアムの公開について 令和 6 年度学級閉鎖等の状況（2 月 2 1 日現在） めぐろ学校教育プランの進捗状況（令和 6 年度分）について

会議名 開催日	議事	件 名
第 8 回 定例会 3月4日	議案 16 議案 17 議案 18 議案 19 議案 20 議案 21 議案 22 議案 23 議案 24 議案 25 議案 26 報告 報告	目黒区公立幼稚園教育管理職の任命について 特別支援教育推進計画（第五次）の策定について 目黒区教育財産管理規則の一部を改正する規則 目黒区立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則 目黒区立社会教育館条例施行規則の一部を改正する規則 目黒区緑が丘文化会館条例施行規則の一部を改正する規則 目黒区立社会教育館処務規則の一部を改正する規則 目黒区緑が丘文化会館処務規則の一部を改正する規則 目黒区青少年プラザ条例施行規則を廃止する規則 目黒区青少年プラザ処務規則を廃止する規則 目黒区教育委員会公印規則の一部を改正する規則 令和 7 年第 1 回区議会定例会代表質問・一般質問の答弁（要旨）について 令和 7 年度児童生徒数・学級数の推計について
第 9 回 定例会 3月11日	協議 報告 報告 報告	目黒区教育委員会事務局組織規則の一部改正について 「旧前田庭園（駒場公園）」の東京都指定文化財（名勝）指定について 教育委員会名義の使用承認状況について 令和 6 年度学級閉鎖等の状況（3月7日現在）
第 10 回 定例会 3月25日	議案 27 報告 議案 28 議案 29 議案 30 議案 31 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告 報告	目黒区教育委員会事務従事幹部職員の異動について 区立学校におけるいじめの発生について 目黒区教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例施行規則の一部を改正する規則 幼稚園教育職員の期末手当に関する規則の一部を改正する規則 幼稚園教育職員の勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則 令和 7 年第 1 回区議会定例会中の予算特別委員会での教育委員会に係る質問の答弁（要旨）について 令和 6 年度教育施策説明会（後期）の実施結果及び令和 7 年度教育施策説明会の実施について スクールロイヤーによる区立学校等法律相談の令和 6 年度実施状況及び令和 7 年度実施予定について 令和 7 年度学校経営方針のプレゼンテーションについて（案） 目黒区立目黒南中学校新校舎実施設計案について（案） 目黒区立目黒西中学校新校舎実施設計案について（案） 目黒区立鷹番小学校等複合施設基本構想案について（案） 新たな目黒区民センター等整備・運営事業の中止・再検討に伴う下目黒小学校の取扱について（案） めぐろ学校サポートセンター施設を活用した常設仮校舎整備に係る基本設計案について（案） 令和 6 年度学級閉鎖等の状況（3月21日現在）

3 教育委員会の主な動き

(1) 柔軟な教育課程に関する研究

児童の学びの質と生活の質の向上を図るため、区立小学校 19 校において 1 単位時間を 40 分とし、創意工夫ある教育課程、各教科等の指導方法、適切な授業時数の在り方について研究開発を行いました。また、令和 6 年度から区立中学校 2 校においても、1 単位時間を 45 分とした柔軟な教育課程の編成・実施の在り方についての研究開発を始めました。令和 7 年 3 月に、次期学習指導要領の検討を行う文部科学省教育課程企画特別部会において、研究開発の実施状況及び成果等を発表しました。

(2) いじめ・不登校の防止に向けた取組

いじめ・不登校の防止に向けた取組を強化するとともに、学級経営上の一助とするため、子どもたちの学校生活における満足度や意欲、学級集団の状態などを把握できる総合質問紙調査「i-check」を全小・中学校において実施しました。また、「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」を各中学校区で実施しました。

各学校では、「いじめに関する研修」を年 3 回実施しており、いじめ問題対策を総合的にまとめた「教員研修冊子『目黒区立学校・園 いじめ問題対策』(令和 2 年 9 月全教員に配付)」を活用しながら、各学校の課題に応じて研修内容の充実を図りました。

(3) 特別支援教育の推進

特別支援教育の視点をもつ教員を育成し、幼児・児童・生徒一人ひとりの課題に応じた指導を行うことができるように、令和 6 年度は、通常の学級の教員を対象に、特別支援教育研修を年 3 回実施するとともに、小・中学校・幼稚園・こども園の全教員を対象に、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」及び「合理的配慮に関する考え方」について、e ラーニングによる研修を実施しました。

横浜国立大学との協定に基づき、五本木小学校と目黒中央中学校において、自閉症・情緒障害特別支援学級における自立活動の指導の充実を図ることを目的とした研修を年 3 回実施しました。

東京都特別支援教育推進計画(第二期)第二次実施計画及び目黒区特別支援教育推進計画に基づき、都の指定を受けて大鳥中学校において、令和 5・6 年度の 2 年間にわたり、知的障害特別支援学級における各教科等を合わせた指導内容・方法の研究に取り組みました。

また、令和 7 年度から令和 11 年度までの 5 年間の計画期間とする目黒区特別支援教育推進計画(第五次)を令和 7 年 3 月に策定しました。本計画に基づき、目黒区の特別支援教育を推進していきます。

(4) 学校・園における働き方改革の推進

令和 5 年 2 月に改定した「目黒区立学校・園における働き方改革実行プログラム」に基づき、教職員が心身の健康、誇りとやりがいを持って勤務し、子どもと向き合う時間が創出できるよう、引き続き、働き方改革に係る取組を進めていきます。

令和 6 年度は、小学校 5 校、中学校 2 校を業務改善モデル校として指定し、働き方改革に係る試行的な取組・検証を行いました。このうち小学校 2 校に副担任相当の業務を担うエデュケーション・アシスタントを導入し、効果的な取組であったため、令和 7 年 4 月から全小学校に配置しました。

(5) 学校施設の老朽化対策

学校施設更新計画に基づき、老朽化した学校施設の計画的な更新を進めています。令和 6 年度は、向原小学校の仮設校舎が 7 月末に完成し、8 月から授業を開始しました。また、既存校舎解体

工事の住民説明会を7月に開催し、9月から解体工事を開始、その後11月に実施設計を策定し、同月に住民説明会を2回開催しました。鷹番小学校については、4月に基本構想・基本設計の委託事業者を公募型プロポーザル方式により決定し、新校舎の検討に係る地域懇談会を7回開催し、その後、令和7年2月に基本構想素案をとりまとめ、同月に住民説明会を2回開催しました。

(6) 安全で快適な施設整備

学校は、子どもたちが日常的に学び生活する場としての役割とともに、災害時の避難場所としての役割も担っており、安全で快適な施設整備に取り組んでいます。

令和6年度は、学校の生活環境改善を図るため、小学校7校、中学校1校で体育館・校庭トイレの洋式化工事を実施しました。

(7) 目黒南中学校と目黒西中学校の開校に向けた取組

「第七中学校・第九中学校の統合新校整備方針」及び「第八中学校・第十一中学校の統合新校整備方針」に沿って、令和7年度の開校を目指して、令和5年度から引き続き取組を進めました。

統合新校開設準備委員会では、教育計画、施設計画、標準服・校則、校章・校旗、校歌、通学負担緩和・安全、歴史的資料の保存と展示について検討を進めました。

保護者と地域の方を対象とした新校の説明会を7月に実施しました。

また、令和7年3月に第七中学校、第八中学校、第九中学校及び第十一中学校の開校記念式典を行いました。

(8) めぐろ歴史資料館企画展等の実施

令和7年に戦後80年の節目を迎えるに当たり、戦後の目黒のあゆみを振り返る機会とした「目黒の戦後一地域、そして学びのあゆみー」及び、近年新たに確認された発掘調査成果を広く公表する機会とした「新発掘速報展」の同時開催など、企画展示や関連事業を2回実施しました。

また、新たな情報発信による啓発・普及事業の一環として、デジタル技術を活用したバーチャルミュージアムを構築し、令和7年3月1日より公開しました。この事業の特徴としては、「来館する」及び「開館時間」という制約がないことから自由に見学が可能となることが挙げられ、また、閲覧者が公開している資料等に興味をもち、実物資料の見学のために来館するといった効果も期待されます。

(9) 目黒区立図書館と医療機関との連携事業

東邦大学医学メディアセンター、国立病院機構東京医療センター、東京医療保健大学図書館と目黒区立八雲中央図書館は、令和6年1月に「図書館資料等を活用した健康医療情報・保健福祉情報サービスに関する合意書」を締結しました。この合意に基づき「めぐりぶ健康ネット」の名称で、各図書館が保有する資料及び情報の活用により、健康医療・保健福祉に関する地域の課題解決に資することができるよう連携事業を進めています。

主な連携事業として共同企画展示を実施しています。6年度は「お酒と健康」に関する企画展示を実施しました。公共図書館の幅広い蔵書を活かし、八雲中央図書館から相互協力の一つとして企画に沿った資料の貸出しを行っています。

(10) Web リクエストサービス

令和6年12月から、目黒区民の方に対し、区立図書館に所蔵のない資料に対する購入要望を、図書館ウェブサイトで受付する「Web リクエストサービス」を開始しました。要望いただいた資料の購入検討の結果は、図書館ウェブサイトのマイページで確認できます。

(11) 物価高騰対策

区立小・中学校の給食費について、物価高騰の影響を受ける保護者の経済的負担の軽減を図る

ため令和5年10月から保護者負担をゼロとしました。また、更なる物価高騰が続き米等食材費の価格が上昇していることを踏まえ、充実した給食を安定的に提供していくために区立小・中学校、こども園の給食食材費を増額し、公費で支援しました。

就学援助・就学奨励費の学用品費及び入学支度金費について、物価高騰相当分を追加支給しました。

(12) 給食のリサイクル事業の取組

「目黒区環境基本計画」に基づき食品ロス削減に向けた取組を進めるため、給食で発生した調理残渣（野菜や果物の皮・鶏ガラ・卵の殻・骨等）や食べ残し等の生ごみをリサイクルにより飼料化し、循環型社会の促進を図りました。また、給食で発生する空き紙パックを回収し、リサイクル処理施設において資源化を行いました。なお、こども園については、園活動において紙パックの利用を行っていることから、紙パックのリサイクル回収は実施しておりません。

4 広報・広聴活動

(1) 広報活動

教育行政を適正、かつ効果的に推進していくためには、行政の施策や計画等の情報を区民に正しく提供し、行政と区民の連携を図ることが重要です。令和6年度の主な広報活動は次のとおりです。

ア 教育施策説明会の実施

教育委員会は、教育課題を提起するとともに教育施策を積極的に展開するに当たり、区民のご理解とご協力を得られるよう、教育施策説明会を実施しています。

令和6年度は、時間や場所を限定しない形での視聴が可能な説明動画のオンデマンド配信と新型コロナウイルス感染拡大後初めて会場参加型説明会も実施しました。

オンデマンド配信

配信開始日・視聴回数	内 容
5月21日から 719回 (6月30日までの集計分)	①目黒区立小・中学校の給食 ②目黒南中学校・目黒西中学校の開校に向けた取組 ③学校施設の計画的な更新 ④コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 ⑤部活動支援の取組 ⑥目黒区GIGAスクール ⑦いじめ問題への対応 ⑧不登校児童・生徒への取組 ⑨特別支援教育の推進 ⑩区立学校・園における警備体制の強化 ⑪図書館サービスの充実
11月19日から 423回 (12月27日までの集計分)	①「子どもたち一人ひとりに合った学び」の推進 ②目黒南中学校・目黒西中学校の開校に向けた取組 ③1人1台学習用情報端末（GIGAシステム）の更新について ④特別支援教育の推進 ⑤部活動支援の取組 ⑥コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 ⑦目黒区立小・中学校の給食 ⑧いじめ問題への対応 ⑨不登校児童・生徒への取組 ⑩学校施設の整備・改善 ⑪図書館での子どもの読書活動の充実にむけて

会場参加型説明会

日 時	参 加 者
12月7日（土） 10：00～11：30	8人（PTA 6人、一般2人） 小・中学校、幼稚園・こども園の保護者及び区民

イ 「目黒区の教育—令和5年度事業報告書—」の発行

教育関係者、施設等に配布しました。

ウ 「きょういく広報」の発行

発行部数 No.178 11,500部 No.179 11,400部

区立小・中学校、幼稚園・こども園の保護者への配布は、保護者連絡システムで配信しました。そのほか、保育園、教育施設窓口、区施設窓口等に配布し、町会・自治会に回覧しました。

(発行開始：昭和47年4月)

発行月	内 容
No.178 (11月)	<ul style="list-style-type: none"> ・第78回 目黒区立中学校連合体育大会 ・目黒南中学校・目黒西中学校の開校準備 ・目黒南中学校・目黒西中学校の基本設計を作成しました ・向原小学校仮設校舎で授業を開始しました ・令和7年度から使用する中学校教科書が決まりました ・令和6年度 全国学力・学習状況調査と目黒区学習状況調査の結果 ・医療的ケア実施ガイドラインを策定しました ・めぐろそうだんポスト ・不登校児童・生徒の保護者のためのガイド ・親子で遊べる チャイルドクラブ ・めぐろ歴史資料館企画展 昔のくらしと道具展 ・地域が応援する学校づくりフォーラム ・教育施策説明会と説明動画の公開 ・教育委員を紹介します ・寄付金のお願い
No.179 (4月)	<ul style="list-style-type: none"> ・目黒南中学校・目黒西中学校の開校に伴い、第七中学校、第八中学校、第九中学校、第十一中学校は、78年間の歴史に幕を下ろしました ・令和7年度教育委員会の予算 ・向原小学校新校舎実施設計を決定しました ・寄付金のお願い ・令和6年度目黒区教育委員会児童生徒表彰 ・令和6年度目黒区立学校授業スペシャリスト表彰 ・鷹番小学校PTAが優良PTA 文部科学大臣表彰を受賞 ・特別支援教育推進計画（第五次）を策定しました ・幼児・児童・生徒および保護者向けの配布チラシを電子化しています ・令和7年度長期休業期間中の教育活動停止日 ・教育施策に関する説明動画の公開 ・めぐろデジタルミュージアム ・旧第七中学校、第八中学校、第九中学校、第十一中学校の思い出の写真、校歌の動画などを公開しています

エ ウェブサイトの活用

区のホームページ上に教育委員会のページを設け、誰もが「使いやすい」「欲しい情報がすぐに見つかる」ウェブサイトを目指し、整理等を行いつつ、教育情報の積極的な公開に努めました。

学校のウェブサイトについては、平成 21 年度に CMS (コンテンツマネジメントシステム) を導入し、専門の知識がなくても各校が一定レベルのウェブサイトを開くことができる体制となっています。そのため、各校とも学校だよりを掲載したり、写真入りで学校生活の様子を紹介したり、保護者や地域の方々に向け積極的に情報公開を行っています。

オ その他

東山社会教育館、目黒区民センター社会教育館、目黒本町社会教育館、中央町社会教育館、緑が丘文化会館、青少年プラザでは、館主催の事業や社会教育の啓発、団体活動の紹介等のために、「館だより」等を発行しました。

めぐろ歴史資料館、生涯学習課文化財係では「めぐろ歴史資料館・文化財だより」を発行しました。

社会教育の催し等は、ポスター・ちらし、「めぐろ区報」等で、随時お知らせするとともに、社会教育館、緑が丘文化会館、青少年プラザ、図書館では、ウェブサイトにおいて事業等のお知らせを行いました。

(2) 情報公開

区が保有している各種の情報は、区民と区の共有財産です。この情報を区民が有効に活用できるように、区は「情報公開制度」を実施しています。

また、区が保有する個人情報を保護するために「個人情報保護制度」を実施しています。個人情報保護制度は、法改正により、令和 5 年 4 月 1 日から、区の条例に基づく制度から、国の個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）に基づく制度に変更となりました。

ア 情報公開制度

区では、昭和 60 年 1 月 1 日に公文書公開条例を施行し、区民の公文書の公開を求める権利を保障し、公正で開かれた区政の推進、区民の区政への参加等を図ってきました。

その後、情報公開の対象を拡大し、個人情報の保護等に関する規定を整備するとともに、実施機関に対し情報の公開施策の充実を義務付けること等により情報公開の総合的な推進を図るため、公文書公開条例の全部を改正し、情報公開条例を定め、平成 13 年 4 月 1 日から情報公開制度を実施してきました。教育委員会もこの制度の実施機関になっており令和 6 年度の請求は 12 件で、その請求に対する処分は、全部開示決定が 4 件、一部開示決定が 5 件、不開示が 3 件でした。

イ 個人情報保護制度

個人情報保護制度は、区が保有する個人情報を保護するために必要な事項を定めることにより、区民等が自分自身についての情報を知り、コントロールする権利を保障する制度です。教育委員会もこの制度の実施機関になっており、区立学校が保有する個人情報の保護制度も実施しています。令和 6 年度の請求は 4 件で、その請求に対する処分は、全部開示決定が 0 件、一部開示が 4 件、不開示が 0 件でした。

5 放射性物質への対応

平成 23 年 3 月 11 日に発生した福島第一原子力発電所の事故の影響による放射性物質への主な対応は次のとおりです。

(1) 学校・園給食食材の放射性物質検査

学校・園で使用する給食食材について、下記のとおり検査を実施しました。令和 6 年度の結果で食品衛生法に定める規格基準を超えるものではありませんでした。

食材種類	検査頻度	検査方法	検査機関
米	年 2 回	ゲルマニウム検出器 による検査	外部検査機関
飲用牛乳 ※油面小学校わかたけ学級用 ヨーグルトも含む。	年 2 回		
使用前の食材	各施設 1 件程度 延べ 33 件		
食育食材	年 6 件		

※給食食材の産地を、小・中学校は学校ウェブサイト、こども園は園内に掲示して公表しました。

(2) 小・中学校校庭等の空間放射線量測定及び低減措置

平成 23 年度から実施していた、目黒区における小・中学校校庭の空間放射線量測定及びプール水の放射性物質の測定は、基準値である $0.23 \mu\text{Sv/h}$ を大きく下回る測定値で推移していることなどから、令和 2 年度をもって終了しました。

Ⅲ 教育費のあらまし

1 令和6年度教育費決算額

目黒区教育委員会が令和6年度に支出した区一般会計の決算額は、187億7,949万6千円です。教育費を前年度と比較した場合、15億5,912万7千円（9.1%）の増となっています。その主な要因として、小中学校施設の計画的な更新に係る経費の増があげられます。

※各図表中の金額及び割合は四捨五入しているため、合計と一致しないことがあります。

図1 教育費の区一般会計決算額に占める割合

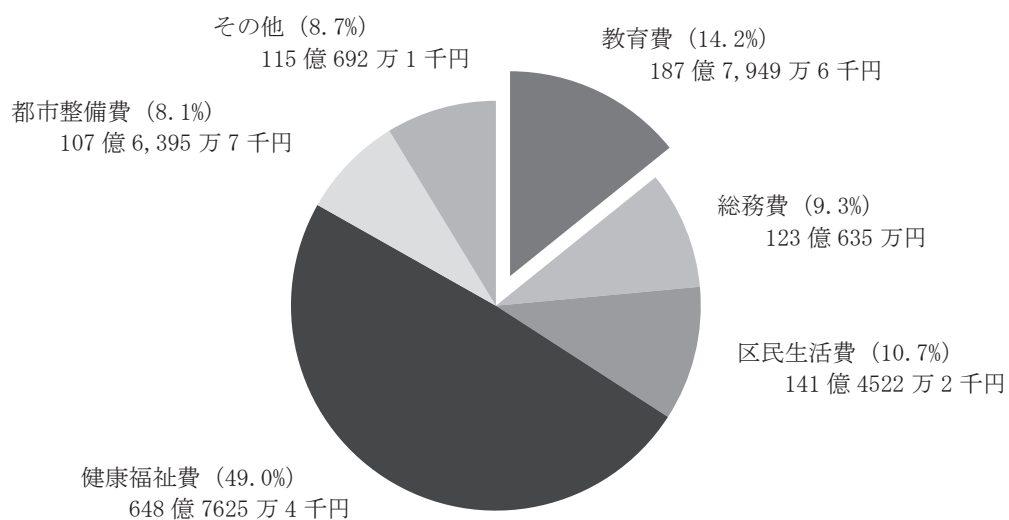


図2 教育費費目別割合

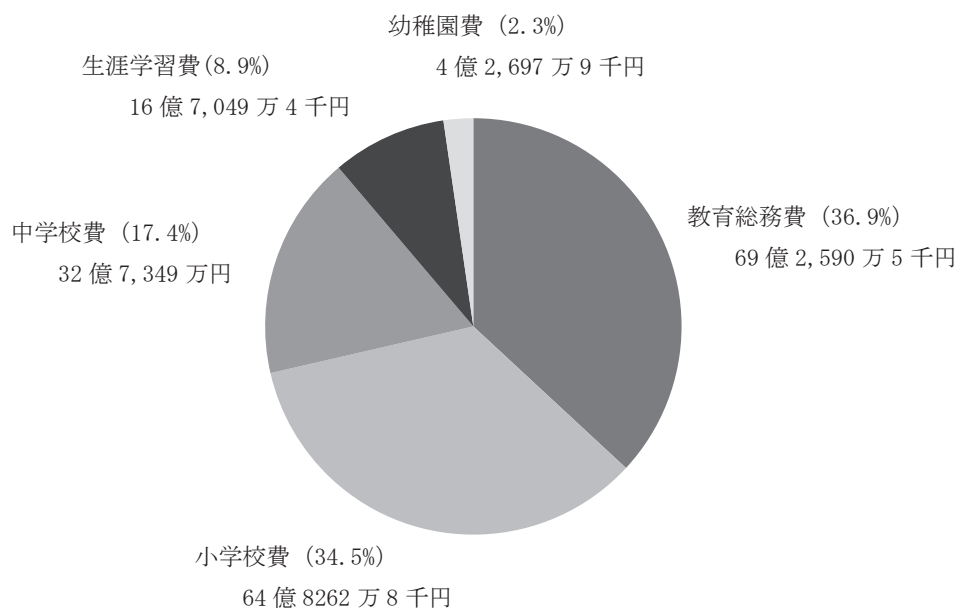
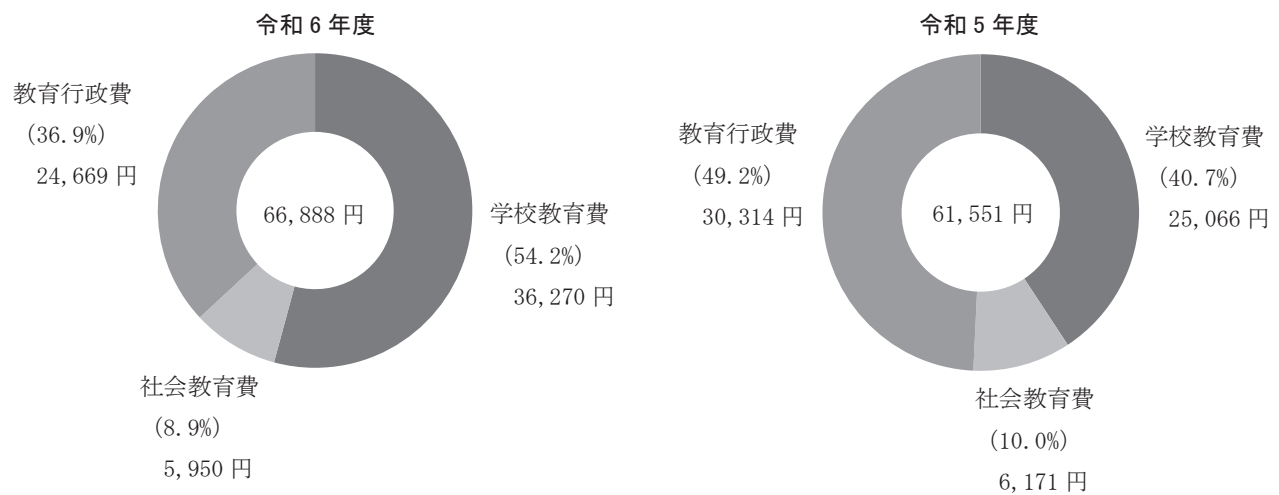


図3 区民一人当たりの教育費



2 保護者が負担する学校教育費

東京都教育委員会では、都内の公立学校において保護者が学校に納入する費用を把握するために、隔年で調査を行っています。

直近で実施した令和 5 年度調査における目黒区の保護者が負担した教育費（受益者負担）の額及び内訳は次のとおりです。

(1) 1人当たりの負担額（児童・生徒数は令和 5 年 5 月 1 日）

- ア 小学校 44,864 円 児童数 10,167 人
- イ 中学校 82,130 円 生徒数 2,830 人

(2) 負担額の内訳

	学校給食費	教材費	儀式・学校行事	社会科見学・遠足等	校外宿泊	修学旅行	その他	1人当たりの負担額
小学校負担額	24,762	11,243	437	3,595	2,001		2,826	44,864
負担額(円)	55.2%	25.1%	1.0%	8.0%	4.5%		6.3%	100.0%
中学校負担額	29,763	15,626	729	2,781	7,786	19,939	5,506	82,130
負担額(円)	36.2%	19.0%	0.9%	3.4%	9.5%	24.3%	6.7%	100.0%

※1人当たりの負担額は区内小・中学校の合計額を項目ごとに全体の児童・生徒数で割った数です。

※「校外宿泊」は「自然宿泊体験教室」「部活動合宿」「独自宿泊事業」です。

※項目ごとに四捨五入しているため、合計が計算結果と合わない場合があります。

※学校給食費は令和 5 年 10 月から保護者負担ゼロの取組を実施しているため、9 月分までの負担額です。

Ⅳ めぐろ学校教育プラン

(平成 15 年 2 月 25 日策定、平成 16 年 3 月 16 日一部改定、平成 18 年 2 月 7 日一部改定、平成 19 年 3 月 13 日改定、平成 20 年 3 月 25 日一部改定、平成 22 年 3 月 16 日改定、平成 25 年 3 月 26 日改定、平成 29 年 3 月 14 日改定、令和 4 年 3 月 15 日改定)

1 基本的考え方

変化の激しい 21 世紀においては、一人ひとりが個人として自立し、社会の一員として、それぞれの分野でたくましく生き抜いていく力を身に付けることが求められています。

そのための基礎となる力を培う学校教育では、児童・生徒の「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をはぐくみ、知・徳・体のバランスのとれた豊かな人間性を養うことが重要な役割です。

めぐろ学校教育プランでは、「目指す子ども像」を<21 世紀をたくましく生きる人間性豊かなめぐろの子ども>とし、これを実現していくため「目指す学校像」として<魅力と活力にあふれ、信頼される学校>を掲げました。この 2 つの大きな目標を実現するため、7 つの取組の方向と、32 の推進施策、62 の推進事業、121 の実施策の推進により、「魅力と活力にあふれ、信頼される学校」づくりを基盤に、「21 世紀をたくましく生きる人間性豊かなめぐろの子ども」をはぐくんでいきます。

2 位置付け

めぐろ学校教育プランは、目黒区教育委員会の教育目標・基本方針を学校教育において実現するための計画です。また、区の長期計画の補助計画として位置付けられており、「目黒区教育に関する大綱」や他の関連計画等との整合を図ります。

3 計画の期間

令和 4 年度から令和 8 年度までの 5 か年に実施する教育施策とし、国の制度改正や著しい状況の変化があった場合は、必要に応じて見直しを行います。

4 進め方

施策は、①単年度で実現を図るもの ②複数年度にわたるもの ③全校一斉に実施するもの ④各学校の教育計画に基づき選択して実施していくものなど様々です。毎年度、各学校の希望や実施状況等を判断し、予算編成等を通じて具体化を図っていきます。

また、本計画の実効性を高めるため、定期的に各施策の取組状況を検証し、必要に応じて施策の改善・見直しを行います。

5 取組の方向

「目指す子ども像」・「目指す学校像」という目標に向け、7つの取組の方向に基づき教育施策を推進します。

取組の方向① 確かな学力の向上

社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきた中、一人ひとりの児童・生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要です。

児童・生徒が個性と能力を伸ばし、社会を生き抜いていくための基盤として、児童・生徒一人ひとりの「確かな学力」を育成します。

推進施策

- ①-1 授業改善の推進
- ①-2 個に応じた学習指導の充実
- ①-3 ICTを活用した教育の充実
- ①-4 外国語教育の充実
- ①-5 理科教育の充実
- ①-6 今日的課題に対応した教育の推進

取組の方向② 豊かな心の育成

豊かな心は、自他の違いを認め、他人を思いやることや自然を愛し、美しいものに感動する体験などからはぐくまれます。人権教育・道徳教育や自然体験、国際交流や伝統・文化体験等、体験的な学習を充実させ、子どもたちの豊かな心を育成します。

推進施策

- ②-1 人権教育・道徳教育の推進
- ②-2 国際社会に対応する教育の推進
- ②-3 体験学習の充実
- ②-4 連合行事等の充実

取組の方向③ 健やかな体の育成

体力は、諸活動の源であり、健康の維持のほか意欲や気力といった精神面の充実にも大きく関わる「生きる力」を支える重要な要素です。

子どもたちが生涯にわたって運動に親しむ態度や意欲・関心を高める取組を推進し、子どもたちの健やかな体の育成を図ります。また、子どもたちの健全な食生活の実践に向けて食育を推進します。

推進施策

- ③-1 体力向上に向けた取組の推進
- ③-2 健康教育の推進
- ③-3 食育の推進

取組の方向④ 新しい時代の教育を支える環境整備

確かな学力の定着や豊かな人間性の育成、健康の増進と体力の向上など、学校教育の様々な課題を解決していくために、校・園長のリーダーシップの下、全教職員が一体となって、新しい時代の学校教育を支える環境整備に組織的に取り組みます。

推進施策

- ④-1 いじめ防止等の対応の充実
- ④-2 不登校等への対応の充実
- ④-3 特別支援教育の推進
- ④-4 教室のＩＣＴ環境整備と校務の情報化の推進
- ④-5 学校図書館機能の充実と子ども読書活動の推進
- ④-6 就学前施設・小学校・中学校間の連携・交流の強化

取組の方向⑤ 魅力ある学校施設への更新

児童・生徒が快適かつ安全・安心に学校生活を送ることができるよう、老朽化した学校施設を計画的に更新するとともに、既存施設についても利便性の向上や時代の変化への対応のための機能改善を進めていきます。充実した教育環境の整備を通じて、「魅力と活力にあふれ、信頼される学校」の実現を図ります。

推進施策

- ⑤-1 学校施設の計画的な更新
- ⑤-2 学習・生活環境の改善
- ⑤-3 中学校の適正規模の確保と適正配置の推進

取組の方向⑥ 学校内外の連携・分担による学校マネジメントの実現

学校を支える校内の人材と保護者、地域住民との連携・分担により、児童・生徒の健全な成長を図ることが大切です。学校における働き方改革を推進するとともに、学校と家庭や地域が連携することにより、子どもたちの実態に応じた教育活動を展開する取組を推進します。

推進施策

- ⑥-1 創意工夫を生かした学校づくりの促進
- ⑥-2 学校評価の活用による教育活動と学校運営の改善・充実
- ⑥-3 教員の資質・能力の向上
- ⑥-4 「チーム学校」の機能強化
- ⑥-5 働き方改革の推進
- ⑥-6 学校・家庭・地域全体で子どもたちの成長を支える体制の整備

取組の方向⑦ 子どもの安全・安心の確保

自然災害、犯罪や事故、虐待等から子どもたちを守るため、防災教育や家庭・地域と連携した子どもの安全・安心を確保する取組をより一層推進します。また、「新しい生活様式」における感染症対策や熱中症対策を講じます。

推進施策

- ⑦-1 安全教育の推進と安全体制の確保
- ⑦-2 家庭・地域の協力による安全対策
- ⑦-3 学校・園における児童虐待の早期発見・早期対応の推進
- ⑦-4 「新しい生活様式」等における予防策の推進

V 目黒区特別支援教育推進計画（第五次）

（令和 7 年 3 月策定）

1 計画の基本的考え方

目黒区においては、共生社会の実現に向けて全ての子どもが可能な限り共に学ぶことに配慮するとともに、自立と社会参加に向けて一人ひとりの教育的ニーズに応じた連続性のある多様な学びの場を充実していくインクルーシブ教育システムの構築を基本的な考え方としています。これまで目黒区で取り組んできた特別支援教育の成果と課題、国や都の動向を踏まえ、次に示す 3 つの柱（取組の方向）を設定し、そのための方策を定め、具体的な取組を進めていきます。

取組の方向

- I 多様な子どもが共に学ぶための環境整備
- II 一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた指導・支援の充実
- III 保護者や関係機関等との連携強化による切れ目ない支援体制の充実

2 計画の期間

第五次の計画は令和 7 年度から令和 11 年度までの 5 年間としていますが、計画期間内に目黒区の他の計画や国や都の大きな制度改正等により特別支援教育をめぐる状況が著しく変化した場合は、必要に応じて見直しを行います。

3 計画での主な取組（推進施策）

計画を具体的に推進していくため、6 つの推進施策と 21 の具体的な取組を掲げ、着実に取り組んでいきます。

【取組の方向 I】多様な子どもが共に学ぶための環境整備

＜推進施策 1＞区立学校・園における支援体制の充実

- (1) 区立学校・園における校・園内支援体制の充実
- (2) 区立学校・園における相談機能の充実
- (3) 区立学校・園における合理的配慮の提供促進

＜推進施策 2＞学びの場の環境整備

- (1) 学級におけるユニバーサルデザイン化の推進
- (2) 学校 ICT 環境整備
- (3) 特別支援教室の環境整備
- (4) 区立小学校施設の計画的な更新・区立中学校新校舎の整備

＜推進施策 3＞心のバリアフリーの推進

- (1) 教職員への理解啓発
- (2) 幼児・児童・生徒への理解啓発
- (3) 保護者・区民への理解啓発
- (4) 交流及び共同学習の充実
- (5) 特別支援学校に在籍する児童・生徒の副籍交流の充実

【取組の方向Ⅱ】一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた指導・支援の充実

＜推進施策4＞区立学校・園における多様な学びの場での指導・支援の充実

- (1) 通常の学級・園における特別な支援を要する幼児・児童・生徒への指導力の向上
- (2) 特別支援教育支援員・特別支援学級補助員等の配置と専門性の向上
- (3) 特別支援教室・特別支援学級における指導・支援の充実

【取組の方向Ⅲ】保護者や関係機関等との連携強化による切れ目ない支援体制の充実

＜推進施策5＞就学前における早期からの連携による相談・支援体制の充実

- (1) 区立幼稚園・こども園への幼稚園・こども園特別支援員等の効果的な配置
- (2) 保護者や関係機関等との連携による支援体制の充実
- (3) 児童発達支援センター等との連携による支援の充実

＜推進施策6＞卒業後までを見通した連携による支援体制の充実

- (1) 保護者と教育委員会との連携による支援の充実
- (2) 関係機関等と連携した支援体制の強化
- (3) 特別支援学校との連携による支援の充実

I 学校運営

1 児童・生徒の就学状況

学齢児童・生徒の小・中学校への就学は、学校教育法により義務教育とされていて、その事務は区の教育委員会が行っています。令和6年度は区立の小学校は22校、中学校は9校を設置しています。令和7年度に第七中学校と第九中学校、第八中学校と第十一中学校を統合して、目黒南中学校と目黒西中学校を開校したため、中学校は7校の設置となっています（巻末資料「区立学校一覧」を参照）。

就学すべき学校は、通学区域に関する規則に従って、児童・生徒の住所により指定しています。なお、児童・生徒が健康上の理由や家庭の事情等で指定校以外の学校へ就学しようとする場合には、保護者からの申し出により、教育委員会が相当と認めるときには変更することもあります。

また、教育委員会では、平成15年4月に区立中学校へ入学する新一年生から「隣接中学校希望入学制度」を、平成17年4月に区立小学校へ入学する新一年生から「隣接小学校希望入学制度」を導入しました。なお、「隣接小学校希望入学制度」については、これまでの隣接学校希望入学制度の実施結果、児童・生徒数や学級数の将来推計及び平成29年度に実施したアンケート調査等を総合的に判断し、平成31年4月入学から当面の間「休止」することとしました。

小・中学校 児童・生徒数、教員数

(各年度5月1日現在)

	小 学 校				中 学 校			
	児童数	指数	教員数	指数	生徒数	指数	教員数	指数
令和2	9,990	100.0	534	100.0	2,754	100.0	195	100.0
3	10,231	102.4	547	102.4	2,787	101.2	205	105.1
4	10,232	102.4	552	103.4	2,835	102.9	200	102.6
5	10,167	101.8	556	104.1	2,830	102.8	200	102.6
6	10,152	101.6	560	104.9	2,857	103.7	208	106.7

小学校 通常の学級 学校別・学年別、児童数、学級数

(令和6年5月1日現在)

小学校名	児 童 数							学 級 数						
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
八雲	74	79	62	64	70	56	405	3	3	2	2	2	2	14
菅刈	62	52	54	54	51	49	322	2	2	2	2	2	2	12
下目黒	66	88	95	73	90	83	495	2	3	3	3	3	3	17
碑	108	105	102	92	99	95	601	4	3	3	3	3	3	19
中目黒	80	74	85	86	115	69	509	3	3	3	3	4	2	18
油面	60	99	74	88	88	86	495	2	3	3	3	3	3	17
大岡山	111	122	109	130	127	123	722	4	4	4	4	4	4	24
烏森	55	52	57	81	63	61	369	2	2	2	3	2	2	13
向原	39	45	52	48	52	46	282	2	2	2	2	2	2	12
五本木	51	51	57	68	59	67	353	2	2	2	2	2	2	12
鷹番	67	74	62	70	72	52	397	2	3	2	2	3	2	14
田道	54	72	63	78	56	78	401	2	3	2	3	2	2	14
月光原	61	63	53	64	59	62	362	2	2	2	2	2	2	12
駒場	50	41	59	75	63	62	350	2	2	2	3	2	2	13
緑ヶ丘	28	36	35	43	33	35	210	1	2	1	2	1	1	8
原町	60	52	51	70	47	47	327	2	2	2	2	2	2	12
不動	105	109	140	129	122	106	711	3	4	4	4	4	3	22
上目黒	48	45	48	52	55	48	296	2	2	2	2	2	2	12
東根	108	128	100	126	127	107	696	4	4	3	4	4	3	22
中根	70	54	68	64	56	50	362	2	2	2	2	2	2	12
宮前	64	43	53	56	52	53	321	2	2	2	2	2	2	12
東山	165	184	179	178	156	184	1046	5	6	6	6	5	5	33
合計	1,586	1,668	1,658	1,789	1,712	1,619	10,032	55	61	56	61	58	53	344

中学校 通常の学級 学校別・学年別、生徒数、学級数 (令和6年5月1日現在)

中学校名	生徒数				学級数			
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
第一	55	71	63	189	2	2	2	6
第七	92	78	63	233	3	2	2	7
第八	74	69	56	199	3	2	2	7
第九	47	50	62	159	2	2	2	6
第十	141	138	140	419	4	4	4	12
第十一	31	47	67	145	1	2	2	5
東山	130	109	125	364	4	3	4	11
目黒中央	147	215	212	574	5	6	6	17
大鳥	182	169	166	517	5	5	5	15
合計	899	946	954	2,799	29	28	29	86

隣接中学校希望入学制度実施結果

(令和7年4月7日現在)

学校名	受入人数	入				出				差引	入学者数
		申込者数	辞退等	国都私立進学者	最終人数	申込者数	辞退等	国都私立進学者	最終人数		
第一中学校	35	8	3	1	4	13	0	8	5	△1	49
第十中学校	35	16	1	6	9	15	4	6	5	4	96
東山中学校	35	25	2	11	12	12	5	4	3	9	151
目黒中央中学校	【注】	72	10	33	29	45	8	13	24	5	156
大鳥中学校	【注】	24	8	9	7	43	4	13	26	△19	151
目黒南中	35	11	0	3	8	38	5	24	9	△1	126
目黒西中	35	31	4	14	13	21	2	9	10	3	98
計		187	28	77	82	187	28	77	82	0	827

【注】目黒中央中学校及び大鳥中学校については、2月以降、学区域内の入学状況等を踏まえて可能な範囲で受け入れを行うこととし、申込段階では目黒中央中学校は25～35人、大鳥中学校は5人程度の受入人数としていました。

※目黒中央中学校及び大鳥中学校は、国・都・私立中入学者による辞退者を考慮しても定員を超えることが予想されたため、抽選を実施しました。

※「辞退等」の人数には、「希望校の調整区域に居住している方」及び「令和7年度に兄又は姉が希望校に通学している方」を含みます。

*対象者数 2,022人<令和6年9月1日現在の小学6年生の人数>

*申込者数 187人<申込率 9.25%(申込者数/対象者数)>

*最終人数 82人<申込率 4.06%(最終人数/対象者数)>

小学校特別支援学級 学級別・学年別、児童数、学級数

(令和6年5月1日現在)

設置校名	障害種別	児童数							学級数
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
八雲小(3くみ)	知的障害	4	5	5	6	4	4	28	4
菅刈小(あすなろ学級)	知的障害	5	5	5	6	3	5	29	4
碑小(4くみ)	知的障害	9	4	4	4	0	5	26	4
鷹番小(つくし学級)	知的障害	5	4	1	3	6	2	21	3
油面小(わかたけ学級)	肢体不自由	1	1	0	0	1	1	4	1
五本木小(4組)	自閉症・情緒障害	6	1	1	4	0	0	12	2
東根小 (きこえとことばの教室)	難聴※	1	1	0	3	0	0	5	1
	言語障害※	4	13	7	1	2	1	28	2

※は通級指導学級

中学校特別支援学級 学級別・学年別、生徒数、学級数 (令和6年5月1日現在)

設置校名	障害種別	生徒数				学級数
		1年	2年	3年	計	
第八中(E組)	知的障害	5	8	5	18	3
大鳥中(6組)	知的障害	5	10	7	22	3
大鳥中(7組わかたけ)	肢体不自由	1	0	0	1	1
目黒中央中(しいの木学級)	自閉症・情緒障害	4	8	5	17	3

小学校 拠点校特別支援教室別学年別利用児童数 (令和6年5月1日現在)

拠点校名	巡回する小学校	児童数						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
中目黒小(すずかけ)	下目黒小、田道小	4	8	10	17	17	8	64
五本木小(ゆりのき)	鷹番小、上目黒小、 烏森小	6	8	9	14	11	11	59
原町小(かしわのき)	碑小、向原小	5	11	10	15	14	12	67
不動小(ゆずりは)	油面小、月光原小	4	11	12	11	7	7	52
中根小(さくら)	大岡山小、緑ヶ丘小	8	8	10	3	9	10	48
宮前小(はなみずき)	八雲小、東根小	4	10	6	3	6	5	34
東山小(いちよう)	菅刈小、駒場小	4	9	19	17	17	11	77

※小学校の特別支援教室拠点校では、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害又はその傾向がある児童に対して巡回指導を行っています。

中学校 拠点校特別支援教室別学年別利用生徒数 (令和6年5月1日現在)

拠点校名	巡回する中学校	生徒数			
		1年	2年	3年	計
第七中(つばさ)	第一中、第八中、第九中、 第十中、第十一中、東山中、 目黒中央中、大鳥中	28	30	23	81

※中学校の特別支援教室拠点校では、自閉症、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害又はその傾向がある生徒に対して巡回指導を行っています。

日本語国際学級

設置校名	児童数	学級数
東根小学校	22	2

2 障害のある児童・生徒の就学

(1) 障害のある児童・生徒の就学・転学相談

障害のある児童・生徒の就学・転学については、その障害の種別と程度に応じ、学校教育法の定めによる学校や学級に就学することができます。東京都では特別支援学校（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・知的障害・病弱）を、区では小・中学校に知的障害学級、肢体不自由学級、自閉症・情緒障害学級、特別支援教室を設置し、さらに、小学校には、難聴・言語障害通級指導学級を設置し、障害の状態等に応じた指導・支援を行っています。なお、小学校の自閉症・情緒障害学級（五本木小学校4組）は、令和3年度に設置しました。これらの学級への就学等については、教育委員会事務局で就学相談等を行い、校長及び専門医等で構成する就学支援委員会等を開き、保護者と相談のうえ、学校、学級を決めています。就学相談の日程等は、区公式ウェブサイト等で毎年度お知らせしています。

就・転学等相談結果

	通常の学級	特別支援学級・特別支援教室	特別支援学校	就学猶予免除	その他	計
小学校	37 (3)	212 (126)	20 (2)	0	13 (3)	282 (134)
中学校	3 (0)	53 (22)	4 (2)	0	5 (4)	65 (28)
合 計	40 (3)	265 (148)	24 (4)	0	18 (7)	347 (162)

※「通常の学級」は特別支援教室を利用しなかった人数を含む。

() 内の人数は転学等の内数

「その他」は区外転出、私立学校への入学、就学相談取下げの人数

(2) 特別な支援を必要とする児童・生徒への支援

ア 定期巡回訪問・要請訪問

特別支援教育主任専門員（教育）と特別支援教育相談員（心理）が区立小・中学校を訪問し、通常の学級に在籍し、障害があるなど特別な支援を必要とする児童・生徒の実態を把握し、個に応じた学習方法や生活習慣が身に付くように学校に対して指導・助言を行っています。

定期巡回訪問は、前期・後期に各1回、区立小・中学校を巡回し、要請訪問は、学校・園からの要請に基づいて必要に応じて訪問しています。平成23年度からは区立幼稚園、こども園へも訪問を実施しています。

定期巡回訪問

校 種	校・園数	対象人数
幼稚園・こども園	6	14
小学校	44	1,696
中学校	18	419
計	68	2,129

要請訪問

校 種	校・園数	対象人数
幼稚園・こども園	0	0
小学校	114	356
中学校	18	55
計	132	411

イ 特別支援教育に関する相談

障害があるなど特別な支援を必要とする児童・生徒の教育上の課題等について、特別支援教育主任専門員（教育）、特別支援教育相談員（心理）が来庁・電話相談に応じています。

ウ 特別支援教育支援員の配置

小・中学校31校（全校）で生活面及び学習面での指導に特別な配慮を要する児童・生徒1,093名に対し、342名の特別支援教育支援員を114,455時間配置し、支援の充実を図りました。特別支援教育支援員の支援方法等の向上を図るため、講義動画による研修と集合による研修を各1回ずつ実施しました。

(3) 小学校就学前の幼児に関する相談

ア 就学相談員による就学前施設の訪問

就学相談員が、すすくのびのび園を訪問して、小学校への就学を予定している特別な支援が必要な幼児と保護者に対する巡回相談を行いました（52名に対して、27回訪問）。

イ 小学校就学前ガイダンスの実施

区立幼稚園・こども園、私立幼稚園、区立保育園、私立保育園、認証保育所の教職員・保護者を対象とした、小学校就学前ガイダンスを行いました（53園の幼児92名に関して、延べ72回訪問）。

3 幼稚園・こども園

区立幼稚園は1園で2年保育を、区立こども園は2園で3年保育を行っています。入園は目黒区民であることを要件とし、11月頃に申し込みを受け付けます。募集の詳細については、「めぐろ区報」やウェブサイト、ポスター等でお知らせします。

なお、みどりがおか幼稚園は平成25年4月に、げっこうはら幼稚園は平成26年4月に、認定こども園に移行しました。

園児数・教員数

（各年度5月1日現在）

	園児数	教員数
平成 27	247	16
28	245	15
29	243	15
30	244	17
令和 元	239	17
2	207	17
3	192	17
4	189	18
5	174	17
6	163	17

園別・歳児別園児数

（令和6年5月1日現在）

幼稚園名	4歳児	5歳児	計	クラス数
ひがしやま	18	15	33	2

こども園名	区分	3歳児	4歳児	5歳児	計
げっこうはら	短時間	15	13	14	42
	中時間	1	3	2	6
	長時間	3	4	5	12
	計	19	20	21	60
みどりがおか	短時間	15	15	17	47
	中時間	2	3	5	10
	長時間	3	5	5	13
	計	20	23	27	70
合 計		39	43	48	130

※クラス数は、3歳・4歳・5歳とも各1クラス、合計6クラス

4 就学援助費・奨励費等給付状況

(1) 就学援助費

就学援助費は、経済的な理由により就学することが困難な学齢児童・生徒について、就学に必要な援助を行うことを目的とする制度です。この制度の対象は、生活保護法適用世帯及び児童福祉法適用世帯（要保護世帯）と、世帯の所得が生活保護法に定める生活費の需要額に対して1.2倍以下の世帯（準要保護世帯）で、保護者が教育委員会に申請し、該当世帯として認定されると、学用品費等の給付を受けることができます。

給付人数 1 人当たりの給付額

内 訳	費 目	学校給食費	学用品費	通学用品費	入学支度金費	校外行事費	修学旅行費	医療費	校外宿泊費	卒業記念アルバム費	体育実技用具費	部活動費
		準	準	準	準	準	生・準	生・準	生・児・準	生・児・準	準	生・児・準
小学校	受給者数(人)	14	524	444	86	524	91	0	175	86		
	給付額(円)	19,357	16,290	3,133	57,058	1,662	1,352	0	7,229	17,663		
	合計額(千円)	271	8,536	1,391	4,907	871	123	0	1,265	1,519		
中学校	受給者数(人)	0	289	198	101	289	95	0	99	98	18	232
	給付額(円)	0	31,913	3,899	66,000	3,038	78,263	0	20,242	10,408	4,889	1,228
	合計額(千円)	0	9,223	772	6,666	878	7,435	0	2,004	1,020	88	285

※表中「生」は生活保護法適用世帯、「児」は児童福祉法適用世帯、「準」は準要保護世帯

※校外宿泊費は「自然宿泊体験教室」、「部活動合宿」、「独自宿泊事業」、「特別支援学級校外宿泊」

受給者受給者数、受給率、給付総額、1 人当たりの標準受給額

年度	区分	受給者数 (受給率)		給付総額 (千円)	1 人当たりの標準受給額 ()内は令和 2 年度を 100 とした指数
		要保護 (%)	準要保護 (%)		
2	小学校	6 (0.06)	499 (4.99)	55,979	110,850 (100)
	中学校	20 (0.73)	309 (11.22)	38,373	116,635 (100)
3	小学校	7 (0.07)	538 (5.25)	44,396	81,461 (78)
	中学校	18 (0.65)	328 (11.76)	47,187	136,379 (117)
4	小学校	7 (0.07)	517 (5.04)	43,697	83,391 (75)
	中学校	9 (0.32)	313 (11.02)	46,848	145,491 (125)
5	小学校	9 (0.09)	530 (5.21)	30,977	57,471 (52)
	中学校	11 (0.39)	291 (10.28)	35,901	118,877 (102)
6	小学校	9 (0.09)	524 (5.16)	18,883	35,428 (32)
	中学校	14 (0.49)	289 (10.10)	28,371	93,634 (80)

※令和 2 年度までは決算ベース、令和 3 年度以降は受給者の入学年度ベースで算出

※区立小・中学校は令和 5 年 10 月から学校給食費の保護者負担ゼロの取組を実施。

(2) 就学奨励費

就学奨励費は、特別支援教育の普及奨励を図ることを目的とする制度です。この就学奨励事業の対象は、特別支援学級等児童・生徒の中で、世帯の所得が生活保護法に定める生活費の需要額の 2.5 倍未満の世帯です(通学費等は所得制限なし)。保護者が教育委員会に申請し、認定されると、通学費や学用品費等の給付を受けることができます。

給付状況

費 目 内 訳		学用品費 等	修学 旅行費	学校 給食費	通学費等	校外行事 ・宿泊費	職場体験 交通費	体育実技 用具費	給付額 総額 (千円)
小学校	受給者数 (人)	18	0	0	35	18			954
	給付額 (千円)	422	0	0	485	47			
中学校	受給者数 (人)	12	2	0	21	12	2	0	1,738
	給付額 (千円)	553	130	0	974	79	2	0	

※学用品費等には通学用品費及び新入学児童・生徒学用品費が、通学費等には通級交通費が含まれます。

5 学校運営費の執行

区立小・中学校の運営上必要とされる経費の大部分は、学校の児童・生徒数や学級数に応じて各学校に配付され、学校で直接、教材・教具の購入、修繕、印刷等の経費として執行されます。このほかに、全校に関わるもので一括処理した方がよいものや、年次計画を立てて計画的に整備するものについては、教育委員会事務局で執行しています。内容としては、児童・生徒の机、椅子等の教室の校具や光熱水費、電話料金等です。

6 学校評価

子ども・保護者・地域から信頼される学校を目指し、平成 15 年度から「保護者による学校評価」、平成 16 年度から「児童・生徒による学校評価」及び「地域の方による学校評価」、平成 18 年度からは、「教職員による学校評価」を実施しています。これらの保護者、児童・生徒、地域の方及び教職員による学校評価を「四者による学校評価アンケート」とし、自己評価のための資料に位置付け、学校評価の充実を図っています。また、平成 20 年度からは、各学校において「学校評価委員会」を設置し、学校の自己評価の妥当性や客観性を高めるとともに、次年度の教育課程の編成に生かしています。

令和 5 年度から各学校・園が結果を即座に集計・分析し、改善に向けた検討を進めることができるよう、全校・園でオンラインによるアンケートを実施しました。令和 6 年度は、回答者の負担軽減を図るため学校評価アンケートの設問内容や文言について、学識経験者（大学教授）を招聘し指導・助言を受けるとともに、教育委員会における「学校・園評価検討委員会」で検討を重ね、見直しました。

7 学校運営協議会

区では、平成 20 年度から平成 23 年度まで鷹番小学校、田道小学校を学校運営協議会のモデル実施校として 2 期 4 年間指定しました。

両校の活動内容について、平成 24 年度にそれまで学校運営協議会に関わった構成員、学校長、教育委員会事務局による評価に加えて外部の有識者による第三者評価を行い、学校運営協議会の成果と課題を検証し、その結果を報告会や区のウェブサイトで公表を行いました。

令和 4 年度から常設のめぐろ学校教育プラン推進委員会の小委員会として、小・中学校の校長及び幼稚園・こども園の園長を構成員に含めた検討会を設置し、学校運営協議会の設置に向けた検討を開始しました。令和 5 年度は運営体制の骨格など学校運営協議会の基本的方向性や、先行実施校から順次設置するなどのスケジュールを決定し、令和 6 年度は令和 7 年度から設置する先行実施校について、候補となる学校と協議を行った結果を踏まえて検討会で検討を行い、原町小学校、不動小学校及び第一中学校を先行実施校として選定しました。

(事業開始：平成 20 年度)

8 学校評議員

地域に開かれた学校づくりを推進し、学校及び校長への支援体制をつくるため、平成 13 年度から学校評議員制度が設けられました。学校評議員は、校長の求めに応じ、学校の教育目標、学校運営や教育活動に関すること、地域との連携の進め方などについて意見を述べ、校長はその意見を参考に学校運営を行い、地域に根差した創意工夫ある学校づくりを進めています。

また、学校評議員は、学校評価における学校の自己評価の妥当性・客観性を高めるため、「目黒区小・中学校学校評価委員会」の構成員として、意見を述べる等の役割を担っています。

平成 14 年度には全ての小・中学校、幼稚園に学校評議員が置かれ、令和 6 年度は、小学校 106 名、中学校 42 名、幼稚園・こども園 15 名の学校評議員が教育委員会から委嘱されました。

9 不審者情報などの発信

学校生活や通学途中等における子どもの安全を守る一つ的手段として、保護者連絡システムを活用して、不審者情報などの防犯情報や熱中症警戒アラートのお知らせなどを、区立小・中学校、幼稚園・こども園の保護者等に配信しました。

配信状況

(単位：件)

	不審者情報	お知らせ	その他事件・事故	計
教育委員会からの配信	11	176	0	187

10 AED（自動体外式除細動器）の設置

学校では児童・生徒の活動のほか、学校開放で多くの区民がスポーツ活動などを行っています。こうした活動中、心停止（心室細動）などの緊急事態発生に対応するため、平成 20 年度に全区立小・中学校等へ AED を設置しました。AED が有効に活用されるよう、教職員及び中学生を対象に普通救命講習会を実施しています。

設置施設：小学校（22 校）、中学校（7 校）、ひがしやま幼稚園、めぐろ学校サポートセンター、興津自然学園、八ヶ岳林間学園

全ての AED に小児用電極パッド又は小児用キー、救急キット、蘇生用マウスピース、毛布を付属しています。

(事業開始：平成 20 年度)

Ⅱ 保健・給食

1 学校保健

学校保健を推進し、児童・生徒の健康の保持増進を図ることは、心身ともに健康な国民の育成を期して行う教育の目的達成に大きな役割を果たし、あらゆる教育活動の基礎を培うものです。

近年、社会環境や生活様式の変化は、児童・生徒の健康にも多様な影響を与えています。肥満やアレルギー疾患、生活習慣病の若年齢化、心身症等の疾病が注目されていることは、その現れと言えます。

目黒区では、児童・生徒の健康保持に努め、健康診断の実施とともに健康教育を推進することで、さらに積極的な健康づくりに取り組んでいます。

(1) 健康診断

児童・生徒の健康の保持増進を図るためには、健康状態を正しく把握して、適切な指導・管理を行うことが必要です。このため、小・中学校では定期的に健康診断を実施しています。

学校保健統計調査（令和6年度定期健康診断疾病異常集計表）

項 目		区 分	小 学 校							中 学 校			
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計
在籍者数		男	900	892	920	950	896	870	5,428	499	558	546	1,603
		女	716	796	756	863	833	767	4,731	420	414	428	1,262
受診者数		男	896	880	914	939	873	850	5,352	490	534	512	1,536
		女	712	784	747	853	824	755	4,675	404	391	407	1,202
栄養状態	① 栄養不良	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	② 肥満傾向	男	0	0	6	9	7	15	37	1	0	0	1
		女	0	0	0	1	4	4	9	0	0	0	0
脊柱胸郭 四肢	疾病・異常者数	男	12	13	24	10	11	18	88	1	9	10	20
		女	7	12	13	8	22	23	85	5	1	1	11
	① 脊柱側わん症・ 脊柱異常	男	11	12	21	6	6	12	68	1	5	4	10
		女	6	11	12	5	18	20	72	3	1	6	10
	② 胸郭異常	男	0	0	1	0	2	3	6	1	5	2	8
		女	0	0	0	1	1	3	5	0	0	1	1
	③ 四肢異常	男	1	1	2	4	3	3	14	0	1	4	5
		女	1	1	1	2	3	0	8	2	0	4	6
視 力	①裸眼視力測定者 (②～⑤の合計)	男	887	869	891	897	828	761	5,133	417	417	377	1,211
		女	697	770	718	790	752	677	4,404	307	279	253	839
	② 1.0 以上	男	644	584	522	511	424	354	3,039	205	166	145	516
		女	480	519	421	385	308	252	2,365	144	110	93	347
	③ 1.0 未満 0.7 以上	男	152	135	122	109	97	83	698	61	60	59	180
		女	118	112	94	116	98	78	616	54	43	46	143
	④ 0.7 未満 0.3 以上	男	66	98	137	136	155	158	750	92	110	99	301
		女	81	99	119	148	146	119	712	64	68	55	187
	⑤ 0.3 未満	男	25	52	110	141	152	166	646	59	81	74	214
		女	18	40	84	141	200	228	711	45	58	59	162
	⑥ 裸眼視力測定者のうち 眼鏡・コンタクトレンズ装用者	男	25	29	62	84	109	143	452	29	40	33	102
		女	26	31	48	103	165	190	563	22	36	36	94
	⑦ 眼鏡・コンタクトレンズ装用 のため矯正視力のみ測定者	男	9	14	22	47	53	94	239	75	117	143	335
		女	15	23	30	70	77	85	300	97	117	159	373

項 目			区 分		小 学 校							中 学 校			
					1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計
眼疾患	疾病・異常者数	男			106	115	111	117	101	128	678	30	30	33	93
		女			60	65	81	94	95	107	502	26	13	23	62
	① 感染性眼疾患	男			0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0
		女			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	② アレルギー性眼疾患	男			86	94	94	98	98	107	567	18	18	25	61
		女			50	48	66	80	78	97	419	16	9	16	41
	③ その他の眼疾患	男			27	27	18	23	18	25	138	13	12	8	33
		女			1	22	17	19	23	13	108	10	4	8	22
聴 力	難聴	男			12	6	3	—	1	—	22	4	—	2	6
		女			6	8	3	—	2	—	19	2	0	0	2
耳鼻咽喉疾患	① 耳疾患	男			152	120	120	106	112	93	703	61	62	44	167
		女			150	109	99	108	102	79	647	35	45	24	104
	② 鼻・副鼻腔疾患	男			229	222	208	248	225	207	1,339	87	77	78	242
		女			37	40	25	38	25	18	183	57	44	37	138
	ア アレルギー性鼻疾患	男			158	153	159	193	166	175	1,004	66	57	63	186
		女			68	91	104	147	111	137	658	47	37	29	113
	イ その他の鼻・副鼻腔疾患	男			73	71	53	57	59	32	345	21	21	15	57
		女			37	40	25	38	25	18	183	10	8	8	26
皮膚疾患	③ 口腔咽喉頭疾患	男			3	1	3	2	2	0	11	5	7	8	20
		女			0	3	4	3	1	1	12	4	3	4	11
	① 感染性皮膚疾患	男			3	2	0	0	0	0	5	0	0	0	0
		女			3	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0
	②アレルギー性皮膚疾患 (アトピー性皮膚炎)	男			39	34	45	35	31	38	222	13	10	9	32
		女			26	37	37	35	35	26	196	17	14	6	37
皮膚疾患	③アレルギー性皮膚疾患 (アトピー性皮膚炎以外)	男			2	2	1	1	2	4	12	1	1	0	2
		女			1	2	3	1	3	4	14	2	1	2	5
	④ その他の皮膚疾患	男			15	10	14	3	3	1	46	0	0	0	0
		女			13	8	7	12	0	2	42	0	0	0	0
結 核	① 結核患者	男			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		女			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	② 精密検査対象者	男			3	3	3	3	2	2	16	3	1	0	4
		女			9	2	2	3	5	3	24	1	0	0	1
心 臓	① 心臓疾患	男			17	6	6	2	3	1	35	5	1	4	10
		女			7	3	5	2	3	0	20	2	1	2	5
	② 心電図異常	男			20	—	—	—	—	—	20	11	—	—	11
		女			10	—	—	—	—	—	10	10	—	—	10
検 尿	① 尿蛋白検出	男			0	2	0	2	2	4	10	5	7	8	20
		女			4	0	2	3	0	6	15	2	2	2	6
	② 尿糖検出	男			0	0	2	0	1	0	3	0	1	1	2
		女			0	0	1	0	0	1	2	0	0	1	1
その他	① 気管支喘息	男			43	44	34	24	16	26	187	8	1	2	11
		女			21	27	16	13	15	11	103	4	2	2	8
	② 腎臓疾患	男			0	0	0	1	1	0	2	1	0	1	2
		女			1	0	1	0	1	0	3	0	1	0	1
	③ 言語障害	男			2	3	2	1	0	0	8	2	0	1	3
		女			1	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0
	④ その他の疾病・異常	男			5	3	4	1	3	2	18	1	0	3	4
		女			3	4	3	5	2	1	18	0	0	0	0

項 目				区 分	小 学 校							中 学 校			
					1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計
歯 科	① 歯科受診者数			男	888	876	903	935	865	833	5,300	492	537	506	1,401
				女	711	788	747	856	817	749	4,668	405	390	397	1,102
	② う歯・要観察歯	乳歯 又は 永久 歯	ア 処置 完了者	男	82	111	151	146	169	97	756	51	82	79	212
				女	43	92	101	145	119	92	592	63	77	62	202
			イ 未処置歯 のある者	男	57	70	96	98	90	56	467	41	52	42	135
				女	53	77	71	85	95	50	431	44	27	45	116
			ウ 要観察歯 のある者	男	52	51	53	82	60	55	353	58	44	60	162
				女	41	47	40	65	66	63	322	41	38	48	127
			エ 永久歯のう歯 経験者	男	17	37	48	63	92	86	343	73	116	93	282
				女	5	36	58	72	95	89	355	92	94	97	283
	③ 歯肉の 状態		ア 歯周 疾患	男	3	3	6	8	9	9	38	32	27	36	95
				女	0	1	0	3	8	5	17	9	11	7	27
			イ 歯周疾患 要観察者	男	25	56	60	91	82	99	413	84	49	88	221
				女	20	54	61	86	70	67	358	47	29	53	129
	④ 歯列・咬合の異常			男	22	35	30	34	42	22	185	12	22	8	42
				女	10	26	25	33	49	20	163	8	15	6	29
	⑤ 顎関節の異常			男	1	1	0	0	0	0	2	4	7	3	14
				女	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	5
	⑥ 歯垢の状態			男	6	14	19	17	20	17	93	33	32	39	104
				女	3	8	5	9	14	10	49	10	19	15	44
	⑦ その他の歯・口腔の疾 病・異常			男	40	37	44	45	44	39	249	3	7	2	12
				女	82	55	53	64	61	52	367	0	2	1	3
	う歯の 内容	⑧ 永 久 歯 の 内 容	ア 未処置歯数(D)	男	—	—	—	—	—	40	40	84	—	—	84
				女	—	—	—	—	—	44	44	72	—	—	72
			イ う歯による 喪失歯数(M)	男	—	—	—	—	—	0	0	3	—	—	3
				女	—	—	—	—	—	1	1	8	—	—	8
			ウ 処置歯数(F)	男	—	—	—	—	—	150	150	111	—	—	111
				女	—	—	—	—	—	183	183	93	—	—	93

(2) 児童・生徒の体位

児童・生徒の平均体位の比較

(令和6年7月)

学校	学年	性別	身長 (cm)			体重 (kg)		
			区	都	国	区	都	国
小 学 校	1年	男	117.2	117.3	116.7	21.3	21.7	21.4
		女	116.2	116.1	115.8	20.8	20.9	21.0
	2年	男	123.7	123.0	122.6	24.2	24.3	24.2
		女	122.3	122.4	121.8	23.6	24.0	23.7
	3年	男	129.2	129.0	128.5	27.1	27.9	27.6
		女	128.2	128.6	127.7	26.3	27.1	26.9
	4年	男	134.3	134.5	134.0	30.6	31.3	31.2
		女	134.4	134.6	134.1	29.8	30.6	30.5
	5年	男	140.2	140.6	139.7	35.0	35.6	35.2
		女	141.3	142.0	141.1	34.6	35.5	35.0
	6年	男	147.0	146.7	146.0	39.8	39.8	39.6
		女	148.1	148.3	147.8	39.3	40.1	40.1

学校	学年	性別	身長 (cm)			体重 (kg)		
			区	都	国	区	都	国
中学校	1年	男	155.0	154.6	154.0	45.6	45.6	45.3
		女	152.8	152.9	152.3	43.8	44.3	44.4
	2年	男	161.9	161.8	161.1	50.1	50.9	50.5
		女	156.0	155.5	155.0	47.2	47.0	47.5
	3年	男	166.6	166.5	166.1	55.5	55.0	55.0
		女	157.0	157.1	156.0	49.1	49.3	49.6

(3) 独立行政法人日本スポーツ振興センター

学校、幼稚園及びこども園の管理下で発生した災害（事故）について、「独立行政法人日本スポーツ振興センター」がその保護者に対して一定の基準に基づき医療費等の給付を行うことにより、学校教育の円滑な実施に資することを目的とする共済制度が設けられています。本区では、全児童・生徒並びに幼児が加入し、加入に要する共済掛金は全額公費負担しています。

学校管理下における災害発生件数及び支給額

	幼稚園・こども園	小学校	中学校	合計
加入者数	163	10,152	2,857	13,172
発生件数	2	309	95	406
支給額(円)	5,920	10,783,478	2,292,018	13,081,416

災害発生の状況

区分		幼稚園・こども園		小学校		中学校	
		件数	%	件数	%	件数	%
災害発生状況	各教科等	－	－	113	36.6	42	44.2
	特別教育活動	－	－	22	7.1	3	3.2
	学校行事	－	－	18	5.8	10	10.5
	課外指導	－	－	2	0.6	27	28.4
	休憩時間	－	－	138	44.7	13	13.7
	通学中	－	－	16	5.2	0	0.0
	保育中	2	100.0	－	－	－	－
	通園中等	0	0.0	－	－	－	－
計		2	100.0	309	100.0	95	100.0

けが等の種類

区分		幼稚園・こども園		小学校		中学校	
		件数	%	件数	%	件数	%
けがの種類	骨折	0	0.0	86	27.8	31	32.5
	捻挫	0	0.0	50	16.2	15	15.7
	脱臼	1	50.0	7	2.3	2	2.0
	挫傷・打撲	0	0.0	98	31.7	24	25.3
	靱帯損傷・断裂	0	0.0	17	5.5	11	11.6
	挫創	0	0.0	13	4.2	3	3.2
	切創・刺創	0	0.0	15	4.9	1	1.1
	裂創	0	0.0	3	1.0	0	0.0
	擦過傷	1	50.0	2	0.6	1	1.1
	歯牙破折	0	0.0	5	1.6	0	0.0
	その他	0	0.0	3	1.0	1	1.1
疾病の種類	食中毒	0	0.0	0	0.0	1	1.1
	その他	0	0.0	10	3.2	5	5.3
計		2	100.0	309	100.0	95	100.0

(4) 学校環境衛生検査

学校環境衛生の基準に基づき、各小・中学校、幼稚園及びこども園において、下記の環境衛生検査を行っています。結果に基づき指導し良好な状態を保つようにしています。

- ・各小・中学校、幼稚園及びこども園による日常検査
飲料水水質検査、水泳プールの水質検査等
- ・各小・中学校、幼稚園及びこども園薬剤師による定期検査
水泳プールの水質等検査（使用期間中 4 回程度）、室内の照度・粉塵・二酸化炭素等の検査（年 2 回夏・冬）、ダニ又はダニアレルゲン検査（年 1 回夏）
- ・専門業者による定期検査
水泳プール水総トリハロメタン検査（平成 14 年度から年 1 回）、水泳プールろ過装置処理水濁度検査（平成 15 年度から年 1 回）、ホルムアルデヒド及びトルエンの室内空気環境検査（年 1 回）、飲料水水質検査（年 1 回秋）

2 学校給食

学校給食は、教育活動の一環として、児童・生徒の基本的な生活習慣の形成や、社会性を身に付けさせ、豊かな人間関係の育成を図ることをねらいとして実施しています。

平成 17 年 6 月には「食」について改めて意識を高め、自然の恩恵や「食」に関わる人々の様々な活動への感謝の念や理解を深めつつ、「食」に関して信頼できる情報に基づく適切な判断を行う能力を身に付けることによって、心身の健康を増進する健全な食生活を実践するため食育基本法が制定されました。

学校給食における「食」に関する指導がますます重要になる中、「学校（園）における食育指針」（令和 2 年 3 月改定）を基に、これまでの食育の取組状況を改めて確認しながら、食に関する指導や学校給食の食事内容の充実を図っていきます。

(1) 食事内容

食事内容については、次のような点に配慮して献立作成を行いました。

- ア 1 人 1 回当たりの学校給食摂取基準は、「目黒区児童又は生徒 1 人 1 回当たりの学校給食摂取基準」に基づき行う。
- イ 学校給食摂取基準を満たし、多様な食品を組み合わせた献立にするため、「目黒区学校給食の標準食品構成」に基づき行う。
- ウ 主食の配分は 20 日間を 1 サイクルとし、米飯 15 回、パン 3 回、麺 2 回とする。
- エ 学校における給食指導の目標や指導方法を踏まえた献立作成を行う。
- オ 旬の食材を取り入れ、季節感のある献立作成を行う。
- カ 食文化に対する関心や理解を深めることができるよう、地場産物（都内産の農畜水産物など）を取り入れた献立、行事食、各地の郷土食等の献立を取り入れる。
- キ 手作りの味を大切にし、調理済食品や化学調味料を使用しない。
- ク 食材の安全を確保するため、不必要な食品添加物が添加された食品や鮮度、品質等の判別が困難な加工食品は使用しない。
- ケ 放射性物質への対応として、児童・生徒が安心して食べることができるよう、できる限り内部被ばくを軽減することを前提に食材を選定する。

学校給食摂取基準（児童・生徒 1 人 1 回当たり）

区 分	小 学 校			中学校
	低学年(6～7 歳)	中学年(8～9 歳)	高学年(10～11 歳)	
エネルギー(kcal)	530	650	780	830
たんぱく質(%)	学校給食摂取エネルギー全体の 13～20%			
脂 質(%)	学校給食摂取エネルギー全体の 25～30%			
ナトリウム(食塩相当量)(g)	1.6 未満	2 未満	2.4 未満	2.5 未満
カルシウム(mg)	330	350	380	450
鉄(mg)	2.3	2.9	3.5	4.4
ビタミンA(μgRAE)	180	200	220	300
ビタミンB1(mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2(mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC(mg)	20	25	30	35
食物繊維(g)	3.8 以上	4.7 以上	5.6 以上	6.6 以上
マグネシウム(mg)	40	50	70	120
亜鉛(mg)	2	2	2	3

※この摂取基準は、国が全国的な平均値を示したものを、区の基準として採用したものであるため、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態等に十分配慮し、弾力的に運用しました。

(2) 学校給食の指導

給食指導については、「学校（園）における食育指針」に基づき、「楽しい食生活を通じて、子どもたち一人ひとりの健康な心と体を培い、豊かな人間性を養い、食を支える自然や社会に感謝する気持ちを育てる」ことを目標に、次のような内容を実施しました。

ア 栄養のバランスのとれた食事を通して、正しい食習慣を身に付けさせるとともに、生涯の健康づくりを培う観点から、他の関連する教科との連携を図りながら、望ましい食習慣や食生活について指導を行う。

イ 特別給食

子どもたちが伝統的な食文化に親しみ、それを継承することの大切さを理解するように日本の行事にちなんだ行事食や友好都市も含めた各地の郷土料理、国際理解を深めるための世界の料理などを取り入れる。

※ 目黒区では、特別給食に係る経費を補助しています。

ウ 地場産物の活用

子どもたちが身近な地域の自然・食文化・産業等に関する理解を深め、食に関する感謝の気持ちを抱くことができるように、地場産物を使用した献立を取り入れる。

エ 持続可能な社会づくりの担い手をはぐくむ教育

食品ロスの視点も含め、子どもたちに残さず食べることの大切さを指導するとともに、食品廃棄物の発生抑制や破損食器の再生利用、給食の生ごみリサイクルなど、循環型社会に対して理解を深める指導を行う。

(3) 学校給食費

学校給食法では、学校給食に必要な施設・設備費や人件費等は学校設置者の負担とし、それ以外の経費は学校給食費として、保護者の負担としていますが、物価高騰の影響を受ける保護者の経済的負担を軽減するため令和 5 年 10 月分から令和 7 年 3 月分まで保護者負担をゼロとして公費負担しました。給食を提供する際の標準的な一食当たりの単価である「学校標準給食費」についても、食材の価格高騰が続いていること等を考慮し、令和 5 年度以降は毎年度、増額改定を行いました。

令和 6 年 10 月には、更なる物価高騰が続き米等食材費の価格が上昇していることを踏まえ、充実した給食を安定的に提供するために追加で公費補填しました。

給食の平均実施回数は、小学校で 196 回、中学校で 189 回でした。

学校標準給食費

区 分	小 学 校			中 学 校
	低学年	中学年	高学年	
令和 6 年度学校標準給食費	276 円	300 円	327 円	373 円
1 食当たりの追加公費補填額	13 円	15 円	17 円	20 円
1 食当たり給食食材費	289 円	315 円	344 円	393 円

(4) 学校給食の安全

腸管出血性大腸菌 O-157 やサルモネラ等の食中毒や事故を防止し、安全で衛生的な給食を実施するため、次のような対策を行いました。

- ア 調理手順や作業動線が複雑となる献立の組み合わせは避ける。
- イ 調理は加熱を原則とし、中心温度計を用い 75℃で 1 分間以上（カキ、アサリなどの二枚貝は 85～90℃で 90 秒間以上）の加熱を確認する。
- ウ 野菜については加熱処理を原則とする。トマトときゅうりは、洗浄、湯通し等を行い供食する。ただし、適切な温度管理のできる施設においては生食を可能とするが、流水で 3 回洗浄・消毒し、洗浄後は素手で取り扱わない。
- エ 果物については生食を可能とするが、流水で 3 回洗浄・消毒し、洗浄後は素手では取り扱わない。
- オ 和えものやサラダについては、適切な温度管理ができない場合は行わない。
- カ 食材の納入時には、品質、鮮度、品温、異物の混入等について確認を行う。
- キ 調理従事者に腸内細菌検査（腸管出血性大腸菌 O-157 を含む。）を年 24 回実施するとともに、「衛生管理チェックリストー日常点検票ー」により日々の衛生管理の確認を行う。
- ク 栄養教諭・栄養職員に、衛生管理に関する情報提供を行い、理解を深め、意識の向上を図る。

(5) 給食備品の整備

給食室の大型備品については、保守点検結果等に基づき、毎年、入替えを行っています。令和 6 年度は次の備品を整備しました。

備 品	小 学 校	中 学 校
回転釜	東根小学校、宮前小学校	第七中学校、第八中学校
スチームコンベクションオープン	五本木小学校、鷹番小学校	第七中学校、第八中学校
熱風消毒保管庫・殺菌庫	月光原小学校	第八中学校、第十一中学校
冷蔵庫等	中目黒小学校、大岡山小学校、 駒場小学校、宮前小学校	東山中学校
食器洗浄機	—	—
炊飯器	不動小学校、原町小学校、 東根小学校	第八中学校

※令和 7 年度に、第七中学校は目黒南中学校、第八中学校は目黒西中学校として開校

(6) 給食調理業務委託

学校給食調理業務の効率的運営を図るため、給食調理業務を委託しています。

委託内容は、調理業務とそれに付随する配缶、運搬、食器具の洗浄等の業務です。献立の作成及び食料の購入は各学校の栄養教諭・栄養職員が行います。

(7) 給食のリサイクル事業の取組

「目黒区環境基本計画」に基づき食品ロス削減に向けた取組を進めるため、給食で発生した調理残渣（野菜や果物の皮・鶏ガラ・卵の殻・骨等）や食べ残し等の生ごみをリサイクルにより飼料化し、循環型社会の促進を図りました。また、給食で発生する空き紙パックを回収し（こども園除く）、リサイクル処理施設において資源化を行いました。

3 健康教育の推進

児童・生徒一人ひとりの健康課題の改善、健康の保持増進、体力の向上を図るため、学校と教育委員会が連携して取組を進めています。

健康課題のある児童への対応として、学校健康トレーナーの区立小学校への派遣、参加を希望する児童を対象とした「めぐろ元気あっぷ教室」の開催、教室内でのトレーナー面談、小児肥満専門医・小児科医による面談や栄養士による栄養相談を実施しました。

また、幼稚園・こども園の年長クラス及び小・中学校の全児童・生徒への対応として、令和2年度から「めぐろ ここカラダシート」を配布しました。

(1) 学校健康トレーナーの全小学校への派遣

学校健康トレーナー（6人）を区立小学校へ定期的に派遣し、肥満や体力不足などの健康課題の改善に向けて運動支援や運動観察などの活動を行いました。また、教職員と連携して、相談・指導（運動プログラムや生活改善プログラムの提供等）を実施しました。

(2) 健康相談・栄養相談

学校健康トレーナーが、児童の健康上の課題等について相談に応じるとともに、食育推進指導員（管理栄養士）が年4回、児童・生徒の食生活に係る課題等について、相談に応じています。

また、小児肥満専門医や小児科医との健康相談も年2回ずつ実施しました。

保護者との面談件数

面談	トレーナー	小児肥満専門医 小児科医	栄養士	計
件数	940	13	8	961

(3) めぐろ元気あっぷ教室・夏休み前特別講座・夏季水中運動教室及びワクワク特別講座の開催

めぐろ学校サポートセンター、八雲小学校、碑小学校、中目黒小学校及び五本木小学校体育館において、小学生を対象に楽しみながら運動し肥満解消や体力づくりを行う「めぐろ元気あっぷ教室」を前期・後期で延べ132回実施しました。また、夏季休業前に肥満・肥満傾向児童と保護者を対象に、健康講座をめぐろ学校サポートセンター研修室にて実施しました。夏季休業期間には、五本木小学校プールで「夏季水中運動教室」を延べ4日間実施しました。令和4年度から実施している親子参加型の「ワクワク特別講座」では全コースの参加児童を対象に中央体育館で12月14日（土）に実施しました。

めぐろ元気あっぷ教室の実施状況（延べ人数）

会場・コース			参加者
前期	めぐろ学校サポートセンター 中目黒小学校 五本木小学校	水曜 A	110 人
		水曜 B	126 人
		土曜午前 A	46 人
		土曜午前 B	91 人
		土曜午後 C	80 人
		土曜午後 D	80 人
	八雲小学校	水曜 A	95 人
		水曜 B	162 人
	碑小学校	土曜午前 A	96 人
		土曜午前 B	127 人
		土曜午前 C	57 人

会場・コース			参加者
夏季水中 運動教室	五本木小学校プール	4 日間 (7/31、8/1.3.4) 午前	118 人
ワクワク 特別講座	中央体育館	12 月 16 日 午後	159 人 (親子合わせて)
後期	中目黒小学校 五本木小学校 上目黒小学校	水曜 A	100 人
		水曜 B	126 人
		土曜午前 A	69 人
		土曜午前 B	64 人
		土曜午後 C	79 人
		土曜午後 D	85 人
	八雲小学校	水曜 A	148 人
		水曜 B	143 人
	碑小学校	土曜午前 A	160 人
		土曜午前 B	121 人
		土曜午前 C	62 人

Ⅲ 校舎等の環境整備

児童・生徒が充実した学校生活を送り、教職員が効果的な教育活動を行うことのできる環境づくりを目指して、学校施設の整備を図っています。

また、児童・生徒の安全・安心を確保するため、各種点検や修繕を行っています。

区立小・中学校校舎保有面積構造別比較

(令和7年3月31日現在)

区分	鉄筋コンクリート造	鉄骨・ブロック	木造	計
小学校	109,945 m ² (98.42%)	1,641 m ² (1.47%)	128 m ² (0.11%)	111,714 m ²
中学校	49,043 m ² (98.34%)	795 m ² (1.59%)	33 m ² (0.07%)	49,871 m ²

※体育館の面積は含まない。

1 実施事業の内容

(1) 学校施設の計画的な更新

学校施設更新計画に基づき、学校施設の計画的な更新を進めています。令和6年度は、向原小学校の仮設校舎が7月末に完成し、児童を受け入れる態勢を整備したうえで、8月から授業を開始しました。また、既存校舎解体工事の住民説明会を7月に開催し、9月から解体工事を開始しました。その後、11月に実施設計を策定し、同月に保護者や地域等へ住民説明会を2回開催しました。鷹番小学校については、4月に基本構想・基本設計の委託事業者を公募型プロポーザル方式により決定しました。また、新校舎の検討に係る地域懇談会を7回にわたり開催し、建て替えに関する意見交換等を行いました。その後、令和7年2月に基本構想素案をとりまとめ、同月に住民説明会を2回開催しました。統合新校である目黒南中学校及び目黒西中学校の新校舎については、令和6年2月に策定した、基本構想に沿って、学校運営についての検討を深めるとともに、関係法令や技術的な視点を踏まえ、8月に基本設計を策定しました。

(2) 学校施設の管理・整備

小・中学校における教育活動の状況などを考慮するとともに、各種点検の結果等を踏まえ、校舎等の改修や施設の維持管理をしています。

令和6年度の主な取組実績

取組内容 (校数)	対象校		
体育館・校庭トイレの洋式化 (8校)	碑小学校 原町小学校 宮前小学校	油面小学校 不動小学校 第一中学校	五本木小学校 東根小学校
学級数増加に伴う教室整備工事 (3校)	不動小学校、東山小学校、鷹番小学校 (特別支援学級)		
老朽化した遊具の更新 (8校)	中目黒小学校 不動小学校 中根小学校	鷹番小学校 上目黒小学校 宮前小学校	駒場小学校 東根小学校

(3) 学校ICT環境整備

区立小・中学校のICT環境には、教室等での学習指導で使用する教育システム、校務全般で使用する校務システム、児童・生徒1人1台の学習用情報端末 (GIGAシステム) があり、計画的に整備及び維持管理を行っています。

令和6年度は、区立小学校8校、中学校2校の教育システムの機器更新及び校内ネットワーク再構

築（高速大容量化）や、校務システムの更新（全校）を行うとともに、令和 7 年度に実施する GIGA システム更新について、小・中学校長を構成員に含めた選定委員会を設置し、プロポーザル方式による事業者選定を行いました。

令和 6 年度末の I C T 環境は、教育システム端末 1,067 台、学習用情報端末 14,770 台、大型提示装置（プロジェクター又は電子黒板）968 台、実物投影機 186 台、校務システム端末 1,300 台です。

(4) 園舎等施設の管理

幼児教育の充実を図るために、各種点検や園舎等の修繕を行い、施設を維持管理しています。

(5) 校外施設の管理

八ヶ岳林間学園、興津自然学園の施設管理を行っています。

(6) 教職員住宅の管理

清水池の教職員住宅の施設管理を行っています（事業開始：昭和 49 年 4 月）。

なお、同住宅については築 50 年を経過しており、老朽化に伴い住居としての使用に支障の出る頻度が高くなったことから、廃止予定としています。

2 各事業の決算額

単位：千円

事業名		幼稚園・ こども園	小学校	中学校	校外 施設	教職員 住宅	計
学校施設の計画的な更新	学校施設の計画的な更新		671,093	1,264,484			1,935,577
学校施設の管理	学校施設の運営管理		517,499	230,337			747,836
	学校施設の維持補修		44,842	13,135			57,977
	学校施設の改修		176,247	42,301			218,548
学校施設の整備	トイレの環境改善		55,213	8,934			64,147
学校 ICT 環境整備事業	教育用コンピューターの管理		871,879	352,764			1,224,643
	校務用コンピューターの管理		609,974	245,845			855,819
園舎等施設の管理	園舎等の維持管理	5,046					5,046
校外施設の管理	八ヶ岳林間学園				37,165		37,165
	興津自然学園				58,857		58,857
教職員住宅の管理	教職員住宅の管理					1,532	1,532
合計		5,046	2,275,654	893,316	96,022	1,532	3,271,570

IV 教育指導の充実

1 人権教育

あらゆる教育の機会を通して、自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、相互理解や連帯感を培い、偏見や差別をなくすために、人権教育を推進しています。

平成 10 年度から人権教育の推進に関わる諸問題を検討し、総合的な施策の推進を図るため、人権教育推進委員会を常設しています。委員会では、人権教育推進委員会だよりや「目黒区人権教育の推進」の発行、また目黒区子ども条例の趣旨を踏まえて作成した「目黒区人権感覚チェックシート」を活用し、教職員の人権感覚の向上を図るための取組を行っています。令和 6 年度は、令和 5 年度に引き続き e ラーニングによる教職員悉皆研修を企画・実施しました。また、人権教育推進委員会だよりでは令和 6 年度は目黒区人権教育推進校・園である中目黒小学校、五本木小学校、碑小学校、ひがしやま幼稚園の取組等を取り上げました。

各学校では、人権教育の全体計画及び年間指導計画に基づき、子どもたちの発達段階に応じた組織的な人権教育に取り組んでいます。令和元年度から目黒区人権教育推進校を設置し、人権尊重の理念を広く社会に定着させ、あらゆる偏見や差別の解消を目指すとともに、目黒区における人権教育の質的向上を一層図っています。

2 道徳教育

子どもたちの豊かな心をはぐくみ、道徳性を育成するため、学校教育全体を通して道徳教育を推進するとともに、道徳教育の要の時間としての「特別の教科 道徳」の充実を図っています。また、小学校は平成 30 年度から、中学校は令和元年度から「特別の教科 道徳」が完全実施となりました。道徳教育を充実させるため、目黒区では、全小・中学校で道徳授業地区公開講座を実施し、保護者・地域の方々とともに子どもの豊かな心をはぐくむためのそれぞれの役割等、意見交換を行っています。さらに、「特別の教科 道徳」の充実を図るため、全小・中学校で年間指導計画を作成するとともに、各校に道徳教育推進教師を置き道徳教育の推進を図っています。

3 国際理解教育

グローバル化に伴い、経済・文化・人的交流等のあらゆる面で国を超えて相互連結性が高まる中、区民一人ひとりが積極的に交流し、学び合うことにより国際的視野を広め、異なる文化・社会・価値観等に対する理解を深め、互いに尊重し合う関係を構築していくことがますます重要になっています。その課題を達成するために次の事業を実施しました。

(1) 外国語指導員（A L T）派遣（昭和 62 年度事業開始）

外国語指導員の中学校派遣を昭和 62 年 10 月から実施しています。

中学校では、英語科の授業を中心に外国語指導員を教員の助手として派遣し、英語教育の充実を図りました。令和 6 年度は年間を通して派遣し、1 学級当たり平均 82.3 時間の授業を行いました。

小学校では、国際理解教育の一環として外国語指導員の派遣を平成 10 年 4 月から実施しています。令和 6 年度は中学校と同様、年間を通して派遣し、1～2 年生で 1 学級当たり平均 13.3 時間、3～4 年生で平均 31.5 時間、5～6 年生で平均 53.0 時間の授業をそれぞれ行いました。

また、令和 6 年度は、希望する小・中学校においては、オンライン A L T を活用したブレンディッドラーニングを実施しました。

※A L T（Assistant Language Teacher の略）

(2) イングリッシュ・キャンプの実施（平成 26 年度事業開始）

区立中学校における魅力ある教育活動を推進するため、平成 27 年度から令和 5 年度まで大鳥中学校において実施してきたイングリッシュ・キャンプをもとに、令和 6 年度は全区立中学校を対象として

参加希望者を募り、「めぐろイングリッシュ・キャンプ」を開催しました。

○めぐろイングリッシュ・キャンプ（全区立中学校合同）

【実施日】令和 6 年 7 月 29 日(月)から 31 日(水)

【場 所】目黒区立八ヶ岳林間学園

【参加者】目黒区立中学校第 2 学年参加希望生徒 94 名

(3) 日帰り体験型英語学習の実施（平成 30 年度事業開始）

江東区青海にある TOKYO GLOBAL GATEWAY を利用して、普段の学習環境である教室とは異なる非日常の空間で、様々な体験型の学習をオールイングリッシュで行うことにより、英語によるコミュニケーション能力、英語・異文化理解に対する興味・関心の向上を図ることを目的としています。令和 2 年度から令和 4 年度までは区立小学校第 6 学年全児童を対象としており、令和 5 年度は実施学年を第 4～6 学年から 1 学年を選択できるようにしていましたが、令和 6 年度は対象を区立中学校第 1 学年全生徒に変更して実施しました。

【実施日】中学校：令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月にかけて、各校で調整し実施

【場 所】TOKYO GLOBAL GATEWAY

【参加者】中学校第 1 学年

(4) 北京市東城区（旧崇文区）との書画賀状交換

目黒区と北京市崇文区（現東城区）とは、平成 3 年 10 月 26 日に友好関係促進のための協定書に調印、平成 4 年 5 月 7 日には各分野における交流を一層充実させていく努力をすることを確認し、友好協力事業の覚書を取り交わしました。

この一つとして、平成 4 年度から相互に児童・生徒の書画等の作品交換を行うことになり、平成 4 年度にはそれぞれの区で作品展を開催しました。その後は、隔年で相互に展示を行っています。令和 6 年度は、70 点の書画を東城区に送付し、展示を行いました。

このほか、令和 6 年度は区立小学校 265 名の児童と東城区の小学校の児童との間での賀状の交換を行いました。

(5) ソウル特別市中浪区との賀状交換

目黒区とソウル特別市中浪区とは、平成 25 年度に友好増進及び交流協力に関する覚書を交わしました。令和 6 年度は目黒区立小学校と中浪区の小学校児童との間で 290 点程度の賀状の交換を行いました。

(6) ジョージア州チェロキー郡との絵画作品交流

ボランティア活動をしている米国ジョージア州チェロキー郡教育委員会の関係者が平成 2 年 8 月に目黒区を訪問したことをきっかけに、チェロキー郡教育委員会の提案に応じるかたちでチェロキー郡との絵画作品の交流を、平成 3 年度から実施しています。毎年 30 点程度の小中学生の絵画作品を交換展示しており、目黒区での展示については、連合展覧会の場で行っています。

(7) 日本語教室

目黒区立学校に在籍する児童・生徒のうち、外国籍・帰国等の理由により日本語の理解が十分でない児童・生徒で、東根小学校等に常設する日本語国際学級等での指導を受けることができない児童・生徒を対象に、基礎的な日本語の習得と学校生活等への適応を図ることをねらいとして、平成 6 年度から、日本語教室を開設しています。

令和 6 年度は、中国、フィリピン、インド、台湾、ベトナム等、19 の国・地域、53 名の児童・生徒が在籍・通級しました。

なお、平成 20 年度から日本語指導に関して、早稲田大学大学院日本語教育研究科と協定を締結し、同大学院の支援のもと日本語教室での指導内容についても一層の充実を図っているところです。

4 情報教育

各学校において児童・生徒 1 人 1 台の学習用情報端末を活用し、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を行うことで、「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現を図り、基礎的・基本的な知識・技能や言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力の育成を目指しています。

また、情報教育の推進に必要な教員の更なる資質向上を図るため、教育指導課主催研修として、e ラーニング全教職員悉皆チェック研修を実施しています。

また、各学校における I C T 活用促進を後押しするため、4 名の I C T 支援員（平成 12 年度から配置）が各学校を巡回し、情報モラルや I C T を活用した授業に関する支援などを行っています。

5 特別支援教育

教育上特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒が、社会の一員として自立し、充実した生活を送ることができるよう、一人ひとりの状況に応じた教育を行うために、知的障害、肢体不自由、自閉症・情緒障害、難聴・言語障害の特別支援学級を設置しているほか、全小・中学校に特別支援教室を設置しています（P29、30 参照）。

特別支援学級関連の事業概要

事業名		内 容	実施日等
研 修 等	特別支援学級等設置校長会	特別支援学級・教室運営、諸事業等についての協議等	研修等
	特別支援学級・特別支援教室拠点校主任会	各事業の企画・立案・運営等についての協議・研修会等	年 4 回
	特別支援教育コーディネーター連絡会	特別支援教育コーディネーターの研修・情報交換・協議 特別支援学級及び特別支援学校（地域交流事業）との連携等	年 4 回
	特別支援教育等研修	特別支援教育の視点を取り入れた授業、特別支援教育支援員との連携、保護者に寄り添った支援等	年 15 講座実施

事業名		内 容	実施日等
連 合 行 事	連合展覧会	特別支援学級の児童・生徒の作品を出展（目黒区美術館）	令和 7 年 1 月 18 日 ～2 月 2 日
	特別支援学級連合運動会	区立知的障害・肢体不自由特別支援学級が、互いに連携し、授業等で身に付けた成果を発表し、相互の理解と交流を深める。	令和 6 年 10 月 18 日
	自然宿泊体験教室	小学校 知的障害特別支援学級 4 校合同で、八ヶ岳林間学園で実施	令和 6 年 9 月 11 日 ～9 月 13 日
そ の 他	校外学習・宿泊訓練	遠足、社会科見学や宿泊訓練で、集団生活でのマナー等を学ぶ。	学校ごとに実施
	地域交流事業	特別支援学校との交流（副籍交流）	学校ごとに実施

6 生活指導

小・中学校の密接な連携を図り、一貫した指導を進めるとともに、家庭、地域の協力を得て指導の万全を図るため、小・中合同生活指導主任会を年 5 回開催しています。教育指導課からの依頼や情報提供、関係諸機関の方々からの話を受け協議をしています。また、校種別や各中学校区別の分科会にて情報交換を行い、各学校の取組の共有を図っています。

7 安全指導

安全指導については、幼稚園・各こども園及び各小・中学校において年間計画に基づき、計画的に実施しました。

交通安全教室は、各学校の実情に応じ所轄警察署・関係者の協力の下に実施されています。また中学校では平成 27 年から毎年 3 校ずつ、スタントマンが交通事故の再現を実演するスケアードストレート方式による自転車安全教室を行っています。

学校防災については、目黒区地域防災計画に基づき、教職員全員がとるべき行動とその手順についてまとめた学校・園防災マニュアルを策定しています。

さらに、各学校・園ではこの学校・園防災マニュアルを基に、子どもの数や地域の特性等に配慮した、各学校・園独自の防災マニュアルを作成しています。この独自防災マニュアルは、毎年度見直しを行うように努めています。

また、令和 6 年度は防災検定を五本木小学校（第 6 学年）、目黒中央中学校（第 2 学年）で実施しました。

防犯教育プログラムは、平成 19 年度から実施し、全小学校の第 1 学年を対象に連れ去り防止等を目的に、対応方法などを体験することにより、自分自身を守る力を身に付けさせています。また、犯罪被害防止や非行防止を目的に、全小・中学校で警察など関係諸機関の協力を得て、セーフティ教室を毎年実施しています。

8 進路指導

(1) 区立中学校卒業生進路状況（令和 7 年 3 月卒業）

（令和 7 年 3 月 31 日現在）

	卒業者数	進路先 決定者数	進路先 未決定者数	進路先決定者内訳								
				進学者					専修学校 各種学校 等	就職	家事 従事	その他 (海外 転出等)
				高等学校			定時制 通信制	特別支 援学校				
				全日制								
				公立	国立	私立						
男	548	546	2	190	12	273	51	10	3	0	1	6
女	429	429	0	169	2	206	45	1	6	0	0	0
計	977	975	2	359	14	479	96	11	9	0	1	6
構成比	100.0	99.8	0.2	36.7	1.4	49.0	9.8	1.1	0.9	0	0.1	0.6

※単位は「人」、ただし、構成比は「％」。

※四捨五入の処理により、構成比は 100％とならない場合があります。

(2) 最近 3 年間の推移

該当者数割合		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
全日制	国公立学校	39.8 %	42.5 %	41.9 %
	私立学校	49.2 %	47.0 %	47.6 %
定時制		8.0 %	7.8 %	8.5 %
特別支援学級		1.0 %	0.9 %	0.9 %
専修学校各種学校等		0.7 %	0.9 %	0.4 %
就職・未決定者等		1.3 %	0.8 %	0.6 %

9 学習指導員等の配置

東京都の加配教員による指導とは別に、教職免許等を所持する区独自の学習指導員や学習指導講師等を配置することにより、ティーム・ティーチングや少人数授業の実施等を行い、学力の基礎・基本の確実な定着を図ってきました。

(1) 学習指導講師（平成 16 年度から配置）

区が独自に任用する非常勤職員（講師）です。各小学校と中学校に年間 222 日勤務します（令和 6 年度より年間 129 日、1 日 4 時間の短期間の職も設置）。

平成 22 年度全小学校配置。平成 26 年度から目黒中央中学校特別支援学級にしいの木学級学習指導講師、平成 28 年度から東山小学校に学習指導講師（特別指導）を配置しました。

(2) 学習指導員

ティーム・ティーチング等により授業の支援に当たりました。

通常授業支援（平成 14 年度から配置） 令和 6 年度実績：小学校延べ 8,714 時間
：中学校延べ 4,705 時間

放課後学習支援（平成 22 年度から配置） 令和 6 年度実績：中学校延べ 1,122 時間

土曜日補習教室（平成 23 年度から配置） 令和 6 年度実績：中学校延べ 172 時間

(3) 小 1 学級支援員（平成 19 年度から配置）

小学校入学直後の児童が学校生活に早期に対応できるよう生活面・学習面での支援に当たりました。
令和 6 年度実績：延べ 8,712 時間

(4) 観察実験支援員（平成 27 年度から配置）

理科の観察・実験の準備や片付け等の支援に当たりました。

令和 6 年度実績：小学校延べ 3,187 時間
中学校延べ 500 時間

(5) 外部人材活用事業

一芸に秀でた人や専門分野を研究している人に授業の講師や指導者として協力いただきました。

令和 6 年度実績：小学校延べ 17 校、中学校延べ 7 校、幼稚園・こども園延べ 3 園

10 主任会等における研修

教育者としての識見を高め、資質の向上を図るため、次のとおり、各主任会等において教員を対象として各種研修会を実施しました。

名 称	開催日	内 容	講 師 等
教務主任 研修会	4 月 23 日	教育課程の適正な管理について 指導要録の管理について 各種届について	区指導主事
	6 月 18 日	目黒区学力調査の結果活用及び授業改善について 教育の情報化について	
	9 月 17 日	学校・園評価の実施について 妥当性・信頼性のある評価・評定について	
	1 月 28 日	教育課程の編成について 教育課題への対応について	

名 称	開催日	内 容	講 師 等
生活指導主任 研修会	4 月 16 日	いじめ・不登校への対応について 学校安全の充実について 関係機関との連携について	目黒警察署 碑文谷警察署 子ども家庭支援センター 世田谷少年センター 区指導主事
	7 月 2 日	i-check アンケートの分析と活用について 夏休みの生活指導について 安全教育の充実について 自殺予防に係る取組について	日本大学教授 区指導主事
	10 月 8 日	いじめ問題への組織的な対応について	区指導主事
	12 月 3 日	冬休み中の生活指導について 生命等にかかわる重大事態発生時の対応訓練について 安全点検の徹底について	区指導主事
	3 月 4 日	生活指導に係る教育課題への対応について 学年末・学年始めの生活指導について	区指導主事
普通救命 講習会	5 月 20・22～ 24・27・29～31 日、 6 月 3～7・10 日	応急処置の重要性、人工呼吸・胸骨圧迫・AED 取扱い・異物除去・止血等	東京防災救急協会 指導員
上級救命 講習会	5 月 30 日	心肺蘇生法、止血法、その他応急手当等	東京防災救命協会 指導員

1 1 教育開発校

様々な教育課題や学校・園が直面している課題の解決を図るため、幼稚園・こども園、小・中学校を教育開発校に指定し、授業改善や教育活動の開発に関する研究を支援しています。指定を受けた学校では、教育開発校として継続的に研究に取り組みました。また、区のほかに文部科学省からの指定を受け研究開発学校として研究を進めた学校もありました。

さらに、区の指定を受けなかった学校・園も、校内研究支援として区教育委員会の支援を受けながら、それぞれが設定した研究主題に基づき研究に取り組みました。

(事業開始 平成13年度)

目黒区教育委員会 教育開発指定校

学 校 名	研 究 主 題	研究教科等	研究の内容	予 算	指 定 期 間
東山小	一人ひとりの興味・関心に 応じた学びの充実のための 弾力的な教育課程 ～教科等における「自己調整 学習」の実践～	各教科等	児童が自らの学習の状況を把握し、 学習を調整することができる自己調整能力の育成を図るため、 単元指導計画や指導方略の研究を推進する。 教育課程、校内組織、人材の育成等、総合的な研究開発を行う。	300,000 円	3年間 (1年目)

1 2 教科用図書

(1) 目黒区立小学校採択教科書一覧

小 学 校	種 目	発行者
	国 語	光 村 図 書
	国 語(書写)	光 村 図 書
	社 会	教 育 出 版
	社 会(地図)	帝 国 書 院
	算 数	学 校 図 書
	理 科	大 日 本 図 書
	生 活	東 京 書 籍
	音 楽	教 育 芸 術 社
	図画工作	日 本 文 教 出 版
	家 庭	開 隆 堂
	体 育(保健)	G a k k e n
	英 語	東 京 書 籍
	道 徳	光 村 図 書

(令和6～9年度使用)

※小・中学校特別支援学級の教科用図書は多数のため省略

(2) 目黒区立中学校採択教科書一覧

中 学 校	種 目	発行者
	国 語	光 村 図 書
	国 語(書写)	光 村 図 書
	社 会(地理的分野)	帝 国 書 院
	社 会(歴史的分野)	東 京 書 籍
	社 会(公民的分野)	帝 国 書 院
	社 会(地図)	帝 国 書 院
	数 学	啓 林 館
	理 科	東 京 書 籍
	音 楽(一般)	教 育 芸 術 社
	音 楽(器楽合奏)	教 育 芸 術 社
	美 術	開 隆 堂
	保 健 体 育	大 修 館
	技術・家庭(技術分野)	東 京 書 籍
	技術・家庭(家庭分野)	東 京 書 籍
	外 国 語(英語)	教 育 出 版
	道 徳	東 京 書 籍

(令和7～10年度使用)

1 3 自然宿泊体験教室等

教育課程の一環として、学校内における平素の指導では十分な効果をあげることができない内容について学習するため、小・中学校において自然宿泊体験教室を実施しています。従来の移動教室については平成 22 年度で事業が終了となり、平成 23 年度から自然宿泊体験教室へ完全移行しました。

(1) 自然宿泊体験教室

実施期間・経費等

	小学校
	興津自然学園
期 間	5 月 8 日（水）～11 月 8 日（金）
日 数	1 泊 2 日～2 泊 3 日
学校数	19 校 ※5 年生 2 校、6 年生 17 校
対 象	5～6 年生
参加（児童）人数	1,476 人
交通機関	全行程バス借上げ（全額公費負担）
指導員	引率指導員を各校に学級数配置（全額公費負担）
介助員	必要に応じて配置（全額公費負担）
現地インストラクター	学級数と同数を配置（全額公費負担）
参加者負担額	学園利用：3,050 円/1 泊（上限）

	小学校
	八ヶ岳林間学園・車山高原民間施設
期 間	5 月 22 日（水）～10 月 18 日（金）
日 数	2 泊 3 日
学校数	22 校 ※5 年生 19 校、6 年生 3 校
対 象	5～6 年生
参加（児童）人数	1,713 人
交通機関	全行程バス借上げ（全額公費負担）
指導員	引率指導員を各校に学級数配置（全額公費負担）
介助員	必要に応じて配置（全額公費負担）
現地インストラクター	学級数と同数を配置（全額公費負担）
参加者負担額	学園利用：6,100 円（上限） 民間施設利用：15,300 円（上限）

	中学校
	車山高原民間施設
期 間	6 月 24 日（月）～2 月 14 日（金）
日 数	2 泊 3 日
学校数	8 校
対 象	1 年生(特別支援学級は 1・2 年生)
参加（生徒）人数	764 人
交通機関	全行程バス借上げ（全額公費負担）
指導員	引率指導員を各校に学級数+2 人配置（全額公費負担）
介助員	必要に応じて配置（全額公費負担）
参加者負担額	民間施設利用：24,500 円（上限）

	小学校
	宮城県気仙沼大島
期 間	7 月 2 日（火）～7 月 5 日（金）
日 数	3 泊 4 日
学校数	1 校
対 象	5 年生
参加（児童）人数	63 人
交通機関	電車、バス(借上げ)（全額公費負担）
指導員	引率指導員を各校に学級数配置（全額公費負担）
介助員	必要に応じて配置（全額公費負担）
参加者負担額	24,900 円（上限）

	中学校
	宮城県気仙沼
期 間	6 月 18 日（火）～6 月 20 日（木）
日 数	2 泊 3 日
学校数	1 校
対 象	1 年生
参加（生徒）人数	125 人
交通機関	電車、バス(借上げ)（全額公費負担）
指導員	引率指導員を各校に学級数+2 人配置（全額公費負担）
介助員	必要に応じて配置（全額公費負担）
参加者負担額	21,000 円(上限)

	小学校
	石川県金沢市
期 間	9 月 11 日（水）～9 月 20 日（金）
日 数	2 泊 3 日
学校数	2 校
対 象	6 年生
参加（児童）人数	95 人
交通機関	電車、バス（借上げ）（全額公費負担）
指導員	引率指導員を各校に学級数配置（全額公費負担）
介助員	必要に応じて配置（全額公費負担）
参加者負担額	6,840 円（上限）

(2) 中学校独自宿泊事業支援

夏季・冬季休業などの期間を利用して、特色ある教育活動の促進を図るため、学校独自の宿泊事業を支援しました。

	第十一中学校
	民間施設（新潟県南魚沼市）
期間	12月25日（水）～12月27日（金）
日数	2泊3日
参加（生徒）人数	76人（1,2年生希望者）
参加者負担額	53,512円
活動内容	個人のレベル（初心者、初級者、中級者、上級者）にあわせた、 現地スキー指導員によるスキー教室
公費負担	①交通費（バス代）の一部 ②体験学習費の一部 ③宿泊費の一部

(3) 中学校部活動合宿支援

中学校の魅力づくりを推進し、学校生活の一つの魅力でもある部活動を充実させるため、中学校が教育活動の一環として実施する部活動合宿の費用の一部を支援しました。

	第七中学校	第十一中学校
	八ヶ岳林間学園	八ヶ岳林間学園
期間	8 月 5 日（月）～8 月 7 日（水）	8 月 1 日（木）～8 月 3 日（土）
日数	2 泊 3 日	2 泊 3 日
参加（生徒）人数	83 人	44 人
参加者負担額	12,509 円	23,605 円
参加部数	6 部	4 部
参加部活動	バレーボール部、バスケットボール部、陸上部、ハンドメイド部、卓球部、美術部	陸上部、バレーボール部、バスケットボール部、硬式テニス部
公費負担	交通費、練習施設利用料等の一部	交通費、練習施設利用料等の一部

1 4 連合行事

学校における平素の指導の一層の充実を図り、日頃の成果の発表や他校との交流の場とするため、連合して各種行事を実施しています。

行事名	実施日・会場	対 象	内容等
連合音楽鑑賞教室 (中学校)	令和6年4月25日(木) めぐろパーシモンホール	中学校3年生	東京室内管弦楽団の演奏の鑑賞
連合体育大会 (中学校)	令和6年9月26日(木) 駒沢オリンピック記念公園総合運動場陸上競技場	全員	陸上競技8種目の実施
連合音楽会 (小・中学校)	(小学校) 令和6年11月28日(木)・ 29日(金) (中学校) 令和6年10月31日(木) めぐろパーシモンホール	小学校 5年生 中学校 2年生	(小学校) 合唱及び合奏 (中学校) 合唱
連合展覧会 (幼稚園・こども園、 小・中学校、特別支援 学級)	令和7年1月18日(土) ～2月2日(日) 目黒区美術館	全員 (副籍児童・生徒含む。)	日常の図画工作 及び美術等の学 習における作品 の展示
連合運動会 (特別支援学級)	令和6年10月18日(金) 目黒区中央体育館	全員 (小・中学校)	日常の体育・健康 の成果を各種演 技及び競技で発 表

15 いじめ問題対策

いじめの防止等を推進するため、目黒区いじめ防止対策推進条例第12条、第13条の規定に基づき、第三者を含めた組織を設置しました。

(1) いじめ問題対策連絡協議会

いじめの防止等に関する機関の連携を図るために区が設置する機関です。いじめの状況の報告や情報交換等を2回行いました。

目黒区いじめ問題対策連絡協議会委員

(令和7年3月31日現在)

区 分	氏 名	推薦母体等	区 分	氏 名	推薦母体等
区職員 (2名)	◆榎本 達司	教育次長	関係機関 (3名)	安藤 啓一	目黒区青少年委員会
	◇田中 健二	子育て支援部長		齋藤 由美子	目黒区主任児童委員
学校 (3名)	塚本 哲	区立小学校長会		登坂 真人	目黒地区人権擁護委員会
	中川 博英	区立中学校長会		藤元 孝平	目黒警察署 生活安全課長
	田村 嘉浩	東京都私立中・高等学校協会		村上 綾	碑文谷警察署 生活安全課長
関係団体 (5名)	黒田 英二	区立小学校PTA連合会		富岡 和雄	品川児童相談所長
	堀内 一成	区立中学校PTA連合会	◆会長 ◇副会長		

※任期は、令和5年7月18日から令和7年7月17日まで。

(2) いじめ問題対策委員会

いじめの防止等の対策を実効的に行うために教育委員会が設置する機関です。重大事態発生時の対応訓練や具体的ないじめ事案についての協議を3回行いました。

目黒区教育委員会いじめ問題対策委員会委員

(令和7年3月31日現在)

区 分	氏 名	役職等
学識経験者	◆米津 光治	文教大学教育学部教授
法律に関して専門的知識を有する者	鹿野 真美	弁護士
心理に関して専門的知識を有する者	山崎 洋史	仙台白百合女子大学心理福祉学科教授
福祉等に関して専門的知識を有する者	◇片倉 昭子	社会福祉法人子どもの虐待防止センター理事
	加藤 佳子	目黒区民生児童委員協議会 主任児童委員
	松村 由紀子	前東京人権擁護委員協議会 目黒地区副代表

※任期は、令和5年7月18日から令和7年7月17日まで。

◆委員長
◇副委員長

V めぐろ学校サポートセンターの事業

目黒区めぐろ学校サポートセンターは、めぐろ学校教育プランが掲げる「魅力と活力にあふれ、信頼される学校」の実現を目指し、平成20年度に旧守屋教育会館の業務を拡充し設置されました。めぐろ学校サポートセンターは、「教職員サポート」「学習・相談サポート」の2つの基本的サポート機能をもち、教職員の研修や子どもたちの教育に関する支援を行っています。

1 教職員サポート（教職員の支援及び育成に関する事業）

教職員の研修

職層研修 11 回、必修研修 29 回、課題別研修 19 回、特別支援教育等研修 16 回、その他 1 回計 76 回の研修を実施し、延べ 7,589 名の参加がありました。

研修種別	研修名	対 象	内 容	実施回数	参加者数
職層研修	校・園長研修	小・中学校長、幼稚園・こども園長	・「令和の日本型学校教育」の姿として求められる「個別最適な学び」と「協働的な学び」について	1	33
	副校・園長研修	小・中学校副校長、幼稚園・こども園副園長	・学校における働き方改革	1	34
	新補・転補校・園長研修	新補・転補小・中学校長及び幼稚園・こども園長	・目黒区教育委員会における教育の推進について	1	6
	新補・転補副校・園長研修	新補・転補小・中学校副校長及び幼稚園・こども園副園長	・目黒区教育委員会における教育の推進について	1	5
	主幹教諭研修	小・中学校主幹教諭	・学校におけるミドルリーダーの在り方	1	60
	主幹教諭任用時研修	令和6年度新規主幹教諭及び5年度までの未修了者	・オンライン研修1回 ・主幹教諭の職及び主幹教諭に望むこと ・服務事故防止、危機管理等	1	9
	主任教諭任用時研修	令和6年度新規主任教諭及び5年度までの未修了者	・集合研修1回 ・教育現場におけるコミュニケーション ・主任教諭の役割と人材育成	1	19
	学校マネジメント講座	本人の希望及び管理職推薦者	・特色ある学校づくり等 ・教育委員会の組織と役割等 ・服務事故防止、危機管理等 ・教育委員会施策等	4	40
必修研修	初任者研修	初任者研修対象者（新規採用教員、期限付き任用教員） [幼稚園・こども園教諭は、区における研修の一部を受講]	・教師としての心構え、目黒区の教育施策、人権を尊重した教育の推進、服務の厳正 ・新規採用者に向けて、接遇・マナー、保護者対応等 ・授業力向上に向けて（全5回） ・夏季集中研修 ・事故の未然防止 ・児童・生徒理解について ・1年間のまとめ	10	286
	初任者区指定課題別研修等	令和6年度新規採用教員及び5年度期限付き任用教員	・巡回訪問 ・区指定課題別研修	5	167

研修種別	研修名	対 象	内 容	実施回数	参加者数
必修研修	2 年次研修	2 年目の教員	<ul style="list-style-type: none"> 実践的な指導力の向上 授業研究の実際 	3	113
	3 年次研修	3 年目の教員	<ul style="list-style-type: none"> 実践的な指導力の向上 授業観察 授業力向上に向けて 	3	82
	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ	中堅教諭等資質向上研修Ⅰ対象者	<ul style="list-style-type: none"> 授業力の分析と課題設定、学習評価の改善等 生活指導、学級経営 教育法規等 服务等 人権教育等 授業研究の実際（全3回）等 	8	112
課題別研修	人権教育研修	こども園・幼・小・中教諭・主幹等人権教育担当者及び希望者・中堅教諭等資質向上研修Ⅰ対象者	<ul style="list-style-type: none"> 偏見や差別への取り組み 人権教育における実際の指導 	4	658
		全教職員	・人権教育に関する確認（eラーニングによる研修）		
	小学校就学前教育研修	幼稚園・こども園及び小学校教員、私立幼稚園及び公・私立保育園希望者	・円滑な接続を図った幼児教育の指導	1	36
	実務担当者研修	各種担当教員	<ul style="list-style-type: none"> 各種担当教員としての実務能力の伸長（毒物・劇物管理研修、いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議担当者研修） 理科指導者研修 	6	133
	eラーニング全教職員悉皆チェック研修	全教職員	<ul style="list-style-type: none"> 今日的な教育課題に対する理解・対応力の向上 人権教育に関する確認 	8	4,755
特別支援教育等研修	特別支援教育研修	教務主幹・生活指導主幹、研究主任及び特別支援教育コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> 学級経営のユニバーサルデザイン 教科指導におけるユニバーサルデザイン 通常の学級における授業のユニバーサルデザイン 	3	103
	特別支援学級・特別支援教室研修	特別支援学級担当教員・特別支援教室担当教員及び希望者	<ul style="list-style-type: none"> 実態把握の結果に基づく指導 自閉症のある子どもへのコミュニケーション指導と支援 自己肯定感を高めるためにきこえとことばの教室でできること 特別支援学級における学習用情報端末を活用した指導・支援 発達検査を活用した自立活動の指導 	5	84
	教育相談初級研修	2・3 年次の全教員（2 年間で受講）及び希望者	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育相談の心得 グループアプローチの実際 虐待・ネグレクトへの対応 ソーシャルスキルトレーニングの実際 認知行動療法の実際 不登校の未然防止と早期解決に向けて 性の多様性の理解と対応 	7	241

研修種別	研修名	対 象	内 容	実施回数	参加者数
特別支援教育等研修	特別支援教育に関する今日的な教育課題への対応	全教職員	・ 障害者差別解消法の理解 (e ラーニングによる研修)	1	532
その他	着任研修	令和6年度から新たに目黒区に着任した教職員、産・育休代替教員、学習指導講師	・ 目黒区の特色ある教育活動について等	1	81

2 学習・相談サポート（学習支援教室の運営及び教育相談に関する事業）

(1) 学習支援教室

ア 学習支援教室「めぐろエミール」の運営

不登校の中学生を対象に適応指導教室として「めぐろエミール」を平成7年6月に開設しました。現在は居場所機能の充実を図るとともに、長期欠席の児童・生徒を対象とした学習支援教室として、一人ひとりの状態に応じた学習支援を行い、集団生活への適応を図り学校復帰を目指しています。また、令和6年5月から東根住区センター児童館内において、タイムシェアにより室外指導を開始しました。

開室場所	めぐろ学校サポートセンター 3階	東根住区センター児童館 2階
開室日	週5日（月曜日～金曜日）	週5日（月曜日～金曜日）
開室時間	午前9時30分～午後3時 水曜日は午前12時まで	午前10時～12時
通級児童・生徒数	104名	5名
指導体制	12名	2名
活動内容	相談活動（生活相談、学習相談、進路相談等） 学習活動（各教科の学習支援） 体験活動（レクリエーション、調理実習、校外学習等）	相談活動（生活相談、学習相談、進路相談等） 学習活動（各教科の学習支援）

イ メンタルフレンド事業

平成10年9月から実施している事業で、長期欠席児童・生徒の自宅・学校へ「メンタルフレンド」を派遣し、話し相手や相談相手になり、一緒に遊ぶ等のふれあいを通して自分自身を見つめさせ、人や社会との関わり方を身に付けさせることを目的としています。

大学と連携した新たなメンタルフレンド事業を平成24年度から試行で実施し、平成25年度からメンタルフレンドが学習支援教室「めぐろエミール」や学校、長期欠席児童・生徒の自宅で活動しています。

登録者数 10人（令和7年3月31日現在）

(2) 教育相談

児童・生徒及び幼児の心身の健全な発達を図るため、発達障害、学業上の問題、進路等、不登校、性格・行動上の問題、学校・教師・学校生活、友人関係、精神・身体・健康、家庭生活・子育て・しつけ等、教育上の諸問題について保護者、児童・生徒の相談に応じました。また、各学校・園での教育相談活動を支援するため研修会を開催する等、多様化する相談業務に対応できるよう努めました。

ア 教育相談員構成

教育相談員（心理相談専門員）13名 スクールカウンセラー統括 1名（令和7年3月31日現在）

イ 来室教育相談

毎週月曜～土曜日（午前9時～午後5時） 開室日数286日

ウ 電話教育相談

毎週月曜～金曜日（午前9時～午後5時） 受付日数238日

来室相談者数

性別 対象者	男	女	計	%
幼児	2	1	3	0.6
小学生	186	109	295	64.8
中学生	73	53	126	27.6
高校生	16	15	31	6.8
その他	0	1	1	0.2
合 計	277	179	456	100.0

来室相談主訴（男女別）

性別 内容	男	女	計	%
発達障害	3	2	5	1.1
学業上の問題	40	13	53	11.6
進路等	2	3	5	1.1
不登校	73	67	140	30.7
性格・行動上の問題	142	82	224	49.2
学校・教師・学校生活	2	5	7	1.5
友人関係	1	3	4	0.9
精神・身体・健康	2	0	2	0.4
家庭生活・子育て・しつけ	12	4	16	3.5
その他	0	0	0	0
合 計	277	179	456	100.0

来室相談状況(延べ人数)

来室者 性別	幼児	小学生	中学生	高校生 その他	教師 その他	保護者	電話での 対応	延べ人数
男	0	610	223	80	1	223		
女	1	489	130	73	9	1,649		
計	1	1,099	353	153	10	1,872	113	3,601

電話教育相談人数

相談者	人数	%
保護者	70	92.1
本人	2	2.6
その他	4	5.3
計	76	100.0

電話教育相談 内容別人数

性別 内容	男	女	不明	計	%
発達障害	1	1	0	2	2.6
学業上の問題	4	1	0	5	6.6
進路等	1	1	0	2	2.6
不登校	18	9	1	28	36.8
性格・行動上の問題	12	5	0	17	22.4
学校・教師・学校生活	3	9	0	12	15.8
友人関係	0	2	0	2	2.6
精神・身体・健康	0	0	0	0	0.0
家庭生活・子育て・しつけ	1	1	0	2	2.6
その他	5	1	0	6	7.9
合 計	45	30	1	76	100.0

(3) 不登校の状況

目黒区立小・中学校における令和6年度の不登校児童・生徒（※注）数は、小学生195人、中学生199人、合計394人です。

（注）不登校児童・生徒：文部科学省の調査において、年度中に30日以上欠席した児童・生徒で、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しない、あるいはしたくともできない状況にある者（ただし、「病気」や「経済的理由」、「その他」による者を除く。）をいう。

(4) スクールカウンセラー

小・中学校、幼稚園・こども園の教育相談の充実を図るために、小学校には延べ区18人（22校）、都24人（22校）、中学校には都10人（9校）、区17人（9校）のスクールカウンセラーを派遣しています。幼稚園・こども園には区3人（3園）のスクールカウンセラーを派遣しています。

ア 目的

学校における児童・生徒に関わるいじめや不登校及び集団不適応等の問題の解決、並びに発達障害等の支援をしています。また、児童・生徒や保護者、教職員への相談活動を行っています。

イ 内容

- （ア）児童・生徒等の行動観察とカウンセリングや行動観察に基づく保護者・教員へのカウンセリング及びコンサルテーションを行っています。
- （イ）いじめや不登校、集団不適応及び発達障害に関する事例研究等や校内研修会での助言等、支援を行っています。
- （ウ）小学校には週2～4回、中学校には週3回、幼稚園・こども園には月3回の割合で定期的に派遣しています。

ウ 令和6年度スクールカウンセラーの延べ相談回数

小学校		中学校		幼稚園・こども園	
児 童	5,693	生 徒	2,661	園 児	3
保護者	3,615	保護者	1,000	保護者	96
教 員	8,459	教 員	3,828	教 員	82
その他	193	その他	277	その他	18
計	17,960	計	7,766	計	199
行動観察	12,014	行動観察	2,993	行動観察	185

エ その他

区と都のスクールカウンセラーの連絡会を年3回実施し、スクールカウンセラー同士が情報交換や情報共有をして、連携していけるようにしました。さらに、第2回スクールカウンセラー連絡会において講師を招聘し、相談業務の改善に役立てる研修会を実施しました。

(5) スクールソーシャルワーカー

児童・生徒の様々な問題に対応するため、福祉の専門家として令和6年度は4名のスクールソーシャルワーカーと、スクールソーシャルワーカー統括1名を、めぐろ学校サポートセンターに配置しています。

ア 目的

不登校や虐待、ヤングケアラー、非行等を問題解決するために、学校や家庭、関係機関等と連携し直接的・間接的に児童・生徒とその保護者と関わり支援しています。

イ 内容

学校や関係機関等と連携し児童・生徒が置かれた環境への働き掛け（保護者、教職員等に対する支援・情報提供など）を行っています。

ウ 令和6年度スクールソーシャルワーカーの対応回数

訪問・連携等の延べ回数(関係所管別)

学校	家庭	教育委員会関係	関係機関	その他	合計
357	446	19(6)	16	108	952

※関係機関とは、主に子ども家庭支援センター及び児童相談所等。（ ）はめぐろエミールとの連携。

3 その他のサポート機能

(1) 夏休み優秀作品展

平成22年度までめぐろ学校サポートセンターを会場に「夏休み理科作品展」として作品を展示していましたが、平成23年度から「夏休み優秀作品展」として区公式ウェブサイト上で作品を紹介しています。

夏休み優秀作品展

期 間	令和6年10月21日（月）～1年間
出品数	小学校351点 中学校26点 計384点

(2) 教育資料の整備・活用（令和6年度実績）

ア 教科書センター

中学校の教科書採択替えのため、法定・特別展示として、令和6年6月4日から令和6年7月1日まで、めぐろ学校サポートセンター2階の教科書センターにて展示しました。なお、目黒区立学校で使用している教科書は常時展示しています。

イ 図書資料室

教育に関する調査・研究収録、専門図書、教育に関する出版刊行物を常時展示し、学校教職員及び教育委員会関係者の閲覧に供しました。

ウ 教材貸出

音楽授業で活用するため和楽器（琴）を各学校に貸し出しました。

小学校16校、中学校7校（延べ233面）

(3) 視聴覚ライブラリー

学校教育における学習指導の補助教材として、また、社会教育活動の学習資料として、「視聴覚教材」は活用されています。

視聴覚機材利用状況

施設 区 分	機 材								合計
	VHS デッキ	DVD プレーヤー	CD ラジカセ	スピーカー	マイク	プロジェクター	実物投影機	他	
幼稚園・こども園、 小・中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育委員会各課	0	0	9	0	35	1	0	0	45
他（区各課）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保育園	0	0	0	0	0	0	0	0	0

施 設 区 分	機 材								合計
	VHS デッキ	DVD プレーヤー	CD ラジカセ	スピーカー	マイク	プロジェク ター	実物投影機	他	
児童館	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学童保育クラブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
私立幼稚園、小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AVL登録団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	9	0	35	1	0	0	45

教材利用状況

施 設 区 分	教 材			計
	16ミリ教材	VTR教材	他	
幼稚園・こども園、 小・中学校	0	0	0	0
教育委員会	0	0	0	0
他（区各課）	0	0	0	0
保育園	0	0	0	0
児童館	0	15	0	15
学童保育クラブ	0	0	0	0
私立幼稚園、小学校	0	0	0	0
AVL登録団体	0	0	0	0
合 計	0	15	0	15

(4) めぐる学校サポートセンター施設の利用提供

児童・生徒の利用、教職員の研修・研究及び調査、学校教育事業、その他教育委員会の教育の充実・振興を図るため、研修室、理科室・音楽室を設置して、その利用に供しました。

研修室等利用実績

	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	音楽室	理科室	計
回数	188	149	148	139	23	23	670
人数	3,650	1,411	1,410	1,003	487	232	8,193

体育館・運動場利用実績

	体育館	運動場	計
回数	526	342	868
人数	9,034	8,316	17,350

VI 地域との連携の推進

子どもたちの健全で調和のとれた成長のためには、家庭、学校、地域社会が連携し、地域社会全体で子育てを担っていく必要があります。このため、地域教育の一層の推進が大きな課題になっています。

具体的には、青少年問題協議会の開催、地域教育懇談会や青少年委員の活動支援、住区青少年部の活動との連携に取り組みました。

1 地域教育懇談会の活動支援

「開かれた学校」を推進し、地域社会に教育ネットワークをつくるための一つの仕組みとして、また、子どもたちの健全育成全般を話し合う地域場として、中学校区ごとに「地域教育懇談会」が組織されています。

地域教育懇談会は、学校、PTA、教育関係諸機関、青少年育成団体等から選出された方々が中心となり、子どもの教育について、共に考え話し合い連携・協力していく場、学校と地域が意思疎通を図る場、参加団体相互の連絡・調整等の場となっています。区では、運営経費の援助を行うとともに、各地域教育懇談会活動のより一層の充実に向けた支援を行いました。

地域教育懇談会の主な活動状況

中学校区	地域教育懇談会名	主な活動等
第一	地域教育懇談会（菅刈小・駒場小・一中）	ふれあいコンサートの実施、「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」の参観
第七	地域教育懇談会	講演会の開催、「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」を参観後に意見交換を実施
第八	地域教育懇談会	「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」参観後に意見交換を実施
第九	第九中・向原小・原町小学校地域教育懇談会	「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」参観後に意見交換を実施
第十	第十中学校区地域教育懇談会	あいさつ運動、地域夏休み行事カレンダーの作成・配布、あいさつ運動標語募集・ポスター作成、4校関係団体等地域連絡会など実施
第十一	子どもの健全育成を考える会	子どもの健全育成に関する今年度の各団体・機関の活動状況と課題について会議を実施
東山	烏森・東山子育て教育懇談会	「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議」参観後に意見交換を実施
目黒中央	目黒中央中学校区地域教育懇談会	あいさつ運動の実施、講演会の開催
大鳥	ほっと ² 四住志	大鳥つなフェスタ実行委員会による「大鳥つなフェスタ」の準備・開催

地域教育懇談会代表者会実施状況

日時	主な内容
第1回 6月25日（火） 総合庁舎地下1階第17会議室	地域教育懇談会の今後のあり方について、令和5年度目黒区立学校におけるいじめ及び不登校の状況について等
第2回 3月4日（火） 総合庁舎2階 A会議室	令和6年度「いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議の実施結果」について等

（事業開始：平成10年4月）

2 放課後フリークラブ

放課後の学校施設等を利用して、子どもたちが遊びや様々な体験をしていく機会を提供します。校庭を使用し子どもの安心安全な居場所を提供する「ランドセルひろば」、地域団体に委託し地域の教育力で様々な体験教室を実施する「子ども教室」の2事業を実施しました。

事業名	実施校（校区）
ランドセルひろば（1校）	※緑ヶ丘小学校
子ども教室（16小学校区）	菅刈小学校区、下目黒小学校区、碑小学校区、中目黒小学校区、油面小学校区、向原小学校区、田道小学校区、月光原小学校区、駒場小学校区、緑ヶ丘小学校区、原町小学校区、不動小学校区、上目黒小学校区、東根小学校区、中根小学校区、宮前小学校区

（事業開始：平成20年4月）

※緑ヶ丘小学校を除く区立小学校では、放課後子ども総合プラン一体型事業である「ランランひろば」を実施しました。

3 青少年の健全育成

明日を担う青少年が健やかに育つために、家庭、学校、地域社会や関係機関が連携し、健全育成、事故・非行防止、社会参加活動等を推進しました。また、青少年問題協議会、住区青少年部連絡会の開催及び青少年健全育成のための情報提供や青少年委員による活動等を行いました。

(1) 青少年問題協議会

青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する施策を総合的に審議、連絡、調整する機関です。青少年育成基本方針の策定、青少年に関する協議等を行いました。

青少年問題協議会

開催日・場所	内 容
7月2日（火） 総合庁舎特別会議室	「第74回目黒区社会を明るくする運動について」「令和6年度青少年の非行・被害防止全国強調月間について」等
10月10日（木） 総合庁舎特別会議室	「令和6年度青少年の非行・被害防止全国強調月間実施結果について」等
2月6日（木） 総合庁舎特別会議室	「令和7年度目黒区青少年育成基本方針（案）について」等

目黒区青少年問題協議会委員

(令和7年3月31日現在)

選出区分	氏 名	推薦母体等	選出区分	氏 名	推薦母体等
区職員等 (6名)	◆青木 英二	区長	学識経験 者(16名)	中山 晴義	区立小学校長会
	◇荒牧 広志	副区長		野口 芳一	区立中学校長会
	関根 義孝	教育長		若野 恭子	区立小学校PTA連合会
区議会議員 (2名)	上田 広美	区民生活部長		三輪 恵美子	区立中学校PTA連合会
	田中 健二	子育て支援部長		天野 聡士	目黒体育協会
	樫本 達司	教育次長		依田 悦子	目黒区商店街連合会
関係行政 庁職員 (4名)	西村 ちほ	生活福祉委員会 委員長		松澤 俊明	目黒区産業連合会
	金井 ひろし	文教・子ども委 員会委員長		小野 力	東京私立中学高等学校協会
	濱田 勝行	目黒警察署長		田中 清美	目黒区民生児童委員協議会
	西山 三弘	碑文谷警察署長		堀江 久教	目黒区保護司会
	富岡 和雄	品川児童相談所 長		勝呂 喜代美	目黒区住区青少年部連絡会
	森 陽一	東京保護観察所 目黒担当観察官		三柴 伸生	目黒防犯協会
				後藤 友子	目黒区青少年委員会
				飯村 研一	目黒区少年団体連絡協議会
				豊田 恭子	碑文谷防犯協会
				大塚 經子	目黒母の会

◆会長 ◇副会長 (事業開始：昭和29年6月)

(2) 住区青少年部連絡会

青少年育成基本方針に基づき、住区青少年部代表者相互の連絡調整、緊密化を図るために設けられています。地域の青少年健全育成活動についての情報交換等を行いました。

開催日・場所	内 容
7月9日(火) 総合庁舎	第1回 青少年問題協議会の報告、住区行事实施予定の情報交換等
10月21日(月) 総合庁舎	第2回 青少年問題協議会の報告、住区行事实施予定の情報交換等
2月25日(火) 総合庁舎	第3回 青少年問題協議会の報告、住区行事实施予定の情報交換等

(事業開始：平成元年10月)

(3) 健全育成関連事業

青少年の健全育成に関する事業として、次の事業を実施しました。

実施日	場 所	内 容	参加人数
8月16日(金)～18日(日)	気仙沼市	中学生の自然体験(台風の影響により中止)	—
※事業再開に向け、オンライン会議を実施	角田市内ほか	青少年交流 都市・農村相互の体験の機会提供として小学生を派遣	—
11月30日(土)	青少年プラザ	青少年健全育成事業「心の方程式でひも解く 「不登校」	22
1月13日(月・祝)	めぐろパーシモンホール	「二十歳のつどい」 お祝いのことば、二十歳のことば等	982
1月26日(日)	中目黒住区センター	青少年社会貢献表彰 被表彰者3団体及び個人8人	60
※事業再開に向け、オンライン会議を実施	目黒区内ほか	青少年交流 都市・農村相互の体験の機会提供として角田市の小学生を受け入れ	—

(4) 青少年委員

青少年委員は、住区住民会議を推薦団体とし、26人を委嘱しています。

区内の学校、PTA、住区住民会議、町会自治会、青少年団体等との連携を図りながら、青少年の健全育成に活躍しています。

目黒区青少年委員

(令和7年3月31日現在)

推薦住区	氏 名		推薦住区	氏 名	
駒場	亀ヶ谷 尚也	北川 博康	鷹番	三田 春彦	—
菅刈	松川 卓	清水 あき子	月光原	和田 俊介	—
東山	狩俣 照代	前田 尚美	向原	—	—
烏森	峰尾 聖志	一見 貴重	碑	安藤 啓一	秋葉 恭弘
中目黒	平野 幸恵	平坂 雅代	原町	小倉 恵子	—
田道	黒田 英二	—	大岡山東	小藤田 将也	—
下目黒	大嶺 真吾	—	大岡山西	入江 正	—
不動	—	—	中根	櫻井 志津	—
上目黒	—	—	自由が丘	島添 奈緒子	中村 孝人
油面	田面 伸明	—	八雲	—	—
五本木	月足 元子	後藤 友子	東根	金井 有希子	—

青少年委員活動状況

実施日	会場	活動内容
5月12日(日)	中央体育館	「わんぱく相撲目黒区大会」協力
6月16日(日)	江の島	視察研修 (新江の島水族館など)
11月3日(日)	五本木小学校	「子ども会交流会」協力
1月13日(月・祝)	めぐろパーシモンホール	「二十歳のつどい」協力

(事業開始：昭和40年4月)

(5) 「こども110番の家」事業の推進

子どもたちが犯罪や事故などによる身の危険を感じたときに緊急避難できる場として、「こども110番の家」事業を推進しています。目黒区生活安全対策協議会の提唱により、区・教育委員会や警察署がPTA、住区住民会議、防犯協会などとともに、在宅機会の多い家庭や商店などの協力を得て、地域ぐるみで子どもの安全を守るために取り組んでいます。

教育委員会では、事業の普及・啓発、ステッカーの作成・配布や、協力家庭等の万一の事故に備えた見舞金制度の整備等を行っています。また、区有施設や私立幼稚園に「こども110番の家」の参加を呼びかけました。

協力家庭等 1,743軒 (令和7年3月31日現在)

(事業開始：平成12年7月)

4 学校施設使用(教室)

目黒区立学校施設使用条例に基づき、学校教育に支障がない場合における社会教育その他公共の目的のための教室使用について、次のとおり使用を承認しました。

(1) 小学校

学校名	有料 (件)	無料 (件)	無料内訳		使用料 (円)	学校名	有料 (件)	無料 (件)	無料内訳		使用料 (円)
			区又は 官公署	その他					区又は 官公署	その他	
八 雲	2	28	0	28	1,200	田 道	0	23	4	19	0
菅 刈	0	6	4	2	0	月光原	0	81	79	2	0
下目黒	2	46	1	45	1,800	駒 場	2	99	0	99	1,600
碑	0	2	1	1	0	緑ヶ丘	2	13	0	13	1,000
中目黒	2	19	0	19	2,400	原 町	0	3	3	0	0
油 面	2	22	4	18	2,000	不 動	0	0	0	0	0
大岡山	0	0	0	0	0	上目黒	0	6	0	6	0
烏 森	0	7	0	7	0	東 根	0	78	20	58	0
向 原	0	93	50	43	0	中 根	0	0	0	0	0
五本木	2	74	0	74	3,200	宮 前	3	82	47	35	6,000
鷹 番	4	44	0	44	9,000	東 山	0	1	0	1	0
計							21	727	213	514	28,200

(2) 中学校

学校名	有料 (件)	無料 (件)	無料内訳		使用料 (円)
			区又は 官公署	その他	
第 一	0	1	1	0	0
第 七	0	1	0	1	0
第 八	0	0	0	0	0
第 九	0	1	0	1	0
第 十	0	0	0	0	0
第十一	0	0	0	0	0
東 山	0	7	0	7	0
目黒中央	0	2	2	0	0
大 鳥	0	0	0	0	0
計	0	12	3	9	0

(事業開始：昭和 39 年度)

I 生涯学習の推進

1 生涯学習実施推進計画

(平成 5 年 6 月策定、平成 10 年 5 月改定、平成 15 年 3 月改定、平成 20 年 3 月改定、平成 27 年 3 月改定、令和 4 年 3 月改定)

○計画の目的

目黒区におけるこれまでの生涯学習施策の実施状況や課題、区民の生涯学習に関する意識などに留意しつつ、区民一人ひとりが生き生きと主体的に学び、その成果や経験を地域社会に生かすことができる生涯学習社会の実現に向けて、関連施策をさらに計画的かつ重点的に推進していくことを目的としています。

○計画期間 令和 4 年度から令和 8 年度まで

○施策の方向

生涯学習を推進するため、4 つの施策の方向を掲げ、それぞれの方向に合わせて施策を示しています。

- 施策の方向 1 区民が学ぶきっかけとなる学習情報発信の充実
 〈施策〉 ① 学びの情報の提供
 ② 身近な地域情報の提供
- 施策の方向 2 区民の学習・交流機会提供の充実
 〈施策〉 ① 時代の変化に対応するための学習機会の提供
 ② 自己実現のための学習機会の提供
 ③ 課題解決のための学習機会の提供
 ④ 誰一人として取り残さないための学習機会の提供
 ⑤ 交流機会の提供
- 施策の方向 3 区民・団体の生涯学習活動支援の充実
 〈施策〉 ① 学習の場の提供
 ② 自主活動の支援
- 施策の方向 4 地域に学び地域に生かす仕組みの構築
 〈施策〉 ① 地域人材の育成支援
 ② 学びに関わるボランティアの育成支援

○重点プロジェクト

生涯学習実施推進計画に掲げる施策をより一層効果的に進めるため、重要事項を「重点プロジェクト」として設定し、進捗管理を行うことにより、効果的な実施に努めていきます。

- ア 時代の変化に対応した主体的な学びの推進（重点事業 6 事業）
 イ 地域に学び地域に生かす学び合いの好循環の環境の整備（重点事業 5 事業）

2 生涯学習推進協議会の運営

生涯学習の推進について検討を行うとともに、生涯学習実施推進計画の改定に向け、施策に広く区民の意見を反映させていくことを目的として「目黒区生涯学習推進協議会」の運営を行っています。第 15 期委員の任期は、令和 6 年 6 月 1 日～令和 8 年 5 月 31 日です。

生涯学習推進協議会

開催日・場所	内 容
7 月 19 日（金） 総合庁舎 第 15・16 会議室	目黒区生涯学習推進協議会運営・設置、所掌事項について 他
11 月 8 日（金） 総合庁舎 大会議室	目黒区生涯学習実施推進計画（令和 4 年度～令和 8 年度）における事業調査結果について 他

第 15 期目黒区生涯学習推進協議会委員

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

選出区分	氏 名	選出該当団体・現職等	備 考
区議会議員 (2)	金井 ひろし	文教・子ども委員会委員長	
	木村 あきひろ	文教・子ども委員会副委員長	
学識経験者 (2)	藤井 穂高	筑波大学人間系教授	会長
	倉持 伸江	東京学芸大学教育学部准教授	副会長
社会教育関係団体 (2)	都並 美加子	目黒区社会教育団体連絡会	
	石塚 修次	NPO目黒体育協会	
社会教育関係団体を除く区内関係団体 (6)	三柴 伸生	目黒区住区住民会議連絡協議会	
	田口 三千代	目黒区消費者グループ連絡会	
	大本 郁子	目黒女性団体連絡会	
	渡辺 久子	目黒区竹の子クラブ連合会	
	小野田 由夏	目黒区障害者団体懇話会	
	堀内 早紀子	(公社) 東京青年会議所目黒区委員会	
区内教育機関 (5)	平塚 道彦	私立幼稚園協会	
	龍花 千鶴	区立小学校長会	
	鴻野 祐子	区立中学校長会	
	小野 力	東京私立中学高等学校協会第七支部	
	駒田 真由子	区内大学機関 (東京医療保健大学)	
区民 (3)	加藤 はるみ	公募委員	
	風見 圭	公募委員	
	割鞘 裕佳	公募委員	

3 大学等教育機関との連携講座

教育機関の専門的な知識・技術の集積を活用し、地域住民に学習の機会を提供するために区内及び近隣地域の教育機関との連携講座を平成 21 年度から実施しています。

令和 6 年度は東京科学大学、東京医療保健大学、放送大学、筑波大学附属駒場中学校・高等学校、東京音楽大学、東京大学と連携講座を企画・実施しました。

実施校	開催日時	講座名	講師（敬称略）	参加者数
東京医療保健大学	11 月 23 日 （土・祝） 13:30～14:30	放射線を正しく怖がる	東京医療保健大学東が丘看護学部・大学院看護学研究科教授 明石 眞言	34
筑波大学附属駒場中・高等学校	1 月 25 日（土） 14:00～16:00	筆ペンでなぞる「源氏物語・若紫巻」	筑波大学附属駒場中・高等学校国語科教諭 杉村 千亜希	31
放送大学	2 月 8 日（土） 14:00～16:00 （中止）	数理最適化モデリングという「ものの見方」	放送大学客員教授 池上 敦子	—
東京音楽大学	2 月 26 日（水） 18:00～20:00	手軽なグッズで身体の深層部をボディ・マッピング	東京音楽大学非常勤講師 長井 芽乃	44
東京大学	3 月 15 日（土） 10:30～12:00	東大駒場地区キャンパスツアー	東京大学駒場博物館・助教 折茂 克哉	26
東京科学大学	3 月 15 日（土） 14:30～16:00	東工大の発明品～組立式鉄筋コンクリート建築（プレコン）	東京科学大学博物館副館長・教授 山崎 鯛介	62

Ⅱ 社会教育

社会教育行政の役割は、区民の様々な学習活動の振興を図るための条件整備をすることです。具体的には、

- ①社会教育団体に対する活動の場の提供
- ②各種学級講座の開設等による区民に対する学習機会の提供
- ③指導者派遣や相談等による社会教育団体への援助
- ④文化活動の推進及び文化財の保護

と大きく 4 つの役割があります。

1 社会教育委員

社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会の諮問に対する答申、これらに必要な研究調査等を行うために社会教育法に基づき設置するものですが、第 15 期委員の任期（平成 26 年 6 月 25 日から平成 28 年 6 月 24 日まで）満了後は、委員の委嘱をしていません（令和 7 年 3 月 31 日現在）。

2 学習の場の提供

区が提供している社会教育の学習の場には、社会教育館（東山・目黒区民センター・中央町・目黒本町）と緑が丘文化会館及び青少年プラザがあります。

また、集会施設予約システムの整備を行い、平成 19 年 3 月 1 日申込受付開始分から、インターネットを利用した施設予約システムを導入しています。

曜日別利用状況

（単位：件）

施設 曜日	東山 社会教育館	目黒区民センター 社会教育館	中央町 社会教育館	目黒本町 社会教育館	緑が丘 文化会館	青少年 プラザ	計
平日	2,072	1,584	2,105	2,133	4,004	1,469	13,367
土日	1,072	1,196	1,367	1,239	2,304	1,512	8,690
祝日	106	154	81	106	239	103	789
計	3,250	2,934	3,553	3,478	6,547	3,084	22,846

※月曜日は休館、青少年プラザのみ月曜日及び第 2 木曜日休館

利用団体別利用状況

（単位：件）

施設 区分	登録団体	区行政利用	他の登録団体	一般利用	合計
東山社会教育館	2,150	230	157	713	3,250
目黒区民センター社会教育館	2,027	181	147	579	2,934
中央町社会教育館	2,156	348	491	558	3,553
目黒本町社会教育館	2,574	248	168	488	3,478
緑が丘文化会館	3,894	382	5	2,266	6,547
青少年プラザ	358	640	999	1,087	3,084
合計	13,159	2,029	1,967	5,691	22,846

部屋別利用状況

部屋	東山社会教育館			目黒区民センター社会教育館			中央町社会教育館		
	室	件数	利用率	室	件数	利用率	室	件数	利用率
レクホール	1	646	70.6	1	671	73.3	1	663	72.4
調理室	1	213	23.2	1	167	18.2	1	159	17.3
和室	1	339	37.0	1	378	41.3	1	420	45.9
美術室	—	—	—	1	393	42.9	—	—	—
音楽室	1	644	70.3	—	—	—	1	562	61.4
研修室	3	1,408	51.2	3	1,325	48.2	5	1,749	38.2
計	7	3,250	50.7	7	2,934	45.8	9	3,553	43.1
部屋	目黒本町社会教育館			緑が丘文化会館			青少年プラザ		
	室	件数	利用率	室	件数	利用率	室	件数	利用率
レクホール	1	638	69.7	2	1,430	78.3	2	1,033	64.5
調理室	1	294	32.1	1	158	17.3	1	116	14.5
和室	1	419	45.7	2	854	46.7	4	445	26.6
美術室	—	—	—	1	333	36.4	1	319	39.8
音楽室	—	—	—	1	752	82.4	1	489	61.1
研修室	4	2,127	58.1	6	3,020	55.0	2	682	28.4
計	7	3,478	54.3	13	6,547	55.7	11	3,084	38.2

3 学習機会の提供 ー学級・講座ー

区民の多様な学習要求に応えるとともに、学習志向を高め、物事を科学的・合理的に考える力を養い、地域社会の文化活動を促進するため、各種の講座を開催しました。

(1) 委託による講座等

家庭教育講座を各小・中学校のPTAに運営を委託して実施しました。また、国際化する社会の中で、国際理解を深め、ユネスコ活動の啓発を図るために、語学教室・日本語講座等を目黒ユネスコ協会に委託して実施しました。

小学校家庭教育講座

実施校	回数	実施日・時間帯・場所	テーマ	タイトル	講師(敬称略)	参加者
八雲小学校	1	10月16日(水) 10:00～12:00 (八雲小学校)	A	こんな時は小児科に相談しよう	小児科医 鳥居 健一	20
菅刈小学校	1	10月5日(土) 10:30～12:30 (菅刈小学校)	D	子どもの成長と親・学校の関わり	菅刈小学校長 鈴木 稔 他	48
碑小学校	1	10月16日(水) 10:00～12:00 (オンライン)	A	心配を信頼に変え、ホンモノの自己肯定感を育むコーチング	株式会社ビリーブハート 代表取締役 三橋 亜希子	40
中目黒小学校	1	11月21日(木) 9:00～11:00 (中目黒小学校)	A	「心配」を「信頼」に変える”ホンモノの自己肯定感”を育むコミュニケーション	株式会社ビリーブハート 代表取締役 三橋 亜希子	32

実施校	回数	実施日・ 時間帯・場所	テーマ	タイトル	講師(敬称略)	参加者
油面小学校	2	10月5日(土) 13:00～15:00 (油面小学校・オンライン)	B	もしもの備えをしよう ～子どもや家族を守る。 もしものに向けた防災訓練～	防災アナウンサー 奥村 奈津美	24
		11月24日(日) 13:00～15:00 (油面小学校)	A	困難をのりこえる強さを育てる	子育てが楽しくなるママ カフェ代表 木村 宣貴	16
大岡山小学校	1	10月26日(土) 10:00～12:00 (大岡山小学校)	A	戦わないコミュニケーション ～コントロールを手放す子育て～	コミュニケーションコーチ 山崎 洋実	30
烏森小学校	1	11月16日 (土) 11:00～13:00 (オンライン)	C	叱らなくても子どもは伸びる ～ゲーム・スマホ・勉強・しつけなど、目から鱗の子育てと家庭教育～	教育評論家 親野 智可等	29
向原小学校	1	12月1日(日) 10:00～12:00 (向原小学校)	C	目から鱗の子育てと家庭教育	教育評論家 親野 智可等	38
五本木小学校	1	11月30日(土) 10:00～12:00 (五本木小学校)	A	「声の大切さ」を知り親子の 関わりを豊かに	一般社団法人 声・脳 教育 研究所 ヴォイス・エデュケーター 筑後 千晶	7
鷹番小学校	1	10月19日(土) 10:00～12:00 (鷹番小学校)	A	スクールカウンセラーと考える 今とこれからの子育て	スクールカウンセラー 山田 健斗	13
田道小学校	1	11月9日(土) 10:00～12:00 (田道小学校)	A	モヤモヤ解消！子供の心に 寄り添う親のヒント ～子供が心に不安、モヤモヤ を持った時の接し方～	スクールカウンセラー 田中 典子	17
月光原小学校	1	11月29日(金) 15:30～17:30 (月光原小学校・オンライン)	C	わくわくエンジンを見つけよう！ ～好きから意欲を育む親の かかわり方～	コンサルタント 奥野 幸子	20
駒場小学校	1	10月19日(土) 14:00～16:00 (駒場小学校)	B	災害にそなえて「生きる力」 を親子でのばす	安全教育株式会社主席指 導教官 佐伯 潤	20
緑ヶ丘小学校	1	11月17日(日) 10:00～12:00 (緑ヶ丘小学校・後日動画配信)	A	学ぶ力を引き上げ幸せな人生も 歩める子になるマジック ワード	一般社団法人教育デザイン ラボ代表理事 石田 勝紀	30
原町小学校	1	10月26日(土) 10:00～11:50 (原町小学校・オンライン)	C	叱らなくても子どもは伸びる ～今いちばん必要な親力とは？～	教育評論家 親野 智可等	30

実施校	回数	実施日・ 時間帯・場所	テーマ	タイトル	講師(敬称略)	参加者
不動小学校	1	12月8日(日) 10:00～12:00 (不動小学校)	B	「自分らしさ」「多様性」 ～北欧の絵本に触れて考える～	東海大学准教授 上倉 あゆ子	28
上目黒小学校	1	11月9日(土) 9:45～11:45 (オンライン)	B	実験教室@オンライン ～家庭で作る探求学習のきっかけ～	東大CAST 中山 拓飛	44
東根小学校	1	9月9日(月) 10:00～12:00 (東根小学校)	B	家庭教育としての防災教育、 子どもの安全と保護者の安全	安全教育株式会社主席指導教官 佐伯 潤	42
宮前小学校	1	8月26日(月) 13:30～15:30 (宮前小学校)	B	ゲームやネット対策はできている？ ～親子で考えるゲーム依存症～	ネット・ゲーム依存回復支援サービス Mirai 所長 森山 沙耶	15
東山小学校	1	9月28日(土) 10:00～12:00 (東山小学校)	A	いじめのない社会をつくるために いじめ撲滅「BE A HERO」プロジェクト	MTX Education Labo 特任研究員 新保 友映	35
計 20 校	21	計				578

※A 子どもの成長発達への理解 B 子どもをめぐる家庭教育の課題 (事業開始：昭和41年度)
 C 現代の家庭と保護者 D 地域社会と子どもの成長発達

中学校家庭教育講座

実施校	回数	実施日・ 時間帯・場所	テーマ	タイトル	講師(敬称略)	参加者
東山中学校	1	1月10日(金) 13:30～15:50 (東山小学校)	C	これからの社会を生き抜く 子供たちの教育～東山中学校の取り組みを通して～	東京学芸大学教職大学院教授 堀田 龍也 他	63
目黒中央中学校	1	10月12日(土) 10:00～12:00 (目黒中央中学校)	B	校長先生とお話しましょう ～中学生子育てあるある～	目黒中央中学校長 田原 弘一	17
計 2 校	2	計				80

※A 思春期の心の発達 B 中学生がいる家庭や保護者のあり方 C 中学生と地域社会 (事業開始：昭和45年度)

ユネスコ活動

事業名			日時・会場・回数	講師（敬称略）	参加者数	延べ参加者
国際文化交流講座	語学教室	イタリア語初級講座	9月21日～1月18日 9:30～11:30 緑が丘文化会館(全15回)	I C C外語学院講師 ピエトロ・メルリーノ	34	414
		ボランティアのための 日本語教育研修講座	9月4日～12月11日 10:00～12:00 青少年プラザ(全15回)	にほんごの会企業組合 関 恵美子 他	33	426
	文化講座	自給率の低い日本の食料 供給は大丈夫か。コメの 役割は？	9月1日 14:00～16:00 緑が丘文化会館	全国食糧保管協会 専務理事 河崎 厚夫	32	98
		改めて考えよう、男女平 等は誰のため？ ～NHKドラマ「虎に 翼」を素材に～	12月1日 14:00～16:00 中目黒G Tプラザホール	早稲田大学名誉教授 浅倉 むつ子	34	
		「心の中に平和のとりで を築くとは？」身近なこ とから平和を考えてみま せんか	1月26日 14:00～16:00 中目黒G Tプラザホール	元日本ユネスコ協会 連盟事務局長 川上 千春	32	
	美術教室	手びねりで抹茶茶碗を作 り、お茶のお点前体験	2月7日～2月28日 ① 10:00～12:00 ② 14:00～16:00 紅椿窯 他(全5回)	陶芸作家 安原 喜彦 他	16	92
講座 日本語	在日外国人対象日本語講座 「初めて習う日本語」		9月10日～12月5日 10:00～12:00 中央町社会教育館 (全26回)	目黒ユネスコ協会 日本語教育担当会員	20	326
ひろば 国際交流	日帰りバスツアー「秩父神 社・まつり会館・銘仙館と長 瀬壺岩」		12月6日 8:30～18:20 目黒川舟入場集合	—		63
サイエンス教室	ロボットプログラミング 教室		7月27日 9:30～11:30 緑が丘文化会館	東京地下鉄株式会社企 業価値創造部 山崎 匠		6
	LEDコマを作って、回せ		2月15日 14:00～16:00 五本木小学校理科室	横浜みどりクラブ 内田 裕之		14
	重心を見つけて、遊ぼう！		3月15日 14:00～16:00 緑が丘文化会館	目黒ユネスコ協会 岩佐 富雄 他		4
育成事業 青少年	ユネスコ青少年フェスタ		12月15日 10:00～16:00 中目黒G Tプラザホール	青少年によるSDG s 学習発表、伝統芸能披 露等（後日、ユネスコ HP でYouTube 配信）		74
計					362	1,517

（事業開始：教養講座…昭和37年度、昭和57年度～国際文化交流講座
日本語講座・国際交流ひろば…昭和63年度、理数教室…平成22年度）

(2) 社会教育館等での講座等

社会教育館等では、地域の特性を生かしつつ、各種の講座等を開催しました。

また、社会教育館等をより利用しやすく、親しまれる施設とするために、相互に考え交流し合う場として利用者懇談会及び館まつりを実施しました。

東山社会教育館

期間 主な時間	主な曜日	回数	講座名	講師（敬称略）	定員	応募者数	参加者数	延べ参加者数	出席率
6月4日～ 6月25日 14:00～16:00	火	4	地域サークル講座 「デジカメの世界 ～写真の基本と実習～」	カメラマン・ウェブ メディア運営 土生 一成	20	46	25	80	88.9
9月7日～ 9月21日 10:00～12:00	土	3	多文化社会で求められる意識とスキル ～となりは外国人～	麗澤大学外国語学部 准教授 高本 香織 他	20	17	18	39	81.3
1月26日～ 2月9日 10:00～12:00	日	3	ゆたかに育てよう！ 幼児期の子どもの心とからだ	乳幼児自己肯定感 アドバイザー ikumi 他	15	23	25	48	64.0
計					55	86	68	167	-

目黒区民センター社会教育館

期間 主な時間	主な曜日	回数	講座名	講師（敬称略）	定員	応募者数	参加者数	延べ参加者数	出席率
7月7日～ 7月14日 14:00～16:00	日	2	盲目の国学者、 塙保己一の生涯から 障がい者問題を見る	公益社団法人温故学 会代表理事 齊藤 幸一	20	23	20	32	80.0
9月28日～ 10月20日 10:00～12:00 (現地見学 9:30～12:00)	土・ 日	4	目黒川とその流域 の歴史を振り返って みよう	前めぐろ歴史資料館・ 文化財係職員	25	48	25	83	87.4
10月2日～ 11月6日 10:00～12:00	水	6	地域サークル講座 「みんなで楽しく ハワイアンフラ・ アロハ！」	レイ マハナ フラ ハーラウ主宰 佐野 亜希	24	35	22	114	89.8
11月13日～ 12月4日 14:00～16:00	水	4	初心者体験教室 能と狂言 大いに楽しもう	万作の会 狂言師 高野 和憲 観世流梅若会 能楽師 井上 療治	25	61	25	77	81.9
計					94	167	92	306	-

中央町社会教育館

期間 主な時間	主な 曜日	回数	講座名	講師（敬称略）	定員	応募 者数	参加 者数	延べ参 加者数	出席率
9月14日～ 11月30日 10:00～12:00	土	6	地域サークル講座 「ふれてみよう “茶の湯”」	裏千家助教授 「お茶ボランティア 弥生会」講師 塚本 宗弘	12	35	12	63	87.5
10月20日～ 12月1日 13:00～16:00	日	4	スタイリストから 学ぶファッション クリエーション！	(株)TEN10 スタイリ スト・ディレクター 市野沢 祐大	15	11	11	40	90.9
10月31日～ 11月7日 10:00～12:00	木	2	子どもの成長のため に親ができること～ 児童期を迎えて～	法政大学文学部 心理学科教授 渡辺 弥生 他	20	32	26	44	84.6
3月18日～ 3月25日 13:30～15:30	火	2	「虎に翼」に見る ジェンダー (人権)	明治大学法学部教授 村上 一博	30	32	24	40	83.3
計					77	110	73	187	-

目黒本町社会教育館

期間 主な時間	主な 曜日	回数	講座名	講師（敬称略）	定員	応募 者数	参加 者数	延べ参 加者数	出席率
5月12日～ 6月9日 13:00～16:00	日	4	初めての野外スケッチ ー地域の風景を描くー	画家 天野 雄	25	53	24	71	78.9
5月22日～ 7月31日 18:30～20:30	水	6	地域サークル講座 「懐かしのポップ スをハモらせてみ よう！」	声楽家 木下 泰子	30	40	32	132	78.6
9月14日～ 9月28日 14:00～16:00	土	3	スマホ使いこなし 講座	NPO タブレット利活 用協会理事長 渡辺 としみ	20	63	20	56	94.9
1月25日・ 26日 13:30～16:30	土 ・ 日	2	アニメが生み出す キャラクターのダ イバーシティ	新潟大学経済科学部 教授 石田 美紀	20	20	18	24	70.6
計					95	176	94	283	-

緑が丘文化会館

期間 主な時間	主な曜日	回数	講座名	講師（敬称略）	定員	応募者数	参加者数	延べ参加者数	出席率
5月25日～ 7月20日 13:15～15:15	土	5	地域サークル講座 「南京玉すだれ」	八房一門会・日本南京玉すだれ協会師範 徳永 洋子	15	20	11	46	83.6
6月2日～ 6月16日 10:00～12:00	日	3	ふつうじゃないってすてきだね！ ～絵本をとおして子どもに伝える多様性～	ライター 秋音 ゆう	20	6	6	17	94.4
8月20日 10:00～11:30	火	1	東工大生と一緒に つくろう！2024	東工大 Science Techno 出張科学教室	30	34	48	97	80.8
8月20日 13:30～15:00	火	1			30	29			
8月21日 10:00～11:30	水	1			30	34	49		
8月21日 13:30～15:00	水	1			30	34			
8月31日～ 9月14日 10:00～12:00	土	3	地球沸騰化時代 ～今、私たちにできることは？～	環境活動家 武本 匡弘 他	30	43	43	90	92.8
12月6日～ 12月20日 18:30～20:30	金	3	「ファッション」 「アイドル」「労働」-あなたのための、人権	車いすファッション ジャーナリスト 徳永 啓太 他	20	14	11	25	89.2
計					205	214	168	275	-

青少年プラザ

期間 主な時間	主な曜日	回数	講座名	講師（敬称略）	定員	応募者数	参加者数	延べ参加者数	出席率
5月19日～ 3月16日 14:00～16:00	日	25	クリエイターズプロジェクトめぐろ	ダンス指導者 中元 彩南 他	25	25	22	262	64.1
5月26日～ 3月9日 10:30～12:30	日	21	ステップアップ講座～生活学習～	生活学習講師 久保田 隆志 他	35	20	18	340	89.9
6月8日～ 8月3日 13:30～15:30	土	5	小学5年生の理科クラブ（前期）	気象予報士、電気学会会員、お茶の水女子大学学生、くらりか（一般社団法人蔵前工業会） 他	24	70	24	87	72.5
9月21日～ 11月9日 13:30～15:30	土	5	小学5年生の理科クラブ（後期）		24	42	24	101	84.1
6月15日～ 11月30日 10:00～12:00	土	10	中学生のサイエンスクラブ	東京大学学生、気象予報士、電気学会会員、くらりか（一般社団法人蔵前工業会） 他	24	57	25	192	80.0

期間 主な時間	主な 曜日	回 数	講座名	講師（敬称略）	定 員	応募 者数	参加 者数	延べ参 加者数	出席率
6月9日～ 1月12日 13:30～15:30	日	5	ステップアップ講 座～文化サークル ～	有限会社 劇団朋友 西海 真理 他	20	16	16	69	86.0
6月23日～ 1月26日 13:30～15:30	日	5	ステップアップ講 座～運動サークル ～	株式会社 SCJ 角崎 晃司 他	20	17	17	73	86.0
8月10日・ *17日・24日 13:30～15:30 *11:30～15:30	土	3	『子ども食堂』か ら見ためぐろの 『居場所』 ～聞いてみて知っ てみよう～	NPO 法人こどもば 横山 誠 すずめ食堂 神代 洋一 なかよし食堂 イン克蘭 裕美	20	29	25	52	69.3
11月9日 10:00～15:00	土	1	人工知能の今 ～AI の基礎から 生成 AI まで～	東京大学大学院工学 系研究科システム創 成学専攻教授 鳥海 不二夫	30	74	31	47	73.3
11月30日 13:30～15:30	土	1	青少年健全育成事 業～心の方程式で ひも解く「不登 校」～	子育て研究家・心理 カウンセラー 田中 早苗	30	43	22	22	73.3
12月1日 10:30～12:00 14:00～15:30	日	2	理数教育体験学習 事業「マヨネーズ を作って乳化を学 ぼう」	ディレクトフォース 実験グループ 赤堀 智行 他	24	130	48	48	91.6
12月15日 13:00～17:00	日	1	高校生と考えるダ イバーシティ	文教大学准教授 青山 鉄兵 公立小学校非常勤講師 鈴木 茂義	20	15	6	6	85.7
計					296	538	278	1,299	-

利用者懇談会・館まつり等

会場	利用者懇談会	館まつり	その他
	開催日・参加団体数等		開催日・参加人数等
東山社会教育館	11月9日(土) 8団体 (8人)	11月2日(土)・3日(日) 24団体	-
目黒区民センター 社会教育館	11月16日(土) 10団体 (10人)	-	-
中央町社会教育館	3月16日(日) 23団体 (24人)	3月1日(土)・2日(日) 20団体	-
目黒本町社会教育館	11月15日(金) 28団体 (28人)	11月9日(土)・10日(日) 21団体	-
緑が丘文化会館	11月9日 (土) 24団体 (31人)	(緑が丘文化祭 2025) 2月23日 (日) 30団体	陶芸団体懇談会 11月27日(水) 3団体(3人)
青少年プラザ	2月15日 (土) 6団体 (7人)	2月1日(土)・2日(日) 20団体	-

4 団体育成・援助

団体活動の充実・発展に資することを目的として、団体の行う各種研修会や大会・つどい等に指導者・講師の派遣等により援助しました。

社会教育関係団体の登録数は次のとおりです。

社会教育関係団体登録数

(令和7年3月31日現在)

施設 区分	東山 社会教育館	目黒区民センター 社会教育館	中央町 社会教育館	目黒本町 社会教育館	緑が丘 文化会館	青少年 プラザ	計
青少年団体A	0	2	0	0	0	2	4
青少年団体B	10	10	15	24	21	21	101
成人団体	64	84	136	115	163	30	592
計	74	96	151	139	184	53	697

(事業開始：昭和36年度)

※青少年団体Aは会員全員が18歳以下で構成されている団体、青少年団体Bは会員の半数以上が30歳以下で構成されている団体、成人団体は青少年団体A及び青少年団体Bに該当しない団体

(1) 団体育成

ア 団体育成(青少年)

区内で全域的な組織をもつ青少年団体(ボーイスカウト目黒区協議会・目黒区子ども会連合会等)が主催する交流事業のほか青少年健全育成団体による自然体験活動を援助しました。

事業名	実施日・会場	内容	参加者数
青少年健全育成団体自然体験活動支援事業	7月27日(土)～8月18日(日) 清東園キャンプ場ほか3か所	青少年健全育成団体を支援するために、夏季に自然体験活動を行う4団体に貸切バスを提供した。	170
目黒区ボーイスカウトフェスティバル(山手地区ラリー)	10月27日(日) 五本木小学校	団体や区内の子どもたちを対象に、災害をテーマに掲げ、各種プログラムの体験を通して、お互いの交流を深めた。	200
子ども会交流会	11月3日(日・祝) 五本木小学校	子ども会会員と地域の青少年を対象に、青少年相互の親睦を図るため、運動会、ゲームを実施した。	217
計			587

イ 団体育成(成人)

成人団体(めぐろ学習グループ連絡会)が主催する次の事業に対し指導者派遣等の方法により援助しました。

事業名	実施日・会場	内容	参加者数
めぐろ学習グループ連絡会	合同研修会 10月19日(土)～ 11月30日(土) 緑が丘文化会館 他(4回)	「平和と人権」	延べ 81

※婦人団体連合会は令和5年度に解散

(事業開始：昭和43年度)

ウ 申請社会教育学級

継続的学習を行う自主的グループに、団体活動の発展を図ることを目的として、指導者等の派遣を行いました。

団体			団体数		当初会員 数合計	延べ会員参 加者数合計	延べ公募参 加者数合計	延べ参加 者数合計
			新規					
未 結 満 成 の 後 団 5 体 年	社 会 教 育 関 係 団 体	青少年団体A (会員全員が 18 歳以下で構成)	0		0	0	0	0
		青少年団体B (会員の半数以上が 30 歳以下で構成)	0		0	0	0	0
		成人団体	3		41	792	20	812
		その他の団体	1	(1)	26	288	74	362
		小計	4	(1)	67	1,080	94	1,174
団 体 課 題 学 習		家庭教育について学習する団体	0		0	0	0	0
		人権尊重について学習する団体	0		0	0	0	0
		小計	0		0	0	0	0
総計			4	(1)	67	1,080	94	1,174

※「公募参加者数」は中途参加者・見学者数をいう。()内は、新規団体数で内数

(事業開始:昭和 63 年度)

エ 生涯学習区職員派遣制度(区職員活用しま専科)

区の施策に関する、身近な問題から専門的な内容までの講座を用意して、区職員が区民の皆さんのもとに出向き、区の取組について話をしました。

実施回数 10 回 参加人数 341 人

(2) 指導者育成

区内社会教育関係団体の指導的役割を担う方々を対象として、団体別に各種の研修を行いました。

ア 青少年団体

目黒区子ども会連合会が主催する青少年団体の育成者、指導者、実技指導者の研修事業に対し、指導者派遣の方法により援助しました。

青少年団体研修

事業名	実施日・会場	内容	講師	参加者数
子ども会班長・ジュニアリーダー研修会	5 月 26 日(日)～ 2 月 16 日(日) 延べ 7 回 鷹番住区センター 他	小学校 4 年生から高校 3 年生を対象に、子ども会活動の企画・指導技術・実際活動を習得した。	—	延べ 143
子ども会育成者指導者研修会	3 月 5 日(水) 中央町社会教育館	子ども会の育成者・指導者が地域の子ども会活動を進める上での理論と実技を学習した。	指導者 田代 悠	10
子ども会班長ジュニアリーダー日帰り研修会	3 月 30 日(日) コテージ森林村 (東京都あきる野市)	自然の中での集団生活で協力することの大切さを実感した。バウムクーヘン作りを行った。	—	20
計				173

イ 成人団体

区内社会教育関係団体の指導的役割を担う方々を対象として、団体別に各種の研修を行いました。
小学校PTA連合会・中学校PTA連合会等に対し、会場提供等により支援しました。

	事業名	日時・場所	内容	講師・助言者	参加者
小学校PTA	全体研修会	5月11日(土) 目黒区総合庁舎 大会議室	「生き残るための防災教育 ～家庭と学校の連携～」	安全教育株式会社主席 指導官 佐伯 潤	70
	部会別 ブロック研修会 (5ブロック)	3月9日(日) 東山社会教育館	第1ブロック 「学校とPTAと保護者の関わりについて」	区立小学校長 区立小学校PTA会長 他	51
		アンケート実施	第2ブロック 「多様化する保護者の状況に対応したPTAのあり方」		
		10月11日(金) 油面小学校	第3ブロック 「つながり」		
		6月18日(火) 8月30日(金) 区内飲食店	第4ブロック 「運動会の反省及び夏のイベントに向けての情報共有」		
		—	第5ブロック 開催なし	—	
	代表者研修会	9月7日(土) 中目黒スクエア	「大人の笑顔が輝くPTAをめざして」、 「学校の働き方改革」	PTA会長代表 校長代表 他	45
	部会別合同研修会	開催休止			—
中学校PTA	役員運営者研修会	9月書面開催	「PTAアップデート」	—	—
	代表者研修会	開催休止			—
		計6事業			166

※社会教育団体連絡会は令和6年度に解散

5 学習相談等

各社会教育館、緑が丘文化会館、青少年プラザ、生涯学習課において、社会教育主事や社会教育指導員が学習に関する区民からの相談に応じています。

令和6年度は、来庁、電話、メールなどの方法で、『団体に入りたい』、『〇〇について学びたい』、『団体の会員を増やしたい』、『団体を作りたい』などの相談がありました。

Ⅲ 図書館

1 図書館の概要

区立図書館の基本は、全ての区民に開かれた施設、区民の自由な学習の場・憩いの場として、地域における生涯学習を推進し、多様化・高度化する学習に必要な資料・情報を的確に提供していくことにあります。また、少子高齢社会の中で、グローバル化や高度情報化の進展、インクルーシブ社会の形成に向けた取組など、直面する様々な課題や多様化する区民ニーズに適切に対応することが求められています。

区では、平成 14 年 9 月に開館した八雲中央図書館を中央館として図書館情報システムにより全 8 館の資料を有機的・効率的に統合し、区内全ての地域に図書館サービスを効果的に提供するための全域サービス網を構築しています。

また、平成 29 年 4 月に、区立図書館のあるべき姿・方向性を示す目黒区立図書館基本方針を策定し、令和 5 年 3 月には、新たな目黒区基本構想及び基本計画に合わせ、基本方針を改定しました。

図書館施設の概要

図書館名	設立年月	所在地	位置付け	面積
八雲中央	平成 14 年 9 月	八雲 1-1-1	中央館	3,020 m ²
大橋	昭和 45 年 4 月（平成 25 年 2 月移転）	大橋 1-5-1	分館	1,168 m ²
中目黒駅前	昭和 52 年 5 月（平成 14 年 5 月移転）	上目黒 2-1-3	分館	383 m ²
目黒区民センター	昭和 49 年 8 月（平成 5 年 4 月改修）	目黒 2-4-36	分館	1,339 m ²
守屋	昭和 27 年 4 月（平成 3 年 2 月改築）	五本木 2-20-15	分館	1,282 m ²
目黒本町	昭和 56 年 12 月	目黒本町 2-1-20	分館	1,005 m ²
洗足	昭和 63 年 7 月	洗足 2-8-26	分館	517 m ²
緑が丘	昭和 49 年 6 月（平成 6 年 4 月改修）	緑が丘 2-14-23	分館	893 m ²
計				9,607 m ²

図書館の貸出・閲覧サービス

個人貸出	<ul style="list-style-type: none"> ・対 象 者…どちらにお住まいの方でも借りることができます。 ・登録手続き…申込書に記入のうえ、本人確認書類を提示していただきます。 ・貸 出 券…登録をした方に全館共通の貸出券を交付します。 ・資料の貸出…貸出点数は一人当たり 20 点以内、貸出期間は 2 週間です。 ・郵送貸出…図書・雑誌をご自宅に郵送します（送料自己負担）。
その他の貸出・閲覧サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・団体貸出……登録団体に対し、1 回に 300 点、3 か月間まで貸出可能です。 ・障害者サービス…図書館利用に障害がある方に自宅への配本・郵送サービスを行うほか、大活字本・声の図書等を各図書館で提供します。 ・複写サービス……所蔵資料を 1 人 1 か所につき 1 枚複写できます。 ・レファレンスサービス…読書支援（資料検索等）、調査支援（資料や情報検索等）、利用支援（利用案内や検索方法の案内等） ・相互協力サービス……区民の方を対象に、他区市町村立・都立・国立国会図書館の本を借用し、提供します。 ・おはなし会…絵本やかみしばいの読み聞かせをします。 ・図書館ウェブサイトや利用者用検索機（さんまくん）を利用した蔵書検索、予約、利用状況の確認など。 ・インターネットパソコンの設置（八雲中央・大橋・中目黒駅前図書館） ・データベース、国立国会図書館のデジタル化資料閲覧及び複写（八雲中央図書館） ・国立国会図書館提供の歴史的音源の視聴（八雲中央・大橋図書館） ・めぐろ電子図書館…区民の方を対象に電子書籍を貸出します。貸出点数は一人当たり 2 点以内、貸出期間は 2 週間です。 ・閲覧席予約システム（八雲中央・大橋・目黒区民センター・守屋・緑が丘図書館）

開館時間

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

館		八雲中央	大橋	中目黒駅前	目黒区民センター 守屋・目黒本町 洗足・緑が丘
時 間 開 館	月曜 (第一月曜を除く。)	9:00～21:00	9:00～19:00	休館日	
	火曜から土曜	9:00～21:00	9:00～19:00	10:00～21:45	9:00～19:00
	日曜・休日	9:00～17:00		10:00～18:00	9:00～17:00
休館日		毎週月曜日(八雲中央図書館・大橋図書館は毎月第一月曜日)、年末年始、蔵書点検期間			

利用概要の推移

年 度	館 数	人 口	蔵書数	登録者数	貸出者数	貸出点数	予約点数	蔵書率	登録率	貸出密度	実質貸出密度
27	8	272,478	1,167,758	134,188	1,310,406	4,391,555	1,254,508	4.29	49.2	16.12	32.73
28	8	275,278	1,171,916	125,085	1,279,918	4,294,870	1,232,995	4.26	45.4	15.6	34.34
29	8	277,803	1,184,598	126,467	1,223,080	4,133,416	1,192,583	4.26	45.5	14.88	32.68
30	8	280,241	1,195,070	119,484	1,192,668	4,082,730	1,202,001	4.26	42.6	14.57	34.17
元	8	282,628	1,198,776	116,045	1,167,479	3,983,610	1,240,707	4.24	41.1	14.09	34.33
2	8	281,093	1,188,196	110,137	908,824	3,146,014	1,153,966	4.23	39.2	11.19	28.56
3	8	278,415	1,176,304	105,441	1,087,741	3,808,251	1,361,371	4.23	37.9	13.68	36.12
4	8	279,251	1,181,851	103,498	1,071,538	3,779,355	1,206,475	4.23	37.1	13.53	36.52
5	8	280,126	1,177,063	102,269	1,069,983	3,726,741	1,176,251	4.20	36.5	13.30	36.44
6	8	282,281	1,141,866	102,410	1,050,637	3,627,743	1,143,008	4.05	36.3	12.85	35.42

※・人口＝翌年度 4 月 1 日現在目黒区住民基本台帳人口

(住民基本台帳法の改正により外国人住民を含む。)

- ・登録者数＝区外在住者含む。一定期間未利用の登録者データを削除。
- ・蔵書率＝蔵書数／人口 (区民一人当たりの蔵書数)
- ・登録率＝登録者数／人口 (%) 登録者数は区外在住者を含む。
(最新年度の目黒区民の登録率は、3 個人貸出(2)登録に記載)
- ・貸出密度＝貸出点数／人口 (区民一人当たりの貸出点数)
- ・実質貸出密度＝貸出点数／登録者数 (登録者一人当たりの貸出点数)

2 図書館資料

図書館資料には、図書・雑誌・新聞のほか、CD・障害者サービス用資料などがあり、図書は約 114 万点を所蔵しています。図書館資料は全館共有の資料として、利用者が予約した資料を指定した図書館で受け取ることができるサービスを行っています。

この仕組みを支えるため、①図書館情報システムによる資料情報の一元的管理(目黒区立図書館資料総合目録)②利用者用検索機と図書館ウェブサイトを活用した資料検索と予約サービス③全館への速やかな資料の運搬(配本車の運行)の 3 点を整備しています。

令和 6 年度の購入資料数は、図書(一般・児童・外国語)43,066 点、雑誌 659 誌、新聞 47 紙、障害者・高齢者向け資料 188 点となっています。

利用者のライフスタイルの多様化やDX(デジタルトランスフォーメーション)の進展等により情報への要望も多様化しているため、資料の構成もこれに応じた整備が求められています。

また、区立図書館では平成 29 年 12 月から図書館資料の充実のために、指定寄付金(ふるさと納税)を活用して資料購入を行っています。令和 6 年度は、346 万円を超えるご寄付をいただき、「日々の暮らしの見直し」をテーマに 1,643 冊を購入しました(購入金額合計 3,537,426 円)。

なお、令和 2 年度より図書除菌機を全館に設置しています。

資料所蔵状況

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

区分		八雲 中央	大橋	中目黒 駅前	目黒区民 センター	守屋	目黒 本町	洗足	緑が丘	計
図書		385,809	116,200	52,922	110,016	142,274	104,261	66,620	163,764	1,141,866
内 訳	一般	328,297	87,079	41,749	82,231	106,269	72,694	44,753	85,390	848,462
	児童	50,712	25,595	9,032	23,647	25,980	27,697	19,263	75,570	257,496
	コミック	2,870	2,025	1,327	1,682	2,375	2,433	1,466	1,318	15,496
	外国語	3,930	1,501	814	2,456	7,650	1,437	1,138	1,486	20,412
雑誌		292	98	64	139	110	119	94	110	1,026 (759)
新聞等		86	18	14	38	20	20	17	29	242 (106)
C D		2,822	2,626	2,075	18,420	3,150	2,240	1,972	2,594	35,899
おもちゃ		31	15	11	112	8	218	54	10	459

※雑誌、新聞等の合計数は、各館で重複所蔵しているものを含む。全館でのタイトル数は雑誌 759 誌、新聞 106 紙

(1) 図書

図書の受入点数は 49,313 点、除籍点数は 84,510 点、令和 7 年 3 月 31 日現在の蔵書は全館あわせて 1,141,866 点で、前年に比べて 35,197 点（3%）の減少となりました。

大幅な減少となったのは、今後予定されている目黒区民センター図書館の建て替えに伴い、図書館全体の資料構成を見直しているためです。

蔵書の内訳は、一般書が全体の 74.3%、児童書が 22.6%を占めており、一般書の内訳では文学が 33.2%を占めています。一般書と児童書の構成比、文学の割合は前年度とほぼ同様となっています。

(2) 逐次刊行物（雑誌・新聞等）

逐次刊行物のうち、雑誌は全館で 1,026 部（759 誌）を揃えています。新聞等は全館で 242 部（106 紙）となっています。

(3) 聴覚資料（C D）

C Dは洗足図書館で昭和 63 年度から貸出を開始して以来、全館で貸出サービスを実施しています。

平成 16 年 6 月から C Dの新規購入を取り止めています。令和 7 年 3 月 31 日現在の所蔵数は 35,899 組です。

(4) おもちゃ

区立図書館では、昭和 62 年度よりおもちゃを所蔵し貸出をしています。令和 7 年 3 月 31 日現在の所蔵数は 459 点となっています。

3 個人利用

令和 6 年 12 月から、目黒区民の方に対し、区立図書館に所蔵のない資料に対する要望を、図書館ウェブサイトで申し込みできる「Web リクエストサービス」を開始しました。ご要望にお応えして目黒区の図書館の蔵書とする場合には、リクエストから予約への振替を行います。

また、令和 7 年 2 月から新規登録申し込みを図書館ウェブサイトで申し込み、窓口で申込書を記入せずに貸出券の発行を受けることができる利用登録 Web 申請を開始しました。

(1) 利用状況
個人利用の概要

区分		八雲中央	大橋	中目黒駅前	目黒区民センター	守屋	目黒本町	洗足	緑が丘	計
開館日数		342	344	305	304	304	304	305	304	2, 512
来館者数		446, 649	310, 357	207, 590	165, 417	160, 582	139, 858	104, 459	211, 426	1, 746, 338
登録者数		29, 201	15, 328	12, 794	11, 662	9, 018	8, 910	5, 875	9, 622	102, 410
貸出者数		204, 127	156, 554	160, 200	100, 627	114, 250	108, 546	78, 921	127, 422	1, 050, 637
同（1日平均）		597	455	525	331	376	357	259	419	3, 319
貸出点数		750, 151	566, 307	457, 436	356, 494	382, 527	404, 286	275, 350	435, 192	3, 627, 743
内訳	図書雑誌	740, 371	553, 903	440, 315	335, 725	372, 372	396, 091	267, 547	422, 776	3, 529, 100
	聴覚資料	9, 624	12, 488	17, 080	20, 521	10, 108	10, 995	7, 582	12, 412	100, 810
	その他	170	80	41	248	47	63	221	4	874
同（1日平均）		2, 193	1, 646	1, 500	1, 173	1, 258	1, 330	903	1, 432	11, 435
予約点数		195, 431	162, 556	184, 928	122, 245	126, 152	122, 584	88, 270	140, 842	1, 143, 008

(2) 利用登録

新規登録者数は15,661人と前年度の15,764人よりわずかに減少しています。しかし、5年以上貸出等を利用していない利用者の登録情報の削除を定期的に行っているながらも、全体の登録者数は前年度の102,269人と比べ、102,410人と同程度の数を保っています。

住区別登録者数

(令和7年3月31日現在)

区分					区分				
区分		登録者数	人口	登録率	区分		登録者数	人口	登録率
北部	駒場	2,467	11,416	21.6%	南部	月光原	2,707	12,584	21.5%
	菅刈	2,451	11,881	20.6%		向原	1,668	10,711	15.6%
	東山	4,727	13,630	34.7%		碑	2,010	8,877	22.6%
	烏森	2,264	9,892	22.9%		原町	2,698	11,276	23.9%
	計	11,909	46,819	25.4%		大岡山東	1,676	7,377	22.7%
東部	中目黒	3,867	16,590	23.3%	西部	計	10,759	50,825	21.2%
	田道	2,546	13,102	19.4%		大岡山西	2,435	11,176	21.8%
	下目黒	2,932	15,526	18.9%		中根	2,995	12,917	23.2%
	不動	2,966	13,469	22.0%		自由が丘	3,691	15,265	24.2%
	計	12,311	58,687	21.0%		八雲	3,793	13,184	28.8%
中央	上目黒	2,720	13,062	20.8%		東根	4,964	17,898	27.7%
	油面	2,655	13,521	19.6%		計	17,878	70,440	25.4%
	五本木	2,706	11,722	23.1%	区内登録者	63,989	282,281	22.7%	
	鷹番	3,051	17,205	17.7%	区外登録者	38,421	-	-	
	計	11,132	55,510	20.1%	合計	102,410	-	-	

※人口＝翌年度4月1日現在目黒区住民基本台帳人口

(3) 予約・相互協力

ア 予約状況

予約点数は、前年度比 97.5%となっています。

また、全貸出点数に対する予約による貸出点数の割合は 31.5%です。

図書館別・提供方法別件数

区分	八雲中央	大橋	中目黒駅前	目黒区民センター	守屋	目黒本町	洗足	緑が丘	計
予約点数	195,431	162,556	184,928	122,245	126,152	122,584	88,270	140,842	1,143,008
提供点数	195,407	162,534	184,898	122,224	126,138	122,543	88,258	140,823	1,142,825
うちCD等	3,442	5,313	10,127	10,278	3,925	2,759	3,261	5,801	44,906
返却待ち	204,713	169,590	187,912	119,619	128,782	123,621	92,128	136,070	1,162,435
借用	1,429	625	888	441	562	592	471	357	5,365
購入	1,683	1,091	1,424	850	871	871	620	1,026	8,436
未提供等	24	22	30	21	14	41	12	19	183

※比率：返却待ち 98.8%、借用 0.5%、購入 0.7%

イ 図書館相互協力

目黒区民の方を対象に相互貸借サービスにより資料を提供しています。他自治体の図書館との相互協力により、多様な資料要求に応じています。

他図書館への貸出実績は、前年度比 90.7%と減少しました。また、他図書館からの借受実績は、前年度比 96.9%と減少しました。

資料貸出・借受の状況

区分	八雲中央	大橋	中目黒駅前	目黒区民センター	守屋	目黒本町	洗足	緑が丘	計
貸出実績	14,494	0	0	0	0	13	0	0	14,507
借受実績	1,429	625	888	441	562	592	471	357	5,365
内訳	都立図書館	81	40	65	28	29	31	40	347
	国会図書館	9	0	0	0	0	0	0	9
	他図書館	1,339	585	823	413	533	561	431	5,009

(4) 閲覧席予約システム

令和 5 年 1 月 10 日から 5 館で閲覧席予約システムの運用を開始しました。1 回当たりの利用時間を区切ることで、より多くの方が閲覧席を利用できるようにしました。令和 5 年 7 月からは利用したい席の場所を利用者自身が指定できるよう運用を変更しました。

令和 6 年度の利用回数

館	八雲中央	大橋	目黒区民センター	守屋	緑が丘	全館計
利用回数	67,686	35,415	9,852	3,472	14,126	130,551
対象席数	48	24	18	6	10	106

※対象席数は、八雲中央図書館のインターネット閲覧 3 席とデータベース閲覧 1 席、大橋図書館のインターネット閲覧 1 席を除く。

4 団体貸出

地域の登録団体に対して読書活動の推進及び調べ学習の支援を目的として団体貸出を行っています。令和6年度は登録団体に対して合計で41,491点の貸出を行いました。

そのうち、学校及び児童館・学童保育クラブ等に対しては、定期貸出（1年間貸出）として21,130点、調べ学習向けのテーマ別貸出（1か月間貸出）として2,618点の貸出を行いました。

登録団体内訳

（令和7年3月31日現在）

区分	団体数	区分	団体数	区分	団体数	区分	団体数
地域文庫	4	公共施設	43	幼稚園・保育園	68	企業	2
福祉施設・団体	15	民間施設	14	学校（調べ学習）	195	学校（定期団体貸出）	400
その他	50	計	791				

団体貸出の推移

年度	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6
登録団体	1,021	917	1,045	1,045	962	931	762	775	753	791
貸出点数	36,239	42,116	38,615	44,506	43,716	43,006	37,103	42,409	42,319	41,491

※平成27年度から学校（定期団体貸出）の区分について1学級につき1団体として登録を計上

5 めぐろ電子図書館

令和3年7月から非来館型サービスとして、「めぐろ電子図書館」を開設し、電子書籍の貸出・閲覧サービスを開始しました。令和5年1月には、図書館情報システムとの連携を行いました。図書館に登録をしている目黒区在住の利用者の方は、ご自宅のパソコンや、スマートフォンなどからインターネット経由で電子書籍の貸出・閲覧ができます。文字の拡大や音声読み上げなど電子書籍の特徴を活かせる資料を計画的に購入し、電子図書館に特集リストを掲載することにより、利用の促進を図っています。

4年度以降の利用登録者数が3年度に比べ、10倍近く大幅に増加しているのは、図書館情報システムとの連携により、区内登録者と同数となるためです。

また、電子図書館資料の充実を図るとともに、資料の長期保存や資料相談等の充実を目的として、地域資料10点（内訳：地図8点、図書2点）のデジタル化を行い、電子図書館上で公開しました。

電子図書館利用の推移

年度	登録者数	貸出数	予約数	コンテンツ数
3	6,249	11,193	5,867	9,775
4	64,826	10,133	3,142	11,728
5	63,772	10,647	2,981	11,964
6	63,989	10,846	2,695	13,555

6 図書館利用に障害のある方々へのサービス

身体の障害や高齢又は、身体の障害はなくても文章を読むことが困難など、通常の図書館利用が困難な方々を対象に、昭和57年より障害者サービスとして障害の内容に応じた資料の提供（録音・点字図書、布の絵本、大活字図書など）や、対面朗読サービス、来館困難者に対する配本・郵送サービスを実施しています。

録音資料や点字資料の作成・対面朗読は、障害者サービス協力員の協力のもと行っています。

なお、録音資料の作成については、障害者サービス協力団体と協働事業の協定を結んで行っています。

(1) 資料
所蔵状況

(令和7年3月31日現在)

区分	録音図書・録音雑誌				マルチメディア デージー図書		点字 ・絵本 ・図書 ・雑誌	さわる 絵本 布の 遊具
	テープ・CD		デージー					
	目黒区 作成	購入・ 寄贈	目黒区 作成	購入・ 寄贈	目黒区 作成	購入・ 寄贈		
所蔵数	1,105 タイトル	415 タイトル	644 タイトル	270 タイトル	0 タイトル	261 タイトル	350 タイトル	183 点
(受入数)	(0) タイトル	(0) タイトル	(16) タイトル	(33) タイトル	(0) タイトル	(35) タイトル	(20) タイトル	(0) 点
計	1,520 タイトル		914 タイトル		261 タイトル		350 タイトル	183 点

※録音図書＝著作権法の規定により、一般の図書等の活字資料を読むことができない方に限定して
利用する目的で作成された録音資料

※マルチメディアデージー図書の受入は、教科書の副読本が販売され購入

※(受入数)は、所蔵数のうち令和6年度に新規で受け入れた数

(2) 登録

登録者の状況

(令和7年3月31日現在)

区分	登録者数	障害別内訳		
		視覚障害	肢体不自由	その他
個人	147 人	56 人	57 人	34 人
団体	30 団体	—	—	—

※個人は視覚障害と肢体不自由など障害重複者6人含む

(3) 利用

ア 資料貸出

区分	録音図書・録音雑誌		マルチメディア デージー図書	点字(絵本 図書雑誌)	さわる絵本 布の遊具
	テープ・CD	デージー			
貸出点数	1 タイトル	2,846 タイトル	4 タイトル	82 タイトル	36 点

イ 区外図書館、機関との相互貸借

区分	録音図書・録音雑誌		点字図書 点字雑誌
	テープ・CD	デージー	
貸出	9 タイトル	218 タイトル	11 タイトル
ダウンロード*1	—	3,881 回	—
借用*2	1 タイトル	2,765 タイトル	8 タイトル

*1 国立国会図書館に納本した目黒区立図書館作成デージーを、障害者や図書館がサピエ及び国立国会図書館からダウンロードして利用した回数。

*2 借用はサピエ及び国立国会図書館からのダウンロードを含む。

*マルチメディアデージーの区外図書館、機関との相互貸借の実績なし。

ウ 個別サービス

区分	配本	郵送貸出	対面朗読	音訳	点訳	拡大写本
利用数	延 398 回 2,406 タイトル	2,291 タイトル	延 120 回 240 時間	280 分	0 枚	0 枚

7 行事・催物

(1) 利用者懇談会の開催

区民・利用者の声を図書館の事業運営に反映するため、利用者懇談会を毎年度開催しています。

	日 時	テーマ	開催場所	参加者数
第一回	令和 6 年 7 月 10 日 (水) 午後 6 時 30 分～8 時 30 分	大橋図書館見学と懇談	北部地区サービス 事務所会議室	9 人
第二回	令和 6 年 11 月 9 日 (土) 午前 9 時 30 分～11 時 30 分	八雲中央図書館バックヤード ツアーと懇談	八雲中央図書館会 議室	23 人
第三回	令和 7 年 3 月 20 日 (木・祝) 午前 10 時 00 分～11 時 30 分	今年度の図書館事業について	目黒本町社会教育 館レクリエーショ ンホール	9 人

(2) 図書館行事の開催

ア おはなし会

各館では児童・乳幼児に対する絵本の読み聞かせを中心におはなし会を実施しています。読書活動が子どもの健やかな成長に不可欠なものであることから、「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成 13 年 12 月に公布・施行）に基づき策定した「目黒区子ども読書活動推進のための方針」（平成 16 年 2 月策定、平成 21 年 3 月に改定）により、全ての子どもが自主的に読書活動を行うことができるよう、読書のための環境の整備を推進しています。令和 6 年度は、おはなし会を全館で開催し、計 261 回開催し、延べ 2,617 人の参加がありました。

なお、大橋図書館では、隣接する天空庭園を活用し、5 月と 11 月に延べ 4 回の青空おはなし会を行い、多くの方にご参加いただきました。

イ 学校訪問

各館で開催するおはなし会とは別に、学校からの要望に基づいて児童サービス担当者が小学校などに出張して行う出張おはなし会やブックトーク、図書館に関する講習会等を行っています。令和 6 年度は要望がなかったため行いませんでした。

ウ 図書館訪問

区内の小学校及び中学校等の児童や生徒がクラスごとや学年ごとに近くの図書館を訪問し、見学、調べ学習等を行っています。令和 6 年度は、一部の館で 17 回受け入れました。

エ 職場体験

区内中学校及び区内在住の中・高等学校の生徒が地域での仕事を体験する職場体験を受け入れています。令和 6 年度は合計で 46 人の生徒を受け入れました。

オ 再利用選定会

資料の有効活用に関する取組の一環として、区立図書館で除籍した児童資料（図書・絵本・紙芝居等）を区内児童施設、地域文庫等へ提供しているものです。令和 2 年度から 4 年度はコロナ禍のため中止しました。代わりに事前に申し込みのあった団体（区立施設のみ。）に対して図書館職員が見繕った資料を各施設へ配送しました。

令和 6 年度は、再利用に供するための資料が、過去に用意できた資料冊数に達しなかったことから、目黒区内を目黒地区と碑文谷地区の 2 地区に分け、令和 6 年度は目黒地区の団体を対象に 11 月 22 日に八雲中央図書館会議室にて実施しました。

合計で 34 団体から申し込みがあり、約 2,150 点を提供し、児童資料の有効活用を図りました。碑文谷地区の施設を対象とした再利用選定会は令和 7 年度に開催予定です。

カ 読み聞かせボランティアの育成

読み聞かせボランティアの育成・支援を目的として、絵本等の読み聞かせに関する講座を例年開催しています。令和6年度は、ボランティア活動に興味のある方を対象とした「読み聞かせボランティア活動のための講座」を3回、「読み聞かせボランティア活動のためのブラッシュアップ研修」を1回の計4回開催しました。

キ 中高生向けPR

YA広報誌「OMAKE no いっぱい」は中高生に向けた本の情報などの内容をボランティアで編集・発行しています。例年は毎月編集会議を開催し、年3回発行していましたが、令和4年度以降活動を休止し、他のPR方法を検討中です。

ク 夏季休暇期間の各小・中学校の調べ学習支援

令和2年度から児童・生徒の調べ学習用ワークシートを作成し、図書館ウェブサイト上でワークシートのファイル、調べ学習支援用おすすめリスト等を掲載しました。また、令和6年度から「調べるヒント」という調べ学習支援用のページを追加し、図書館の活用方法、調べる方法、パスファインダー8点等をまとめて掲載しています。

ケ こどもの読書週間・夏季休暇期間・読書週間イベント

こどもの読書週間(4月23日から5月12日まで)、夏季休暇期間(7月20日から8月31日まで)、読書週間(10月27日から11月9日まで)の期間中に、各図書館で様々なイベントや特別展示を開催しました。

こどもの読書週間ではおはなし会やスタンプラリー、夏季休暇期間では図書館クイズラリーや図書館バックヤードツアー、読書週間では電子図書館の体験会、絵本の多言語おはなし会、本を題材にしたクロスワードパズル、ブラインドブック(本の内容がわからない状態で貸出を行う)などを行いました。

8 その他の事業

(1) 図書館ウェブサイト及び利用者用検索機(さんまくん)

図書館ウェブサイトでは、図書館からのお知らせや利用案内、目黒区立図書館基本方針や沿革を掲載し、情報提供を行っています。また、図書館資料の検索や貸出等利用状況の確認ができます。

また、区内全8館に利用者用検索機(さんまくん)を計47台設置し、利用者が図書館資料を検索する際の利便性の向上を図っています。

図書館資料は、著者名や書名だけでなく図書や雑誌の目次等からも検索可能で、様々な項目やキーワードから目的の資料を探すことができます。また、出版情報の提供により、目黒区立図書館に所蔵していない図書も検索することができます。

(2) レファレンスサービス(参考調査・資料相談等)

レファレンスサービスは、利用者が資料や情報を求める際に、図書館職員が援助するサービスです。

内容は、読みたい資料を探す際の読書支援、資料や情報検索等の調査支援、利用案内や検索方法の案内等の図書館の利用支援があります。

区ではレファレンスサービスを、図書館業務の中で重要なサービスと位置付けていることから、全館に資料相談窓口、八雲中央図書館に資料相談専用電話を設け常時相談に応じています。

また、八雲中央図書館(設置台数3台)、大橋図書館(設置台数1台)及び中目黒駅前図書館(設置台数2台)には、インターネットに接続したパソコンを設置し、利用者自身でインターネット上の情報を調査できるサービスを実施しています。さらに、八雲中央図書館(設置台数1台)では新聞記事及び百科事典等のデータベース、国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスの閲覧・検索・複写ができます。令和6年度のデータベース閲覧利用は253件、データベース複写利用は69件でした。

(3) 複写サービス

各館では複写機を設置し、所蔵資料の複写サービスを有料で行っています。

複写サービスの実績

(単位：枚)

区分	八雲中央	大橋	中目黒駅前	目黒区民センター	守屋	目黒本町	洗足	緑が丘	合計	全館平均
年度計	60,116	14,046	14,152	7,247	11,925	10,342	8,532	18,798	145,158	18,145
月平均	5,010	1,171	1,179	604	994	862	711	1,567	12,098	1,512

(4) テーマ展示

季節の行事や最近の話題など、テーマを決めて図書の展示を行うことで、読書の幅を広げるきっかけになることを目的としています。区内の医療機関との連携、区の他所管における自殺予防や人権週間、認知症予防などの啓発事業との連携による展示、友好都市に関連する展示を実施しました。

開催テーマと開催状況

図書館名	内 容 等	回数
八雲中央	名著の旅に出よう、タバコとあなたの健康、お酒と健康、SNS、女性の「これまで」と「これから」、書評に載った本 など	43
大橋	すごいフランス、知りたい！肌のトラブルケア、心が温まる物語、飲み物になる植物、認知症、寒くなる前に免疫力アップ など	29
中目黒駅前	地政学的視点を養う、知的財産について学ぶ、故人を偲ぶ—2020 年代一、めくるめくミステリーの世界、青い世界に生きるものたち など	19
目黒区民センター	今日はこれからパン屋さんに、コミュニケーションのトリセツ、多忙な本のひと休み、世界を食べる、生活に彩りを など	24
守屋	晴ればれ、お金あれこれ、夏グルメ、ことば、旅する本、自分を磨く、心機一転 など	23
目黒本町	あの物語のあのごはん、たまには絵本、冒険しよう、愛される動物たち、家族、遠い昔の物語 など	19
洗足	花と緑〜春のガーデニング〜、酸いも辛いも旨い、好奇心研究所、From 北欧、好奇心研究所、山のスポーツ！海のスポーツ！ など	25
緑が丘	きのこを楽しむ、『学び』で人生をもっと豊かに、はにわ 土偶、3 か月を有効活用！、冷感と靈感の間に。 など	24
計		206

(5) 医療機関との連携事業

東邦大学医学メディアセンター、国立病院機構東京医療センター、東京医療保健大学図書館と目黒区立八雲中央図書館の4者は「めぐりぶ健康ネット」という組織をつくり、令和6年1月には「図書館資料等を活用した健康医療情報・保健福祉情報サービスに関する合意書」を締結しました。

各図書館が保有する資料及び情報の活用により、健康医療・保健福祉に関する地域の課題解決に資することができるよう連携事業を進めています。

主な連携事業として共同企画展示を実施しています。6年度は「お酒と健康」に関する企画展示を実施しました。公共図書館の幅広い蔵書を活かし、八雲中央図書館から相互協力の一環として企画に沿った資料の貸出しを行っています。

(6) 目黒区美術館との連携

目黒区美術館で開催の「武井武雄展」に合わせて目黒区民センター図書館で、7月27日に特別展示及びおはなし会「イルフな時間」を開催し、特別展示88名、おはなし会56名の参加がありました。

(7) 無線 LAN (Wi-Fi) サービス

令和6年1月（八雲中央図書館及び大橋図書館では2月）から、Wi-Fiを導入し、全館で無線 LAN サービスがご利用いただけるようになりました。

Ⅳ めぐるシティカレッジ

1 概要

区民の学習活動のニーズが多様化する中で、都立大学が目黒区から八王子市に移転したのを契機に、区民に新たな学習機会を提供できるシステムを構築していこうと、目黒区、都立大学、都立大学附属高校、東京都教育庁の四者が協力して、区民向けの講座「めぐるシティカレッジ」を平成7年に開設しました。

「めぐるシティカレッジ」は、区民の自発的学習意欲に基づく自己実現を支援するための学習機会を提供しようとするものです。単位や資格の取得を目的とするものではなく、生涯学習社会形成の一翼として区民の学習ニーズに対応する、質の高い学習の提供を目指しています。各分野の研究者を講師に招き、学ぶ意欲にあふれた受講生により、毎回熱意のこもった講座が展開されています。

(開設年度：平成7年度)

2 運営

現在は、任意団体「めぐるシティカレッジ振興会」が運営に当たり、目黒区教育委員会事務局に事務局を置いています。

3 講座内容

令和6年度実施

次のとおり、講座を企画し開講しました。新型コロナウイルス感染症が第5類に位置付けられたことにより、令和6年度から従来どおりの通年制に戻して、会場を目黒区中央町社会教育館で実施しました。

(単位：人)

講 座		主な内容等	定員	応募者数	受講者数
1	目黒学パート30 ～川と橋をめぐる～	地域や人・物を結ぶ橋。動脈となり、文明を生み出していった川。共に歴史の変遷に関わってきた川と橋について、現地実習を織り交ぜながら考察する。 令和6年4月～令和7年1月（全14回）	50	36	36
2	いま地球で何が起きているのか	人新世という時代名称が提唱されている今、私たちは、地球環境、情報化社会の変化の只中にある。これらの実態を認識し、生きる指針を探る。 令和6年4月～令和7年1月（全14回）	50	46	46
3	江戸時代の思想と現代	さまざまな思想が誕生し、互いに影響しながら衰退・発展を遂げた江戸時代。当時の思想家、人々は何を考えたのか。日本の近代化、現代に与えた影響を考える。 令和6年4月～令和7年1月（全14回）	50	39	39
4	見て回る 江戸・東京	東京を見て回ることで、江戸の面影を追憶し、東京の将来を展望することをベースに、武蔵野も含め、忠臣蔵、戦跡、水害などの視点から考察する。 令和6年4月～令和7年1月（全14回）	50	61	60
合 計			200	182	181

I 文化財の保護・保存

文化財は、私たちの祖先が営々と築いてきた文化遺産であり、ひとたび破損等があれば再現困難なかけがえのないものです。区では、このような文化財の保護・保存を図るとともに、区民が興味や関心を持つことによって、共有の貴重な文化遺産が後の世代に受け継がれていくよう文化財保護意識の向上を図るため、保護及び活用事業を実施しました。

1 文化財保護審議会

文化財保護審議会を令和7年3月7日に開催し、文化財保護の状況報告等を行いました。
委員の任期は2年で、委員は下表のとおりです。

第24期目黒区文化財保護審議会委員 (令和7年3月31日現在)

氏名	職業又は所属（専門）
折茂 克哉	東京大学大学院総合文化研究科・教養学部駒場博物館助教（郷土史）
小林 謙一	中央大学文学部教授（考古学）
佐々木 昌孝	ものづくり大学技能工芸学部教授（建築史）
関口 博巨	神奈川大学国際日本学部教授（日本近世史）
山本 勉	鎌倉国宝館長（日本彫刻史）
吉村 稔子	神田外語大学外国語学部教授（日本絵画史）

※任期は、令和5年6月1日から令和7年5月31日まで 計6人

2 文化財保護事業

目黒区内文化財めぐりを4回、文化財講座を1回実施しました。

区内文化財めぐり (単位：人)

実施日	コース	見学場所等	参加者
5月11日	自由が丘周辺	熊野神社、立源寺、東京工業大学ほか	29
6月8日	碑文谷周辺	カトリック碑文谷教会、目黒区古民家、円融寺ほか	30
10月26日	中目黒周辺	めぐろ歴史資料館、祐天寺、目黒区総合庁舎ほか	27
11月30日	青葉台周辺	西郷山公園、菅刈公園、氷川神社ほか	20
計			106

文化財講座「発掘された目黒～近年の調査成果から」

実施日	内容	参加者
11月9日	めぐろ歴史資料館の秋の企画展「新発掘速報展」と連携し、近年の区内発掘調査及び企画展の解説と、縄文土器等出土遺物の紹介	18

3 区指定文化財

令和6年度に新たに区指定文化財として指定したものはありませんでした。

4 埋蔵文化財発掘調査

令和6年度は、区が実施した調査として立会調査50件、試掘調査15件、本格調査2件、及び整理調査1件を実施しました。

本格調査の実施地点は氷川遺跡包蔵地内であり、古墳時代前期の竪穴住居跡 1 軒が検出されました。その他、茶屋坂遺跡（C 地点）からは小規模ですが、近代に作られた煉瓦製建物遺構 1 基が検出されたことにより、3 次元（3D）測量による本格調査を実施しました。

Ⅱ めぐる歴史資料館

目黒の歴史に関する理解を深め、区民の生涯学習の振興に寄与するとともに、広く教育、学術の向上と地域文化の発展に資するため、平成 20 年 9 月 21 日、第二中学校跡施設を改修した建物の 1 階に開館しました。

めぐる歴史資料館では、目黒区の歴史と文化に関する資料を収集、整理・保管・調査研究し、常設展示や企画展示で紹介するとともに、画像閲覧や学習相談、講演会・講座など、各種教育普及事業を行っています。企画画展や各種事業の開催等については、めぐる区報やウェブサイト等でお知らせしています。

1 事業概要

(1) 年間来館者数

開館日数	個人			団体			合計		
306	大人	子ども	計	大人	子ども	計	大人	子ども	計
	3,518	569	4,087	382	719	1,101	3,900	1,288	5,188

(2) 展示事業

めぐる歴史資料館ではこれまでに収集した所蔵資料や調査結果を踏まえ、「人、もの（資料）、情報」が結び付いた出会いと発見の展示を目指しています。

常設展示「目黒の歴史」では原始・古代から近・現代までの目黒の歴史や人びとの暮らしを時代順に振り返ることができるほか、縄文時代の竪穴住居の模式復元や、平成 3 年の調査で発見された新富士遺跡の「胎内洞穴」が発掘当時のまま再生展示されるなど、体感型展示も多く取り入れ、資料の展示入れ換えも随時行っています。また、収蔵資料や調査研究の成果を紹介する企画展を 2 回開催しました。

展示会名	会 期	開催日数	来館者数（人）
企画展 「目黒の戦後 地域、そして学びのあゆみ/新発掘速報展」	10 月 5 日（土） ～ 11 月 17 日（日）	38 日間	889 （内子ども 61）
企画展 「昔のくらしと道具展 一食にまつわる道具」	12 月 21 日（土） ～ 7 年 3 月 2 日（日）	57 日間	1,842 （内子ども 892）

※「子ども」は中学生以下を指します。

(3) 教育普及事業

ア 講演会・ワークショップ等

企画展に合わせて、展示説明会 2 回、体験会 5 回を実施し、体験や交流を通じた教育普及活動を展開しました。

名 称	内 容	開催日	参加者(人)
企画展 「目黒の戦後―地域、そして学びのあゆみ―」展示説明会	企画展「目黒の戦後 地域そして学びのあゆみ」の関連事業として展示説明会を実施した。(2 回実施)	10 月 19(土) 11 月 16(土)	10
企画展 「昔のくらしと道具展 一食にまつわる道具」体験会	氷式冷蔵庫を使用する体験会 (3 回実施)	7 年 1 月 11 日(土) 1 月 25 日(土) 2 月 15 日(土)	17
	石臼を挽く体験会 (2 回実施)	7 年 1 月 18 日(土) 2 月 8 日(土)	17

イ 学校等の授業利用

社会科見学（小学校第 3 学年）で昔の暮らしの体験や道具調べに、めぐろ歴史資料館が活用されています。令和 6 年度は 9 校が見学に訪れました。

(4) 資料の収集・保管

令和 6 年度受入資料

＜寄贈＞ 12 件 259 点 ＜寄託＞ 1 件 8 点

(5) 「めぐろデジタルミュージアム」の構築及び公開

新たな情報発信による啓発・普及事業の一環として、デジタル技術を活用したバーチャルミュージアムを構築し、令和 7 年 3 月 1 日より公開しました。

令和 6 年度サイトアクセス件数 5,681 件

2 古民家

歴史資料館の分館として、すずめのお宿緑地公園内（碑文谷三丁目）に江戸時代中頃の「年寄」の家（区指定文化財「旧栗山家主屋」）を復元公開し、節句飾り等の年中行事の再現や体験学習等の事業を行っています。

(1) 年間来館者数

開館日数	個人	団体	合計
265	9,742	875	10,617

(2) 年中行事等

行事名	日 程
五月人形・鯉幟飾り	4 月 20 日（土）～5 月 6 日（月）
七夕飾り	6 月 29 日（土）～7 月 7 日（日）
お月見	9 月 14 日（土）
すす払い	12 月 14 日（土）
正月飾り	12 月 26 日（木）～7 年 1 月 8 日（水）
雛人形飾り	7 年 2 月 1 日（土）～3 月 9 日（日）

(3) 体験学習等

名 称	開催日	講 師 等	参加者(人)
七夕飾りの製作指導	7 月 6 日（土）	めぐろ歴史資料館職員	66
七夕のお話会・民話	7 月 6 日（土）	ボランティアグループ（すばなしの会、八雲本読みグループ）	30
お月見のお話会・民話	9 月 14 日（土）	ボランティアグループ（すばなしの会、八雲本読みグループ）	72

※「七夕」及び「お月見」のお話会は、令和 4 年度までは新型コロナウイルス感染症の影響で対面での実施を中止していましたが、令和 5 年度に再開しました。

(4) 『東京 9 区 文化財古民家めぐり』（東京文化財ウィーク 2024 参加事業）

例年、東京文化財ウィーク期間中、都内で文化財古民家を管理する 9 区（足立・板橋・江戸川・北・江東・杉並・世田谷・練馬・目黒）合同で事業を実施しています。令和 6 年度は「古民家歳時季」を開催し、各古民家の季節毎の行事をパネルで紹介しました。

1 区立学校、園一覧

(令和 7 年 5 月 1 日現在)

略称説明		
教…教員(校長含む。)	児…児童指導	[]日本語国際学級(内数)
事…学校事務	用…用務	{ }再任用(内数)
栄…学校栄養士(栄養教諭含む。)		()特別支援学級(内数)

※特別支援学級には、東根小(難聴、言語障害)の通級学級を含む。

※児童・生徒数は、特別支援学級(固定学級在籍者)を含む。

(1) 小学校

学校名	所在地	電話番号	学級数	児童数	教 職 員 数					
					教	事	栄	児	用	計
八 雲	八雲2-5-1	3718-6306	19 (5)	440	26	1	1		1 {1}	29
菅 刈	青葉台3-3-26	3461-2569	17 (5)	353	24	1	1		1	27
下目黒	目黒2-7-9	3491-0332	17	491	24	1	1		1 {1}	27
碑	碑文谷1-18-2	3714-1594	24 (4)	637	31	1	1		1	34
中目黒	中目黒3-13-32	3711-7628	19	534	33	1	1		1	36
油 面	中町1-5-4	3719-1694	18 (1)	507	27	1	1	1	1 {1}	31
大岡山	平町2-3-1	3718-5306	24	720	32 {1}	1	1		1	35
烏 森	上目黒3-37-27	3719-1794	13	354	19 {2}	1	1		1	22
向 原	目黒本町6-7-15	3714-1795	12	281	18 {1}	1	1		1	21
五本木	五本木2-24-3	3711-8494	15 (3)	363	28 {1}	1	1		1	31
鷹 番	中央町1-20-26	3714-2594	19 (3)	447	26	1	1		1	29
田 道	目黒1-15-28	3711-8594	13	373	20	1	1		1	23
月光原	目黒本町4-15-3	3714-2694	12	350	18 {1}	1	1		1 {1}	21
駒 場	駒場3-11-13	3467-4461	13	350	19 {3}	1	1			21
緑ヶ丘	緑が丘2-13-1	3718-5406	9	226	15 {1}	1	1		1	18
原 町	原町2-18-12	3714-2794	12	329	24 {1}	1	1			26
不 動	下目黒6-11-35	3714-3594	23	703	39	1	1		1	42
上目黒	五本木1-12-13	3719-2594	12	298	18	1	1		1	21
東 根	東が丘1-20-1	3424-4511	27(3) [2]	689	39 {1}	1	1		1	42
中 根	緑が丘1-1-1	3718-4506	12	362	22	1	1		1 {1}	25
宮 前	八雲3-13-21	3718-5506	12	308	21 {1}	1	1			23
東 山	東山2-24-25	3719-2694	32	1,023	51	1	1			53
合 計			374 (24) [2]	10,138	574 {13}	22	22	1	18 {5}	637

(2) 中学校

学校名	所在地	電話番号	学級数	生徒数	教 職 員 数					
					教	事	栄	児	用	計
第 一	大橋2-11-1	3466-6158	6	180	16 {2}	1	1			18
第 十	八雲5-2-1	3718-6406	11	379	22	1	1			24
東 山	東山1-24-31	3711-8794	11	408	24 {1}	1	1			26
目黒中央	中町2-37-38	3711-8394	18 (3)	533	32 {2}	1	1		1 {1}	35
大 鳥	下目黒3-23-18	3714-3694	20 (5)	540	34 {1}	1	1		1	37
目黒南	碑文谷1-1-33	3714-3794	12	399	34 {5}	1	1		1 {1}	37
目黒西	碑文谷4-19-25	3714-4594	12 (3)	341	27 {1}	1	1			29
合 計			90 (11)	2,780	189 {12}	7	7		3 {2}	206

(3) 幼稚園

園名	所在地	電話番号	学級数	園児数	教 職 員 数					
					教	事	栄	児	用	計
ひがしやま	東山3-24-2	3791-4615	2	33	3					3
合 計			2	33	3					3

(4) こども園

園名	所在地	電話番号	区分	3歳	4歳	5歳	計	教	職	員	数
								教	栄	用	計
げっこうはら	目黒本町4-15-3	3716-3024	短時間	15	13	14	42	7			7
			中時間	1	3	2	6				
			長時間	3	4	5	12				
小 計				19	20	21	60	7			7
みどりがおか	緑が丘2-7-20	3718-6622	短時間	15	15	17	47	7			7
			中時間	2	3	5	10				
			長時間	3	5	5	13				
小 計				20	23	27	70	7			7
合 計				39	43	48	130	14			14
※ 各園の学級数は、3歳、4歳、5歳 各1学級で合計3学級											

2 教育関係施設一覧

施設名	所在地	電話番号
めぐろ学校サポートセンター	中目黒 3-6-10	3715-1531
東山社会教育館	東山 3-24-2	3791-4611
目黒区民センター社会教育館	目黒 2-4-36 (目黒区民センター内)	3711-1137
中央町社会教育館	中央町 2-4-18 (中央町さくらプラザ内)	3713-4127
目黒本町社会教育館	目黒本町 2-1-20	3792-6321
緑が丘文化会館	緑が丘 2-14-23	3723-8741
青少年プラザ※	中目黒 2-10-13 (中目黒スクエア内)	5721-8575
八雲中央図書館	八雲 1-1-1 (めぐろ区民キャンパス内)	5701-2795
大橋図書館	大橋 1-5-1 (クロスエアタワー内)	3770-3101
中目黒駅前図書館	上目黒 2-1-3 (中目黒GTプラザ内)	3710-7253
目黒区民センター図書館	目黒 2-4-36	3711-1138
守屋図書館	五本木 2-20-15	3711-7465
目黒本町図書館	目黒本町 2-1-20	3792-6325
洗足図書館	洗足 2-8-26	3719-7651
緑が丘図書館	緑が丘 2-14-23	3723-0661
めぐろ歴史資料館	中目黒 3-6-10	3715-3571
古民家	碑文谷 3-11-22 (すずめのお宿緑地公園内)	3714-8882
八ヶ岳林間学園	山梨県北杜市高根町清里 3545	0551-48-2031
興津自然学園	千葉県勝浦市興津 143	0470-76-3111

※令和7年3月31日閉鎖

目黒区の教育 ー令和6年度事業報告書ー

令和7年8月発行

編集・発行 目黒区教育委員会（教育政策課）

所在地 目黒区上目黒二丁目19番15号

電話 03-5722-9300

FAX 03-5722-9332

印刷 株式会社勝村印刷所

